

名古屋芸術大学

研究紀要

第37巻 別冊（業績集）

2016. 3

音楽学部

演奏学科	1
音楽文化創造学科	20
教養部会	40

人間発達学部

子ども発達学科	49
教養部会	68

美術学部

美術学科	73
教養部会	86

デザイン学部

デザイン学科	93
教養部会	114

音楽学部

演奏学科教授 岡 由美子

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
〈審査〉			
カワイ子供コンクール中部本選	2014. 4. 20	電気文化会館 ザ・コンサートホール	小学生のピアノコンクール審査
カワイ音楽コンクール中部本選	2014. 4. 26	電気文化会館 ザ・コンサートホール	小・中学生のピアノコンクール審査
ショパンコンクール中部支部大会	2014. 5. 25	栄・ブルー	ショパンのピアノ曲コンクール審査 高校生部門
なごや青少年ピアノコンクール予選	2014. 10. 12	名古屋芸術大学 3号館ホール	小学生ピアノ曲の審査
ショパン in Asia	2014. 10. 18	名古屋芸術大学 3号館ホール	ショパン曲のピアノコンクール 高校・大学・一般部門審査
こんさあと by 3期生	2014. 12. 21	栄・ブルー	ブッチェーニの歌曲 伴奏 「この柔らかなレースの中で」 「告別の歌」「歌に生き、恋に生き」「私のいとしいお父さん」 歌：雨宮せつ子
ほーほー子供音楽祭	2015. 1. 25	豊川市文化会館	ピアノ、弦管打楽器のソロ・アンサンブルコンクール審査
なごや青少年ピアノコンクール本選	2015. 3. 14	緑文化小劇場	ピアノ・高校生部門コンクール審査

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 ピアノ奏法研究 I～IV ◆前期 ◆後期 工夫の概要 I・IIは基礎をしっかりと、特にテクニックに重点を置く。 III・IVは音楽的表現力の向上。 なるべく演奏経験が豊富になるよう積極的に勉強するようすすめる。	積極的にオーディションや演奏会などに参加するようすすめる。また、二台のピアノ曲なども指導する。
教材・資料等の概要 各自に適した教材使用	
授業科目名 ピアノ実習 ◆前期 ◆後期	
工夫の概要 各生徒に適した進度で、幅広い音楽に接するようにする。 基礎をしっかりと行う。	
教材・資料等の概要 各自に適した教材使用	

授業科目名 ピアノ演奏研究	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
本年度在学中の学生は、ロマン派の作曲家を深く理解したいとのことで、シューマン、グリーグを中心に研究させたい。	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本ピアノ教育連盟	2003～ 2014～	会員：運営委員 東海支部 副支部長 (ピアノ曲の研究、会の運営など)
日本ショパン協会中部支部	1985～	幹事会員

演奏学科教授 河原 元世

1. 研究活動

ヤマハYPFピアノフェスティバル本選	2014. 4. 4	岐阜サラマンカホール	審査
岐阜国際音楽祭 コンクール予選 ピアノ部門	2014. 4. 26	瑞穂市総合センター	審査
岐阜国際音楽祭 コンクール本選 ピアノ部門	2014. 4. 29	サラマンカホール	審査
ショパン協会中部支部ピアノコンクール予選	2014. 5. 11	カワイブーレ	審査
第27回ジュニアクラシック音楽 コンクール予選	2014. 7. 6	中村文化小劇場	審査
大阪国際音楽コンクール予選 (ピアノ部門)	2014. 7. 27	名古屋芸術大学音楽講堂	審査
浜松ピアノ公開ミニレッスン	2014. 8. 11	浜松市楽器博物館小ホール	公開レッスン
横浜国際音楽コンクールピアノ部門予選	2014. 8. 12	熱田文化小劇場	審査
第27回ジュニアクラシック音楽コンクール本選	2014. 8. 13	中村文化小劇場	審査
第8回セレーナ・ピアノ会演奏会	2014. 8. 21	電気文化会館ザ・コンサートホール	企画・指導
第1回なごや青少年ピアノコンクール	2014. 10. 12	名古屋芸術大学音楽講堂	審査
ショパンinアジアピアノコンクール	2014. 10. 18	名古屋芸術大学音楽講堂	審査
教育連盟ピアノオーディション中学部門	2014. 10. 22 2014. 10. 23	名古屋芸術大学音楽講堂	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル レッスン	2015. 1. 10	名古屋矢木楽器店ホール	公開レッスン
2015ヤマハピアノフェスティバル レッスン	2015. 1. 11	岐阜シノダ楽器ホール	公開レッスン

2015ヤマハピアノフェスティバル レッスン	2015. 1. 12	ヤマハミュージックリテイリング小牧店	公開レッスン
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選A部門	2015. 1. 24	中村文化小劇場 (ヤマハミュージックリテイリング名古屋店)	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選B部門	2015. 1. 25	中村文化小劇場 (ヤマハミュージックリテイリング名古屋店)	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選C・D部門	2015. 1. 31	中村文化小劇場 (ヤマハミュージックリテイリング名古屋店)	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選C・D部門	2015. 2. 1	岐阜タウンホール とみか (シノダ楽器店)	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選A・B部門	2015. 2. 7	中川文化小劇場 (松栄楽器店)	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選C・D部門	2015. 2. 8	中川文化小劇場 (松栄楽器店)	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 予選全部門	2015. 2. 11	武豊ゆめたろうプラザ (山本楽器店)	審査
第1回なごや青少年ピアノコンクール 本選	2015. 3. 14	緑文化小劇場	審査
第28回ジュニアクラシック音楽コンクール本選	2015. 3. 15	中川文化小劇場	審査
2015ヤマハピアノフェスティバル オーディション 名古屋地区大会本選	2015. 3. 29	電気文化会館 ザ・コンサートホール	審査

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 ピアノ奏法研究		コンクール・オーディション等に出演することによって、コンチェルトを含め、より演奏する機会が多くなると思いますので、積極的に参加させるようにしています。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
バロックから現代までそれぞれの時代の様式・奏法を研究し、理論に基いた演奏が出来るよう指導したいと思います。		
授業科目名 器楽演奏特殊研究		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
リサイタルに当たって、学生の音楽的・技術的特質を生かす選曲をし、より音楽性豊かな演奏が出来るよう指導したいと思います。		

授業科目名 鍵盤楽器奏法演習 I	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
バッハ、ショパンの作品を取り上げ、その時代を鑑み、細かくアナリゼをしながら楽曲を仕上げる楽しさを共有したいと思います。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本ピアノ教育連盟会員		コンクール等の審査で幅広く活動している。
日本ショパン協会中部支部理事		
芸術協会会員		

演奏学科教授 澤脇 達晴

1. 研究活動

オペラ「蝶々夫人」	2014. 6. 15	高槻市現代劇場 主催：みやこオペラ京都	演出とヤマドリ役出演、指揮：金丸克己、演出：澤脇達晴、ピアノ：西尾麻貴、合唱指揮：高谷光信 バタフライ小楯文絵ピンカートン チョンキヒョン シャープレス 萩原寛明 スズキ中原由美子他
真夏の備後第九コンサート・ソリスト出演	2014. 7. 7	福山市 リーデンローズホール 主催：福山シティオペラ	ソリスト出演、指揮：高谷光信、ピアノ：江口玲、ソプラノ：池田理代子、アルト：藤井文子、テノール：秋川雅史、バリトン：澤脇達晴、合唱：福山シティオペラ合唱団
岐阜国際音楽祭フェスティバルコンサート	2014. 7. 21	岐阜サラムンカホール 主催：岐阜国際音楽祭	サンサーンスチェロ協奏曲第2番 指揮：澤脇達晴、チェロ：清水陽介、演奏：岐阜国際音楽祭合奏団
名古屋演奏家育成成熟第20回&10周年記念フェスティバル	2014. 9. 7	名古屋市アートピアホール 主催：名古屋演奏家育成成熟実行委員会	ブラームス4重唱「愛の歌」ソプラノ：渡辺千枝、アルト：筑聰子、テノール：波多野均、バリトン：澤脇達晴、ピアノ：海老原優里・金田佐希里
名古屋市民の第九	2014. 11. 30	日本特殊陶業市民会館フォレストホール 主催：市民の第九実行委員会	指揮：北原幸男、ソプラノ：長屋弘子、アルト：相可佐代子、テノール：錦織健、バリトン：澤脇達晴、演奏：名古屋フィルハーニー管弦楽団、合唱：市民の第九コンサート2014
トヨタ四季を歌う	2014. 12. 6	足助交流館「飯森座」 主催：芝信次	芝信次作編曲 とよた50景 バリトン独唱：澤脇達晴、ナレーション：竹内正美

松阪の第九	2014. 12. 14	松阪市クラギ文化ホール 主催：松阪第九実行委員会	指揮：大谷正人、ソプラノ：佐波真奈巳、アルト：中西美友紀、テノール：山口静雄、バリトン：澤脇達晴、合唱：松阪第九合唱団、演奏：伊勢管弦楽団
-------	--------------	-----------------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 オペラ研究 2		学外公演 公演日時 2月27, 28日 2回公演、 場所 名古屋市千種文化小劇場
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
今年度は木下牧子作曲のオペラ「不思議の国のアリス」を題材とした。ミュージカルのようにダンスや演技力のいる作品で今までにない想像力があるのでチームワークで各場面を創意工夫しアイデアを出させるように取り組んだ。	この作品は最近話題となっているオペラでイギリスの童話が題材となっている。アリスが不思議の国に迷い込んでおかしな場面に出くわしそれを乗り越えていくという内容。	
授業科目名 声楽研究		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
発声時における舌の使い方や腹式呼吸の練習方法について指導の時間を多く取った。使用教材については発音や歌詞解釈を研究させレッスンの中で指導を行った。	コンコーネ50番を使用し個々のレベルに合わせてソルフェージュに関する点や発声に関する点について特に指導を行った。その他個々の声の特性に合わせてイタリア古典歌曲やドイツリート、オペリアリアを選曲し指導を行った。	

3. 学会等および社会における主な活動

東京国際声楽コンクール	2014. 7. 26	審査員 浜松学芸高校ホール 主催 東京国際芸術協会
NHK第81回全国音楽コンクール	2014. 7. 30	審査員 日本特殊陶業市民会館中ホール 主催 NHK
第18回愛知県少年少女合唱連盟の定期公演における合唱参加	2014. 8. 29	本学の声楽学生有志が合唱連盟の定期公演に招待され出演した。

演奏学科教授 菅原 美枝子

1. 研究活動

〈演奏会〉			
名古屋フランス音楽研究会 第26回公演 ～サンサーンスとフォーレ～ 60年の友情	2014. 5. 16	ザ・コンサートホール	フォーレ ピアノ五重奏曲 第1番より第3楽章 1stVn.竹田千波氏 2ndVn.佐藤有里氏 Va.中村暢之氏 Vc.紫竹友梨氏
第31回コンセル・ド・リラ	2014. 8. 19	津リージョンプラザお城ホール	ショパン ソナタ作品第1楽章 Opus 58

国際交流演奏会 韓国慶南大学&名古屋芸術大学	2014. 6. 18	韓国 소극장 아트센터	ベートーベン ヴァイオリンソナタ第4番 op. 23 第1楽章、第3楽章 Vn.森典子氏
〈コンクール審査〉			
第14回中部ショパンピアノ コンクール名古屋地区予選	2014. 5. 25	カワイ名古屋2F コンサートサロンプール	高校生部門の審査
第20回みえ音楽コンクール 予選	2014. 6. 29	三重県文化会館小ホール	小学生～大学、一般部門までの審査
第17回Soaveピアノフェス ティバル2014	2014. 7. 6	あやま文化センターさん さんホール	小学生～高校生までの審査
第24回グレンツェンコン クール横浜予選	2014. 7. 28	横浜みなとみらいホール 大ホール	幼児～中学生までの審査
第1回エターノピアノコン クール静岡地区大会	2014. 8. 20	静岡音楽館A01ホール	小学生2年生以下～大学一般までの審査
第1回エターノピアノコン クール愛知地区大会	2014. 8. 21	熱田文化小劇場	小学生2年生以下～大学一般までの審査
第20回みえ音楽コンクール 本選	2014. 10. 11～ 12	三重県文化会館大ホール	小学生～大学、一般部門までの審査
第1回エターノピアノコン クール中部ブロック大会	2014. 11. 3	中村文化小劇場	小学生2年生以下～大学一般までの審査
第30回日本ピアノ教育連盟 予選	2014. 11. 23	名古屋音楽大学めいおん ホール	E部門の審査
第24回グレンツェンコン クール名古屋地区本選	2014. 11. 30	しらかわホール	小学1年生～高校生までの審査
2015年YPFピアノフェス ティバル三河本選	2015. 3. 27	ザ・コンサートホール	幼児～中学生までの審査
第24回グレンツェンピアノ コンクール中部地区大会	2015. 3. 28	しらかわホール	小学1・2年 小学5・6年の審査
〈著書〉			
教職センター紀要	2014. 3. 31	名古屋芸術大学教職セン ター	合唱曲「旅たちの日に」の指導法（弾き歌 い）

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 ピアノ講座「暗譜のコツ」№1、№2	学生最大の力が出せるよう、それぞれに合った指づかいを細かく考えて指導している。 レッスンで萎縮しないよう、のびのびと楽しく弾けるよう、常にユーモアを心掛け、解り易いレッスンに努めている。	
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
全員が集中できるように、グラフを書いたり漢字を書いたりして、実際はピアノの演奏を通じて記憶術を伝授した。	ベートーヴェン ピアノソナタ第3番 第3楽章 フォーレ ノクターン第1番 ショパン パラード第3番	
授業科目名 鍵盤楽器奏法 3		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
研究生を補助として第二ピアノの伴奏を伴い、常にソリストとしての細かい演奏法・本番の心構え等を指導した。	モーツァルトピアノコンチェルト第27番 K. 595 ベーレンライター版 二台ピアノ用・スコア	

3. 学会等および社会における主な活動

中部シヨパン協会	継続中	幹事として年に1度の会議、またコンクール実施年における審査
ピアノ教育連盟東海支部	2014. 1～	運営委員として年に数回の会議、ピアノオーディション時の審査
津・平和コンサート	継続中	平和コンサートのための年に数回の運営会議に、副実行委員長として出席

演奏学科教授 高木 直喜

1. 研究活動

慶南大学・名古屋芸術大学 国際交流教授音楽会	2014. 6. 18	韓国馬山市アートセンター	・クヴァンツ作曲 トリオソナタ ハ短調
第15回ほたるコンサート	2014. 6. 21	恵那市中野方小学校	・モーツァルト作曲「フィガロの結婚」序曲 ・廣瀬量平作曲 ブルートレイン ・ドビュッシー作曲 シリンクス 他
名古屋芸術大学大学院 第17回修了演奏会	2015. 3. 4～5	三井住友海上しらかわホール	・ドニゼッティ作曲 この胸の高まりは ・ヴェルディ作曲 ひとりさみしく眠ろう ・グリグ作曲 ピアノ協奏曲イ短調 ・ニールセン作曲 フルート協奏曲 ・メンデルスゾーン作曲 ピアノ協奏曲第1番 ・磯村輝昭作曲 鏡像 ・ライネッケ作曲 フルート協奏曲ニ長調 ・アダマン作曲 「あー、お母さんに聞いて」による変奏曲 ・リスト作曲 ピアノ協奏曲第1番 ・團伊玖磨作曲 さようなら ・レオンカヴァッロ作曲 鳥の歌 ・ヨトソフ作曲 クラリネット協奏曲 ・プロコフィエフ作曲 ピアノ協奏曲第1番
第65回名古屋笛の会 定期演奏会	2015. 3. 17	熱田文化小劇場	・グリグ作曲 ベールギユント第1組曲 ・グノー作曲 ファウストより抜粋 ・千秋次郎作曲 風のわすれもの
第7回日曜の午後のコンサート	2015. 3. 22	ミュージックサロン 「Pan」	・ゴーバール作曲 フルートソナタ第1番 ・サン＝サーンス作曲 ロマンس ・ジュナン作曲 協奏的大二重奏曲 ・ドビュッシー作曲 小組曲

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 室内楽	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
音程、バランス等より良いアンサンブルに必要なことを経験させていく。	都度、必要な曲目を選ぶ。

授業科目名 弦管打奏法研究 I. II. III. IV.	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
しっかりとしたテクニック、音作りを基に、表現力を培っていく。	Sonorit Daily Exercise Etude バロック～現代の作品

3. 学会等および社会における主な活動

日本フルート協会		代議員
名古屋笛の会		相談役顧問

演奏学科准教授 鷹野 雅史

1. 研究活動

YMRJ札幌店 Jet支部総会ゲスト演奏	2014. 4. 23	同店アベニューホール	花のワルツ・ラテン版 (チャイコフスキー／鷹野) STAGEAの名による序曲 (自作) 他
キクヤ楽器 ELS-02Cデビューコンサート	2014. 4. 26	同店ピアノガーデン	ラメント (B. ウィーレン) クリスティーナ (樋口康雄) 他
日響楽器 ELS-02Cデビューコンサート	2014. 4. 27	同店池下店ホール	スペイン (チックコリア) ラブソディー・イン・ブルー (G. ガーシュイン) 他
YMRJ千葉店 ELS-02Cデビューコンサート	2014. 5. 11	同店LL部屋	タルカス (K. エマーソン) 小さな世界 (シャーマン兄弟) 他
Live at Miki	2014. 5. 25	三木楽器心斎橋サロン	フィールドヴュー (自作) レ・ミゼラブル (C・シェーンベルグ)
和幸楽器 ELS-02Cデビューコンサート	2014. 5. 30	さいたま芸術劇場小ホール	ボレロ (M. ラヴェル) ラメント (B. ウィーレン) 他
MAX TAKANO ELECTONE CONCERT	2014. 6. 28	The Joyden Hall (シンガポール)	威風堂々 (E. エルガー) パイレーツ オブ カリビアン (H. ジマー) 他
YMRJ浜松店 鷹野雅史 ソロコンサート	2014. 7. 21	かじまちヤマハホール	ハリーポッター (J. ウィリアムス) チェロキー (R. ノーブル) 他
YMRJ豊田店 プレイ オン パッション	2014. 8. 19	豊田市産業文化センター 小ホール	生まれてはじめて (ロベス) STAGEAの名による序曲 (自作) 他
第一楽器四日市店 プレイ オン パッション	2014. 8. 21	四日市ムーシケホール	可愛いアイシャ (S ワンダー) レ・ミゼラブル (C・シェーンベルグ) 他
すみや沼津店 鷹野雅史／ELS-02シリーズ コンサート	2014. 8. 31	清水町地域交流センター	アラジン (A. メンケン) チェロキー (R. ノーブル) 他
スペシャルライブ 富岡ヤスヤ&鷹野雅史	2014. 9. 5	熱田文化小劇場	セサミストリート (B ハート他) ザキャット (シフリン) 他
YMRJ名古屋店 ELS-02シリーズ講座	2014. 9. 11	広小路ヤマハホール	結 (自作) スペイン (チックコリア) 他

たんざわ楽器 プレイ オン パッション	2014. 9. 15	千本プラザ(沼津)	ラメント (B. ウィーレン) パイレーツ オブ カリビアン (H. ジマー) 他
TASTEN FESTIVAL M A X T A K A N O CONCERT	2014. 9. 19	St. George Hotel (Bad Aibling,ドイツ)	ハリーポッター (J. ウィリアムス) ティコティコ (Z. アブロー) 他
松栄楽器 プレイ オン パッション	2014. 9. 28	さくら会館ホール (大垣 市)	ラブソディー・イン・ブルー (G. ガーシェ イン) チェロキー (R. ノーブル) 他
YMRJ高崎店 レクチャーコンサート	2014. 10. 25	同店ホール	アラジン (A. メンケン) STAGEAの名による序曲 (自作) 他
YMRJ岡山店 レクチャーコンサート	2014. 10. 26	同店サロン	フィールドヴュー (自作) レ・ミゼラブル (C・シェーンベルグ) 他
YMRJ北見店 プレイ オン パッション	2014. 11. 3	端野町公民館グリーン ホール (北海道北見市)	スペイン (チックコリア) ラメント (B. ウィーレン) 他
東山堂 チャリティーライブ	2014. 11. 9	盛岡劇場 小ホール	ボレロ (M. ラヴェル) 威風堂々 (E. エルガー) 他
YMRJ小山店 レクチャーコンサート	2014. 11. 16	同店サロン	ハリーポッター (J. ウィリアムス) パイレーツ オブ カリビアン (H. ジマー) 他
YMRJ仙台店 レクチャーコンサート	2014. 11. 25	同店サロン	結 (自作) 生まれてはじめて (ロベス) 他
兵藤楽器 プレイ オン パッション	2014. 11. 28	美感ホール (掛川市)	チェロキー (R. ノーブル) レ・ミゼラブル (C・シェーンベルグ) 他
すみや藤枝店 鷹野雅史/エレクトーンコ ンサート	2014. 11. 30	藤枝パークホテル	タルカス (K. エマーソン) 小さな世界 (シャーマン兄弟) 他
なかやま楽器 プレイ オン パッション	2014. 12. 7	広島県坂町町民センター	戦場のクリスマス (坂本龍一) 士官候補生 (スーザ) 他
京浜楽器 リビングコン サート	2014. 12. 21	同・百合ヶ丘店ホール	赤鼻のトナカイ (J. マーカス) 威風堂々 (E. エルガー) 他
大東楽器 プレイ オン パッション	2015. 1. 25	同・住道店ホール	チェロキー (R. ノーブル) マシュケナダ (S. メンデス) 他
YMRJ名古屋店 ミュージックパーティーゲ スト演奏	2015. 2. 1	ノリタケの森レストラン	ラブソディー・イン・ブルー (G. ガーシェ イン) フィールド ヴュー (自作)他
名芸オルガンフェスティバ ル ゲスト演奏	2015. 2. 8	名古屋芸術大学 大アンサンブル室	ラデッキー行進曲 (J. シュトラウス) オペラ座の怪人 (A・L. ウェバー) 他
Live at Miki	2015. 2. 15	三木楽器心斎橋サロン	ソナチネ ト長調 (自作) ティコティコ (Z. アブロー) 他
YMRJ銀座店 Jet総会ゲスト演奏	2015. 3. 22	銀座ヤマハホール	フレンド・ライクミー (A・メンケン) 生まれてはじめて (ロベス) 他

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 電子楽器概論		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
講義科目ではあるが、随時、実際の音や演奏をとり入れて実感的理解をしてもらうように心がけた。	多くの音楽CD,および生演奏による刺激を中心におえた。	
授業科目名 電子オルガン学		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
12日、ほぼ1ヶ月をかけて、学生らが考え出した他愛ないストーリーを音だけで表現してみようという課題をさせたが、良い効果がみられた。	シンプルな曲や「他愛のない話」を素材とした。この他愛のない話というのは学生らが任意に定めたストーリーをいう。	
授業科目名 電子オルガン奏法研究 I～IV		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
実技レッスンは演奏のみならず、理屈による理解をしてもらうため、言葉を豊かにすることにも注意をむけさせた。	即興演奏法 初見課題集	

3. 学会等および社会における主な活動

演奏学科教授 竹内 雅一

1. 研究活動

◎ソロ・アンサンブル・オーケストラ			
ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団 演奏会	2014. 5. 16	主催：ウクライナ州立チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団 会場：チェルニーゴフ州立フィルハーモニーホール	クラリネット、ファゴットのための二重小協奏曲へ長調/R. シュトラウス
慶南大学校・名古屋芸術大学国際交流 教授音楽会	2014. 6. 18	主催：慶南大学校 会場：3・15 ART CENTER	クラリネット三重奏曲/J. プラームス
名古屋演奏家育成会 第20回&10周年記念フェスティバル	2014. 9. 7	主催：名古屋演奏家育成会 会場：アートピアホール	ボレロ/M. ラヴェル 他
高山市合併10周年記念式典	2015. 2. 1	主催：高山市 会場：高山市民文化会館	クラリネット五重奏曲/H. J. ベールマン
雲南ウインドオーケストラ コンサート	2015. 2. 15	主催：雲南市 会場：雲南市加茂文化ホールラメール	スバルタクス/J. ヴァン デル ロースト 他
◎指揮			
碧南市民吹奏楽団第35回定期演奏会	2014. 4. 13	主催：碧南市民吹奏楽団 会場：碧南市民文化会館ホール	シンフォニア・ノビリッシマ/R. ジェイガー 他

クラリネット協会・名古屋 平成26年度例会 アンサンブルの楽しみ	2014. 6. 21	主催：クラリネット協 会・名古屋 会場：広小路ヤマハホー ル	ロザムンデより／F. シューベルト
常滑市制60周年記念 吹奏 楽クリニック	2014. 9. 15	主催：常滑市・常滑市教 育委員会 会場：常滑市民文化会館 ホール	4つの古い舞曲／J. ヴァン デル ロースト 他
第45回全飛吹奏楽祭	2014. 9. 23	主催：飛騨吹奏楽研究 会・高山市民吹奏楽団 会場：高山市文化会館大 ホール	喜歌劇「メリー・ウィドウ」セレクション／ F. レハール（鈴木英史 編曲）他
チャン・ビン二胡音楽会 2014名古屋公演	2014. 10. 5	主催：チャン・ビン二胡 演奏団 会場：愛知県芸術劇場コ ンサートホール	第一二胡狂詩曲／王 建民 他
高山市民吹奏楽団第46回定 期演奏会	2014. 11. 29	主催：高山市民吹奏楽団 会場：高山市民文化会館 大ホール	バガニーニの主題による幻想変奏曲／J. バー ンズ 他
飛騨童話会議2014	2014. 12. 28	主催：文化庁・岐阜県 会場：飛騨・世界生活文 化センター コンベン ションホール	星の王子様によろしく！
雲南ウィンドオーケストラ バンドクリニック	2015. 2. 8	主催：雲南市 会場：雲南市加茂文化 ホールラメール	モンタニヤールの詩／J. ヴァン デル ロース ト 他
◎審査			
岐阜国際音楽祭コンクール 予選	2014. 4. 26	主催：岐阜国際音楽祭実 行委員会 会場：サラマンカホール	
岐阜国際音楽祭コンクール 本選	2014. 4. 27	主催：岐阜国際音楽祭実 行委員会 会場：サラマンカホール	
第46回福井県吹奏楽コン クールA部門	2014. 7. 19	主催：福井県吹奏楽連 盟・中部日本吹奏楽連盟 福井支部・福井県中学校 教育研究会音楽部会 会場：福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい 大ホール	
第46回福井県吹奏楽コン クールB部門	2014. 7. 19・20	主催：福井県吹奏楽連 盟・中部日本吹奏楽連盟 福井支部・福井県中学校 教育研究会音楽部会 会場：福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい 大ホール	

愛知県吹奏楽コンクール西尾張地区大会	2014. 7. 25・26	主催：愛知県吹奏楽連盟・朝日新聞社・愛知県小中学校吹奏楽教育研究会 会場：名古屋文理大学文化フォーラム	
愛知県吹奏楽コンクール（職場・一般・大学の部）	2014. 8. 3	主催：愛知県吹奏楽連盟・朝日新聞社 会場：幸田町民会館さくらホール	
第15回大阪国際音楽コンクール愛知地区本選	2014. 8. 9	主催：大阪国際音楽振興会 会場：名古屋音楽大学めいおんホール	
第8回横浜国際音楽コンクール名古屋予選	2014. 8. 12	主催：横浜国際音楽コンクール実行委員会 会場：熱田文化小劇場	
日本クラシック音楽コンクール	2014. 8. 22	主催：日本クラシック音楽協会 会場：中村文化小劇場	
第47回岐阜県アンサンブルコンテスト飛騨地区大会	2014. 12. 21	主催：岐阜県吹奏楽連盟・岐阜県高等学校文化連盟吹奏楽部会・朝日新聞社・中日新聞社 会場：飛騨・世界生活文化センター	
第48回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト東部地区大会中学校の部	2014. 12. 25・26	主催：静岡県吹奏楽連盟 会場：裾野市民文化センター	

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

演奏学科教授 谷口 龍博

1. 研究活動

日本クラシック音楽コンクール 名古屋予選	2014. 8. 26	名古屋市 中村文化小劇場	高校、大学生部門審査
第6回ピアノグループエスト演奏会	2014. 12. 11	電気文化会館ザ・コンサートホール	門下生6名による演奏会の企画、指導
日本クラシック音楽コンクール 全国大会審査	2014. 12. 22	東京杉並公会堂 小ホール	大学生部門審査
ヤマハピアノフェスティバル予選	2015. 2. 11	豊明文化会館	小、中学生部門審査
ヤマハピアノフェスティバル予選	2015. 2. 15	尾張旭市文化会館	小、中学生部門審査
ヤマハピアノフェスティバル尾張本選会	2015. 3. 26	電気文化会館ザ・コンサートホール	小学生部門審査

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

演奏学科客員教授 中沖 玲子

1. 研究活動

〈演奏会〉			
セントラル愛知交響楽団 “まるごとしらかわの日”	2014. 8. 9	セントラル愛知交響楽団 しらかわホール	ラヴェル ピアノ協奏曲 G-dur
〈コンクール審査〉			
YPF (ヤマハ)	2014. 4. 4	アクトシティー浜松 大ホール	本選審査
岐阜国際音楽祭	2014. 4. 26	みずほ市文化会館 大ホール	
スズキメソード全国大会	2014. 4. 20	熱田文化小劇場	
横浜国際音楽コンクール	2014. 8. 12	熱田文化小劇場	名古屋予選
横浜国際音楽コンクール	2014. 8. 24	五反田文化センター	本選審査
横浜国際音楽コンクール	2014. 8. 30	五反田文化センター	本選審査
日本演奏家コンクール	2014. 10. 7	みなとみらいホール	本選審査
ピアノ教育連盟オーディション	2014. 11. 22	名古屋芸術大学 3号館ホール	東海支部大会
クオリアオーディション	2014. 12. 6 2014. 12. 20	茨木市 クリエイトホール 茨木市 クリエイトホール	予選 本選
2015年 東京ピアノコンクール	2015. 1. 5 2015. 1. 12 2015. 1. 17 2015. 1. 24	五反田文化センター 五反田文化センター 五反田文化センター 五反田文化センター	予選～高校生まで 本選～高校生まで 予選 大学一般 本選 大学一般
YPF (ヤマハ)	2015. 1. 25	〈アオイ楽器〉 アクトシティー浜松	
YPF (ヤマハ)	2015. 1. 31	〈花井楽器〉	
YPF (ヤマハ)	2015. 2. 7～8	ヤマハ 浜松	
フランス パリ Grandamateurコンクール	2015. 3. 15	パリ大学 大ホール	ファイナル (本選会)
岐阜国際音楽祭	2015. 5. 2 2015. 5. 4	みずほ市文化会館 じゅうろくプラザ	予選 本選
〈講座、公開レッスン〉	2014. 11～ 2015. 3	ヤマハ 小牧 ヤマハ 名古屋 等	YPF課題曲のレッスン、公開講座
〈演奏会批評〉	2014. 7. 20	雑誌 ショパン 桐朋学園 サマーコンサート の演奏批評 執筆	
〈演奏会批評記事〉	2014. 8. 5	ラヴェル ピアノ 協奏曲について 中日新聞	
	2014. 9.	劇場ジャーナル 9月号	ラヴェル ピアノ協奏曲

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 ピアノ奏法研究		出来るだけコンサートの機会を作りながら、ステージでの演奏の大切さも学ぶように努める。 コンクールにも積極的に参加させ、自信を持たせながら、さらに勉強を深める意欲を持たせるようにする。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
各学年のプログラム目標を持たせ、古典から現代に至るまでアナリゼをしながら技術、音楽表現の可能性を広げるようにする。	古典から現代に至るまでのBach、Beethoven、MOZART、Debussy、Ravel 等の楽譜	
授業科目名 室内楽		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デュオ、トリオからクインテットまで、様々な楽器とのアンサンブルを体験しながら室内楽の楽しさを学ぶ。	MOZART モーツァルト Debussy ドビュッシー Poulenc プーランク 等	
授業科目名 ピアノ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
それぞれのテーマを決め、ソロ、協奏曲等、高度な技術、音楽表現へのより深い理解と演奏表現を目指して研究させる。	プロコフィエフ ラヴェル プーランク ベートーヴェン 等	
授業科目名 鍵盤楽器演習 IV		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
フランス近現代作品を中心にデュオやソロ、また言語とピアノの作品についても実習する。	ラヴェル ドビュッシー プーランク	

3. 学会等および社会における主な活動

バリ・エコールノルマル音楽院教授	1994～現在	
愛知芸術文化協会	2006～現在	
瑞穂文化小劇場 開館にあたり「みずほの会」	2013～現在	
名古屋演奏家育成塾 推進アドバイザー	2010～現在	

演奏学科教授 星 順治

1. 研究活動

〈審査員〉			
愛知県吹奏楽コンクール高校の部 愛知県大会	2014. 8. 5～6	豊田市民文化会館大ホール	審査員
アンサンブルコンテスト愛知県大会	2015. 1. 18	幸田町民会館さくらホール	審査員
〈演奏会〉			

ファニープラスクインテット ファミリーコンサート	2014. 8. 9	可見市文化創造センター 「虹のホール」	「ゴッドファーザーpart2」より 愛は誰の手に サウンド オブ ミュージック ジェラシー その他
松伏サロン「たんぽぽ」ト ランペットコンサート	2014. 11. 3	松伏公民館	トランペットヴォランティア、ロンドンデ リーの歌、童謡メドレー その他
アンサンブル講習会	2014. 11. 16 2014. 12. 13	バルドン楽器	講師
〈トランペット指導〉			
各務原市民吹奏楽団	2014. 5. 17 2014. 6. 21 2014. 7. 26 2014. 9. 27 2014. 10. 18 2014. 11. 29 2015. 1. 24 2015. 3. 14	各務原市民会館	トランペットパート
東邦高等学校	2014. 5. 29 2014. 7. 3 2014. 7. 16 2014. 8. 2	東邦高等学校	トランペットパート

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 弦管打奏法研究 I～IV		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
プレスと舌の強さの増大による音域の拡大・耐久力の強化	ジェームズ スタンプ アーバン スミス	
授業科目名 弦管打奏法研究 I～IV		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
基礎に加え、曲を通じた応用力の増強	バラ、バレエ等の小品から、ハイドン、 フンメル、アルチュニアン等のコンチェ ルトへの取り組み	
授業科目名 室内楽 I～IV		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
主にバッハ、ヘンデルまでのバロック、 古典派までの曲への取り組み	G. ガブリエリ、スザート、ペーツェル、 パーセル、バッハ、ヘンデル 他	
授業科目名 室内楽 I～IV		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ロマン派はほとんどがアレンジ曲なので、 近現代に近いオリジナル曲を中心に 授業を行なう。	エワルド、ユーバー、フラッケンボー ル、ジョプリン、ボザ 他	

3. 学会等および社会における主な活動

演奏学科教授 松波 千津子

1. 研究活動

バリ・エコー・ノルマル 音楽院交流交歓演奏会	2014. 5. 7	名古屋芸術大学3号館 ホール 名古屋芸術大学音楽学部 主催	ソリストとして出演。 ジャン・ルイ・マンサール作曲：歌とピアノ のための「4つのメロディー」より“夜が分 かつ愛”“夜が抱く夢” 共演：山田敏裕（pf）
オペラ「あしたの瞳」 ミニコンサート（3回公演）	2014. 5. 13	Annex HITOMIホール （株）メニコン主催	宮川彬良作曲：オペラ「あしたの瞳」のシン ディー・フェルダー役にて出演。 共演：安富泰一郎、塚本伸彦、重差恵里（pf）
オペラの魅力 Vol. 22 オペラ「椿姫」ハイライト （原語公演） 【本オペラは2014年度 名古 屋音楽ベンクラブ賞を受賞 した。】	2014. 10. 23	三井住友海上しらかわ ホール エウロ・リリカ主催	ヴェルディ作曲：オペラ「椿姫」のヴィオ レッタ役にて出演。 構成・演出：岡本茂朗 共催：加藤利幸、岡本茂朗、エウロリリカ合 唱団、石山英明（pf）他
サラマンカホール20周年記 念公演 オペラ「不思議の国のアリス」 （小編成オーケストラ 版初演）	2014. 12. 20	（財）岐阜県民ふれあい会館 サラマンカホール サラマンカホール主催	木下牧子作曲：オペラ「不思議の国のアリス」 の公爵夫人役にて出演。 指揮：倉地竜也 演出：池山奈津子 共演：セントラル愛知交響楽団
2014 第九交響曲とオペラ 名曲コンサート	2014. 12. 21	岐阜市民会館大ホール スコラーズ岐阜主催	ベートーヴェン作曲「第九」のソリストとし て出演。 指揮：山口敏昭 共演：井上博嗣、中島富蔵、荒木善子、 岐阜シティ管弦楽団&名古屋フィルハーモ ニー交響楽団
オペラ公演「あしたの瞳」 ～もうひとつの未来	2015. 2. 13	愛知芸術劇場大ホール （株）メニコン主催	宮川彬良作曲：オペラ「あしたの瞳」のシン ディー・フェルダー役にて出演。 指揮：宮川彬良 演出：佐久間広一郎 台本・作詞：響敏也 共演：「あしたの瞳」スペシャル・オーケス トラ
◎コンクール審査			
第6回 東京国際声楽コン クール（予選）	2014. 7. 9	中村文化小劇場 一般社団法人東京芸術協 会 主催	審査員
第15回 大阪国際音楽コン クール（中部地区 本選）	2014. 7. 27	名古屋芸術大学3号館 ホール 大阪国際音楽振興会・大 阪国際音楽コンクール実 行委員会 主催	審査員
第68回 全日本学生音楽コ ンクール （名古屋大会 予選）	2014. 9. 14	今池・ガスホール 毎日新聞社 主催	審査員

第20回 みえ音楽コンクール〈本選〉	2014. 9. 28	三重県文化会館大ホール みえ音楽コンクール運営委員会・三重県・三重県文化会館 主催	審査員
第24回 日本クラシック音楽コンクール〈中部地区 本選〉	2014. 10. 16	中村文化小劇場 日本クラシック音楽協会 主催	審査員 第24回優秀指導者賞 受賞 (5年連続)
第68回 全日本学生音楽コンクール〈名古屋大会 本選〉	2014. 11. 1	今池・ガスホール 毎日新聞社 主催	審査員

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 声楽研究Ⅰ～Ⅳ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生一人ひとりの歌唱技術に応じた選曲を指導し、表現豊かな演奏能力を習得させることを目標にしている。声楽研究Ⅰ・Ⅱは演奏の基礎づくりに力点を置き、声楽研究Ⅲ・Ⅳでは受講生を積極的に学内外のオーディションやコンクールに参加させ、自己研鑽と向上心を養い育てることに努めている。	コンコーネ50番・25番等の練習曲。 イタリア歌曲集1・2。 トスティー、ベッリーニ等の歌曲集。 各々に適したオペラ・アリアなど。	
授業科目名 オペラ研究Ⅰ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
モーツァルトの代表作、オペラ「フィガロの結婚」から一部を抽出して、前期は音楽練習（特にセッコの歌唱法）や豊かな音楽表現力を導き出すように指導した。後期は、自分の歌や演技が的確に相手に伝わるよう積極的な行動を求め、全員でオペラを創りあげるという意識を持たせるように努めた。	モーツァルト作曲 オペラ「フィガロの結婚」	

3. 学会等および社会における主な活動

名古屋オペラ協会会員	1983～（現在に至る）	副委員長
全日本学生音楽コンクール	1989～（現在に至る）	審査員
日本クラシック音楽コンクール	2001～（現在に至る）	審査員
日本発声指導者協会	2001～（現在に至る）	会員
大阪国際音楽コンクール	2005～（現在に至る）	審査員
岐阜県民ふれあい会館（サラマンカホール）	2009～（現在に至る）	評価員
東京国際音楽コンクール	2012～（現在に至る）	審査員
日本・イタリア声楽コンソロツ	2012～（現在に至る）	審査員

演奏学科教授 森 典子

1. 研究活動

NUAストリングス 第7回 定期演奏会	2014. 8. 28	名古屋芸術大学アンサンブル研究所 電気文化会館ザ・コンサートホール	パーバー：弦楽のためのアダージョ ヴィバルディ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 1st.森典子 2nd.神戸潤子 ビゼー（シチエドリン版）：カルメン組曲 指揮 林徹也
森典子・ファルヴァイ シャンドール リサイタル2015	2015. 3. 9	電気文化会館ザ・コンサートホール	モーツァルト：ソナタ C dur KV. 296 ベートーヴェン：ソナタNo10 G dur op. 96 ベートーヴェン：ソナタNo7 c moll op. 30-2 Pf.ファルヴァイ シャンドール

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 合奏 A		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
2014年度受講生がトランペット専攻であったので、デュオを中心に選曲し、弦とトランペットの呼吸の合わせ方の練習となった。	モーツァルト、バルトーク、ホーマン等 二重奏曲	

3. 学会等および社会における主な活動

弦楽器指導者協会会員		
------------	--	--

演奏学科客員教授 山田 敏裕

1. 研究活動

〈コンクール審査〉			
2014カワイこどもコンクール	2014. 4. 19	電気文化会館ザ・コンサートホール	コンクール審査
第6回2014岐阜国際音楽祭予選	2014. 4. 26	瑞穂市総合センター	コンクール審査
第6回2014岐阜国際音楽祭本選	2014. 4. 27・29	岐阜じゅうろくプラザ	コンクール審査
第28回江南ピアノコンクール	2014. 7. 6	江南市民文化会館大ホール	コンクール審査
第15回大阪国際音楽コンクール 愛知地区本選	2014. 7. 27	名古屋芸術大学3号館ホール	コンクール審査
第68回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会予選	2014. 9. 6・7	今池ガスホール	コンクール審査
第68回全日本学生音楽コンクール 名古屋大会本選	2014. 10. 25	今池ガスホール	コンクール審査
2015YPFヨモギヤ楽器大会	2015. 2. 7・8・14・15	港文化小劇場	コンクール審査
2015Y P F名古屋本選会	2015. 3. 28	電気文化会館ザ・コンサートホール	コンクール審査

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

3. 学会等および社会における主な活動

一般社団法人 岐阜国際音楽祭	2014. 4. 1～通年	副理事長 コンクール・受賞者コンサート等 の運営・統括
-------------------	---------------	-----------------------------------

演奏学科准教授 依田 嘉明

1. 研究活動

〈オーケストラ活動〉			
フェスティナレンテ合奏団 演奏会	2014. 4. 13	ライブポートとよはし	ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」他
チェルニーゴフフィルハー モニー交響楽団演奏会	2014. 5. 16	チェルニーゴフ州立フィ ルハーモニーホール	R・シュトラウス：ClとFgのための二重小協 奏曲（ソリスト）他
安八町登龍中学校文化祭 （セントラル愛知交響楽団）	2014. 11. 1	安八町中央公民館	ベートーヴェン：交響曲第9番 他
大垣市立荒崎小学校音楽鑑 賞会	2014. 11. 15	同校体育館	オフエンバック：「天国と地獄」序曲他
大垣西部中学校 合唱の集 い	2014. 11. 18	同校体育館	ベートーヴェン：交響曲第9番 他
平成26年度子供の文化芸術 体験事業	2014. 12. 9 12. 10 12. 11 12. 12	前橋市立大胡小学校 秩父市立花の木小学校 深谷市立八基小学校 前橋市立天川小学校	チャイコフスキー：交響曲第4番 他
岡崎市民音楽祭	2014. 12. 14	岡崎市シビックセンター コロネット	プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」
ゴールドenライブステージ 2014	2014. 12. 23	愛知県芸術劇場大ホール	ベートーヴェン：交響曲第9番他
ジルベスタ&ニューイヤー カウントダウンコンサート inあつた2014-2015	2014. 12. 31	熱田文化小劇場	J・シュトラウスⅡ：ワルツ「ウィーン気質」 他
北名古屋シティ管弦楽団第 18回定期演奏会	2015. 3. 22	北名古屋市文化勤労会館 大ホール	ウェーバー：ファゴット協奏曲（ソリスト）
〈室内楽〉			
アンサンブルコンテンポラ リーa 2014 韓国と日本の 現在Ⅱ	2015. 3. 18	ティアラこうとう小ホー ル	田村文生：アレカヤシ
〈コンクール審査〉			
平成26年度飛騨吹奏楽コン クール	2014. 7. 19	高山市民文化会館大ホー ル	
平成26年度愛知県吹奏楽コ ンクール中学生の部西三河 北地区大会	2014. 7. 24	豊田市民文化会館大ホー ル	
平成26年度愛知県吹奏楽コ ンクール高等学校の部西三 河南地区大会	2014. 7. 27	西尾市文化会館大ホール	

第47回岐阜県吹奏楽アンサンブルコンテスト飛騨地区予選	2014. 12. 21	飛騨・世界生活文化センター	
第2回てんぱく音楽祭	2015. 1. 25	天白文化小劇場	

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

音楽文化創造学科准教授 伊藤 孝子

1. 研究活動

【論文】			
トム・ネスの音楽療法に関する一考察：ノルウェー国立音楽大学における授業観察を中心に 著者 杉田政夫・青木真理・伊藤孝子	2014. 7. 1	福島大学総合教育研究センター紀要 第17号	本研究は、ノルウェー国立音楽大学音楽療法学科の准教授であるトム・ネス氏による「音楽と健康」コースの授業、及び関連する氏の論考の紹介、分析を通し、彼の音楽療法の理念と実践について検討することを目的としている。「創造的音楽療法」の原理に焦点を当てた1時限目の授業については、可能な限り詳細に授業の中身や様子を紹介するべく、文字起こしした。それら諸原理の具体的実践として2時限目で提示された音楽療法セッションについては、授業を記録したノート、及び関連する論考を用いて内容を提示した。それらを心理臨床、音楽療法の視座より考察し、ネス氏の実践する「創造的音楽療法」や「臨床的即興」では、「共感」と「チャレンジ」のバランスを根本原理に捉えていること、それらを基本的に音楽的相互作用の中で実現することなどに特徴を見いだした。
【研究発表】			
自閉症A児の音楽療法セッションにおける共同注意行動の変化 鈴木史夏・伊藤孝子	2014. 9. 20	第14回日本音楽療法学会学術大会 場所：名古屋国際会議場	6歳の自閉症A児の共同注意（傍観・支持された共同注意・協応した共同注意）が、音楽療法セッションの中でどのように変化していったかを、量的・質的両面から分析した。その結果、「傍観」と「協応した共同注意」が徐々に増加し、A児が楽器活動を通してセラピストに対する認識を持つようになっていったことがうかがえた。
知的障害を伴う統合失調症患者A氏に対する音楽的変化への気づきを促した音楽療法 柴田朋子・伊藤孝子	2014. 9. 21	第14回日本音楽療法学会学術大会 場所：名古屋国際会議場	知的障害を伴う統合失調症患者A氏に対する音楽療法についての事例報告である。「環境の変化に対し自分の行動を柔軟に調整できるようになる」ことを長期目標、「音・音楽刺激の変化に気づく」ことを短期目標として行った楽器活動プログラムにおけるA氏の演奏の質的变化について、I期からIII期に分けて記述した。セッション開始当初は、セラピストの音楽的介入に気付かず自分のテンポに固執しがちであったA氏が、徐々にセラピストの提示する音楽的变化（テンポ等）に気づき、交互奏への発展の兆しも伺えたことから、短期目標が達成されたと考察した。

自閉症A児との臨床即興活動の分析 柴田朋子・伊藤孝子	2014. 11. 29	第2回名古屋芸術大学音楽療法研究会 場所：名古屋芸術大学西キャンパス	15歳の自閉症A児との臨床即興活動について検討したものである。事象見本法を用いて、A児とセラピストらの行動を分析した。一見、脈略のないピアノ操作に見えるA児の演奏であったが、分析の結果セラピストとの相互作用の質的变化があることが明らかになった。
-------------------------------	--------------	---------------------------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 音楽療法各論1		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
音楽療法独自の知見のみに偏ることがないよう、関連分野（発達、障害について、心理学等）の知見をプリントにより紹介し、それとの関係で子どもに対する音楽療法についての理論を理解するよう努めた。	独自に作成したプリント15枚	

3. 学会等および社会における主な活動

第14回日本音楽療法学会東海支部大会	2014. 6～2015. 3	実行委員長
--------------------	-----------------	-------

音楽文化創造学科特別任用教授 岩本 渡

1. 研究活動

愛知芸大芸術講座 「トーク&ライブ」 「-My Favorite Things-」	2014. 5. 13	会場：愛知県立芸術大学芸術資料館	モダンジャズの「ビバップ」についてのレクチャーと演奏。 “Confirmation”, “Billie’s Bounce”など、全6曲を演奏。 Keyboard：岩本 渡、 Tenor Saxophone：碓井雅史
ICMC-SMC2014 作品選出 (International Computer Music Conference/Sound and Music Computing Conference 2014)	2014. 6. 16	主催：ICMC-SMC2014 開催地：ギリシャ、アテネ	作曲作品 “Reflection” for Marimba and ElectronicsがICMC-SMC2014に選出された。
平成26年度文化芸術による子どもの育成事業 (巡回公演事業)	2014. 6. 24 2014. 6. 25	会場：北九州市立塔野小学校 北九州市立泉台小学校	杉本竜一作曲「ビリーブ」を管弦楽に編曲。 指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
平成26年度 名古屋市内移動音楽鑑賞教室	2014. 6. 30 2014. 7. 1 2014. 7. 2 2014. 7. 7	会場：名古屋市立鳥羽見小学校 名古屋市立伝馬小学校 名古屋市立大清水小学校 名古屋市立植田小学校	ハーライン作曲「星に願いを」、久石譲作曲『となりのトトロ』より「さんぽ」を管弦楽に編曲。 指揮：吉田行地、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
第54回愛知県合唱コンクール	2014. 8. 2・3	会場：名古屋文理大学文化フォーラム 主催：愛知県合唱連盟、朝日新聞社	同コンクール中学校、高校B、大学ユース、高校A、室内、同声、混声の各部門の審査を務める。

水の環コンサート	2014. 8. 26	会場：愛知県芸術劇場コンサートホール	海の日メドレー「うみ」、「かもめの水兵さん」、「浜辺の歌」、「われは海の子」を管弦楽に編曲。指揮：田尻真高、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
Super Hybrid Study	2014. 8. 26・27	会場：愛知県立芸術大学／室内楽ホール／電子音楽スタジオ 主催：愛知県立芸術大学	自作のICMC-SMC2014入賞作品解析についての講演。
平成26年度 文化芸術による子どもの育成事業 (巡回公演事業)	2014. 9. 10 2014. 9. 11 2014. 9. 12	会場：小城市立芦刈観瀾校 多久市立小中学校 長与町立高田中学校	杉本竜一作曲「ビリーブ」を管弦楽に編曲。指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
ICMC-SMC2014 作品演奏会 (International Computer Music Conference/Sound and Music Computing Conference 2014)	2014. 9. 16	会場：オナシス・カルチャー・センター（ギリシャ、アテネ） Onassis Cultural Center, Athens, Greece 主催：ICMC-SMC2014	ICMC-SMC2014で選出された作品“Reflection” for Marimba and Electronicsの披露演奏。 Marimba:山田 善久、 Computer Operate:岩本 渡
平成26年度 名古屋市内移動音楽鑑賞教室	2014. 9. 25	会場：名古屋市立大森北小学校	久石譲作曲『となりのトトロ』より「さんぽ」を管弦楽に編曲。 指揮：吉田行地、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
平成26年度 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）	2014. 9. 30	会場：佐世保市立天神小学校	杉本竜一作曲「ビリーブ」を管弦楽に編曲。指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
名古屋国際高等学校 Wind Orchestra 第10回定期演奏会	2014. 12. 27	会場：愛知県芸術劇場コンサートホール	名古屋国際高等学校校歌「Hail Meikousai」を吹奏楽に編曲。 指揮：武藤浩司、演奏：名古屋国際高等学校 Wind Orchestra
平成26年度 文化芸術による子供の育成事業 (巡回公演事業)	2015. 1. 20 2015. 1. 21 2015. 1. 22 2015. 2. 24 2015. 2. 25 2015. 2. 26 2015. 2. 27	会場：朝倉市立久喜宮小学校 久留米市立大城小学校 福岡市立西高宮小学校 あさざり町立免田小学校 阿蘇市立尾ヶ石東部小学校 菊池市立七城小学校 熊本市立一新小学校	杉本竜一作曲「ビリーブ」を管弦楽に編曲。指揮：中井章徳、演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団
Hybrid Music 2015 Winter	2015. 2. 9	会場：愛知県立芸術大学／大合奏室 主催：愛知県立芸術大学	コンピュータを使った音楽作品の紹介と、その手法についての講演。
名古屋工業大学吹奏楽団 第3回定期演奏会	2015. 3. 24	会場：名古屋市天白文化小劇場	同定期演奏会にて、J.ビンソン作曲「レ・ミゼラブル」よりハイライト、J.スウェアリンゲン作曲「管楽器と打楽器のためのセレブレーション」の指揮を努める

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 「管弦楽法研究」(大学院)	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
管弦楽で使用される様々な楽器について、その奏法、響きなどの特性を、コンピュータを利用したマルチメディアを駆使して、臨場感のある演奏を見聞きすることにより、机上の学習だけでは味わえない現実的な体験をさせる。	各楽器の特徴的なフレーズを演奏した映像と楽譜を、コンピュータで制作、編集し、効果的な教材とする。
授業科目名 「スコアリーディング」(電子楽器)	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
電子オルガン奏者に必要な「スコアリーディング」の知識をアンサンブル演奏を通して身につける。楽器法の基礎知識や音楽的な分析を交え、鍵盤奏者にあった編曲を実践する。	「管弦楽法概論」(ヤマハミュージックメディア)、Mozart、Bach、ロマン派以降の管弦楽作品のスコア。

3. 学会等および社会における主な活動

音楽文化創造学科教授 金子 敦子

1. 研究活動

〈講習会〉 「絹の箏糸弦を締める講習会」	2015. 2. 13	蚕糸科学研究所 2階研修室(東京都新宿区百人町)	箏の演奏では糸締めは専門家が行うが、その際、化繊弦と絹弦はその締め方に違いがある。故に、たとえ演奏家が絹弦の使用を望んでも、絹の糸締めの技術をもった人がいなければ弦を鳴らすことはできない。今日、絹弦を締めることのできる専門家は極めて少ないことから、このような状況に対処するため、講師を招き、絹弦を締める技を習得する講習会を実施した。講習会后、地歌・箏曲の米川敏子氏により演奏と講評が行われた。詳細については報告書(国産絹箏弦普及の会 発行)を参照のこと。なお本講習会は、蚕糸科学研究所の助成のもとに国産絹箏弦普及の会(代表:徳丸吉彦)の一事業として実施した。
〈解説書付きDVD〉 「一絃の琴・二絃の琴」	2015. 3	名古屋芸術大学音楽学部 発行	コトと言うと箏と琴の2種を示すが、このDVDは、琴の中でも特に絃数の少ない琴、すなわち一絃琴(須磨琴、土佐一絃琴、清虚洞一絃琴)と二絃琴(八雲琴、竹琴、東流二絃琴)に注目し、その歴史、伝承、現状を記録に残すことを目的として製作したものである(DVD 1枚と解説書)。調査と研究は浜松市楽器博物館と共同で実施した。なお、本研究は、名古屋芸術大学研究助成(2012-2014年度)により行った。

〈図録解説〉 「大正琴—誕生から今日まで100年の歴史—」（和文・英文）	2015. 3	『浜松市楽器博物館総合案内 図録2015』 pp. 227-229 浜松市楽器博物館（編） 浜松市発行	浜松市楽器博物館は、平成7年（1995）に日本初の公立楽器博物館として開館し、20周年を迎える。所蔵資料は3300点で、館内には世界中の種々の楽器が展示されている。本図録は、それらの楽器の総合図録である（全257頁）。図録中、大正琴に関して執筆を行った。大正琴は、大正元年（1912）に名古屋市の森田吾郎により発明された和洋折衷楽器で、約100年の歴史を持つ。その誕生から発展に関して記している。
〈社会活動〉 平成26年度 子ども大正琴コンクール	2014. 8. 23	ウィルあいち ウィルホール（名古屋） 主催：公益社団法人大正琴協会	審査員。大正元年に名古屋出身の森田吾郎により発明された大正琴の次世代への継承を目的とし、平成18年から始まったコンクール。対象は全国の子ども大正琴愛好者。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 音楽教育Ⅲ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
日本各地には郷土色豊かな芸能や歌が伝承されているが、本授業では、平成以降に発行された中学校の音楽教科書に基づき、「日本に伝わる郷土芸能・郷土の歌」について調査・考察を行った。調査結果は、報告書『日本各地に伝わる民謡・芸能』としてまとめ、全受講生に配布した。また、学年末には実際に芸能が生まれた土地を学生とともに訪れ（2014年度は香川県）、芸能誕生の経緯を学んだ。		
授業科目名 音楽教育Ⅳ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
音楽教育Ⅳは卒業論文である。学年末に、各自が1年間調査研究した成果を先輩たちの前で発表する機会を設け、意見交換を行った。発表に際しては、レジュメの作成方法やパソコンを使った発表方法などについても指導を行った。		

3. 学会等および社会における主な活動

日本音楽学会	2014. 4～2015. 3	日本音楽学会中部支部委員
--------	-----------------	--------------

音楽文化創造学科教授 久保田 進子

1. 研究活動

講演会 「21世紀の会」	2014. 9. 19	名古屋国際ホテル	講演「音楽の効用」
-----------------	-------------	----------	-----------

尾張旭市教育委員会主催 講演会	2015. 3. 10	尾張旭市中央公民館	講演「音楽の効用 脳活性プログラムの紹介」
演奏 北名古屋You・愛解散式	2015. 3. 7	ルートイングランティア 小牧	二胡演奏「花は咲く」「涙そうそう」「見上げて ごらん夜の星を」「童神」「竹田の子守唄」

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 音楽心理学		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
先行研究の紹介、研究方法（脳波測定機の紹介も含む）等の解説を行う。また古代楽器の紹介、日本独自のリズムにも触れる。	簡易脳波測定機 DVD使用	
授業科目名 音楽療法総合演習		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
音楽療法に関する研究を各自が組み立てられるように指導する。各自研究内容をパワーポイントを使用しスライド作成と発表を課題とする。	DVD、先行研究資料を使用する	
授業科目名 音楽療法理論と技法		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
現在実施されている音楽療法を対象者別に紹介し、対象者の理解、使用する音楽に関して、各自意見をまとめる。各自考案したセッションのデモンストレーションを行う。	DVD、CD、文献を使用する。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本音楽療法学会	2002. 4～現在に至る	評議員、学術委員、正会員、認定音楽療法士
コロラド州立大学神経学的音楽療法アカデミー	2004. 10～現在に至る	神経学的音楽療法士、フェロー
日本芸術療法学会	2005. 4～現在に至る	正会員
中国民族管弦楽学会	2011. 6～現在に至る	上級演奏家

音楽文化創造学科教授 竹本 義明

1. 研究活動

《演奏会》			
第9回北名古屋市民音楽祭	2014. 12. 6	北名古屋市文化勤労会館	菅野よう子作曲「花は咲く」 チャイコフスキー作曲「眠れる森の美女より序曲、ワルツ」 ブラームス作曲「ハンガリー舞曲第4番」

知多半島春の音楽祭	2015. 2. 22	南知多町総合体育館（メインアリーナ）	南知多町の5中学校生徒484名が一同に会して合唱をするという初めての試みで、北名古屋シティ管弦楽団との共演で「大地讃頌」「ピリブ」を演奏。
《コンクール審査》			
山田音楽財団コンクール審査	2014. 7. 24	ヤマハホール	ピアノ、ヴァイオリン部門の最終審査を行なう。
札幌吹奏楽コンクール審査	2014. 8. 3～8	コンサートホールKITARA	吹奏楽コンクール札幌地区審査を行なう。
第8回横浜国際音楽コンクール審査	2014. 9. 6	横浜市栄区民文化センターリス	管楽器部門の本選審査を行なう。
第27回マーチング全国大会審査	2014. 11. 22～23	大阪城ホール	マーチングの全国大会コンクールの審査を行なう。
《発表》			
第6回日本音楽芸術マネジメント学会研究会	2014. 7. 12	東京芸術大学音楽学部	パネリストとして発表「音楽系大学の社会における役割」について発表を行なう。
《社会貢献》			
岩倉市文化振興基金審査会	2014. 4. 20～	岩倉市役所	会長として振興基金助成審査
刈谷市	2014. 4. 24	刈谷市役所	刈谷市総合文化センターの指定管理者選定委員を務める。
小牧市	2014. 5～	小牧市役所	小牧市文化振興推進委員副会長
長久手文化の家	2014. 10. 30～	長久手文化の家	長久手文化の家運営委員会副会長
津市	2014. 8. 13～2015. 3. 21	津市役所	津市久居ホール整備有識者会議委員
(独)日本芸術文化振興基金	2014. 12. 9～	国立劇場会議室	日本芸術文化振興基金運営委員会文化団体活動専門委員
春日井市	2014. 12. 16～	春日井市文化フォーラム	春日井市文化財団理事を務める

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

音楽文化創造学科教授 田中 範康

1. 研究活動

■作品発表			
「2つの存在」 ギターと十三弦 箏のための (世界初演)	2014. 7. 20	主催：ニンフェアール 第10回公演（佐治敬三賞 受賞公演） 会場：宗次ホール	ギターと十三弦箏は、同じ発音原理をもつ楽器である。しかし、それらかもし出す音色にはかなり相違があり、この点に着目し、2つの楽器に個性の異なる楽想をあてがえ、それらを様々な方法で融合させ、新たなサウンドの構築をねらった作品である。個性の異なる2つの楽章から構成されているが、2章とも共通した手法で作られている。 演奏時間 約16分。演奏はギター佐藤紀雄、十三弦箏は木村麻耶

<p>「時空の中で」 フルートとピアノのための (世界初演)</p>	<p>2014. 10. 30</p>	<p>主催：日本現代音楽協会 〈現音・秋の音楽展〉アンデバンダン展 会場：東京オペラシ ティールサイタルホール</p>	<p>フルートとチェロによるデュオ作品である。冒頭で提示される、断片的なフレーズが、2つの楽器間で絡みあいながら、時空の中で一定の秩序に従って、自由に、そしてアグレッシブに多彩な音空間を創造することをねらった作品である。作曲の主旨としては、自由な音列を核に作られたテーマを、8つのコンセプトによって変容をさせながら、全曲を構成している。 演奏時間 約8分30秒 演奏はFl. 木ノ脇道元、Vc. 松本卓似。</p>
<p>単一素材による「3つの現象」 (世界初演)</p>	<p>2014. 11. 20</p>	<p>主催： Inexplicable owl vol. 1 Solidify 会場：HITOMI ホール</p>	<p>ピアノソロのための作品。3章からなる作品であるが、1章の冒頭で提示されるRe-Miという、長2度による2つの音の動きのこだわりが、全曲を支配している。各章とも、このRe-Miから派生された動機群が、多様な変化をしながら音楽を形作っている。また、垂直軸の響きも、この動機群から倍音を意識しながら、作曲者の考案した、一定の法則にもとづいて構成されたものである。演奏時間は全曲で約16分。</p>
<p>Sparkling in the Space V 一笙、ピアノとエレクトロ ニクのための— (世界初演)</p>	<p>2014. 11. 20</p>	<p>主催 Japan-USA ; Music Perspectives Series #6 会場 Tenri Culture Institute of New York</p>	<p>シリーズ第5作目になるエレクトロニクスとアコースティック楽器による作品。今回は、日本の伝統楽器である笙の音成分を約250のタイプに加工、変調した音素材に、ピアノと正弦波より合成した音素材を加え、それを基に数種類の音列からなる音群を組み合わせて作った作品である。特に今回は、笙の本来もっている独特の表現力を全面にした音楽構築を目指したといえる。 演奏は 笙 中村華子 ピアノ Blair McMillen 演奏時間は約12分</p>
<p>■CDリリース</p>			
<p>田中範康作品集Ⅱ (音の情景)</p>	<p>2014. 11</p>	<p>ALM Recods (AL-CD103)</p>	<p>今回のアルバムは、Jesus Christ Churchで収録した。収録作品はエレクトロニクス作品、雅楽作品など過去5年間に発表された、様々な編成による室内楽作品からなる。演奏者はアレクサンダー・バーダー等ベルリン・フィルハーモニーメンバを含む国内外の著名な演奏者による。 収録作品：音の情景Ⅰ 音の情景Ⅱ 音の情景Ⅲ Sparkling in the SpaceⅠ モノローグ第1番 変容の時 相克の時 の計7曲。 レコード芸術で本CDが掲載された。 CD Total Time 68'</p>

■楽譜出版			
Monologue No1	2014. 11	(株)マザーアース	平成21年に演奏会初演されたヴァージョンをもとに、特に中間部を加筆変更したものに追加本出版のために、ペダリングを詳細に書き込んだ。本ヴァージョンで、平成26年11月にALM Recordsからリリースされた田中範康作品集Ⅱ（音の情景）に収録済みである。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 作曲法研究Ⅳ		近年音楽大学で学ぶ学生の基礎能力が極端に落ちており、これを少しでも改善するためには専門科目、特に理論系科目を中心とした包括的な教育が必要となってきている。そこで、特に基礎的な科目であるソルフェージュ、和声学などについては、グレード制を設けて、教育の充実をはからなくてはならない。その中で、レベルの高い学生に対しては、特別クラスを編成するなどの対応も考慮する必要があり、同時に、レベルの低い学生に対しては、個々にきめ細かい教育で対応できるよう、可能な限り、少人数での授業展開が望まれる。これらの教育的な工夫により、学生のモチベーションを維持し、結果的には学習への満足度が高くなることを考える必要があると考えている。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
作曲理論コース4年次の専門科目である。個々の学生の個性に応じて、無調音楽（主に器楽作品）を中心に指導していく。そのために、20世紀から、現在にいたる様々な現代作品の作品例を示しながら、同時に実際に鑑賞を通じて、無調音楽の響きの世界を理解させていった。	現代作品のスコア・CD	
授業科目名 対位法		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
演奏学科が対象であるため、対位法の概念的な授業を展開していく。前期では最終的に、2声の純粹対位法（華麗対位法）を実習させる。後期は2声のインベンションを一定の書式で実施させる。対唱をこちらで与え、経過句は反復進行による和音進行を基本とすることで、初心者でも作りやすいよう配慮した。さらに、ポリフォニー音楽の代表的な作品の鑑賞、一部分析などを通じて、対位法音楽がより深く理解できるよう工夫した。	ホセ・イグナチオ テホン「パレストリーナ様式による対位法」 バッハのインベンション、パレストリーナ作品の楽譜	
授業科目名 音楽制実習Ⅰ Ⅱ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本科目では、本年においても基本的にはカレドスコープへの作品提供を目指した。また、本科目がサウンドメディアの学生を対象としており、電子音を組み込んだ作品作りや、映像がより有機的に表現のツールとなり得る可能性についての説明を加えていった。さらには、音楽の中で雑音、噪音などのノイズ系の音の存在が、音楽に及ぼした影響を、歴史的に検証させ、自作品の中で、これらを表現の一部として使える可能性を学ばせた。	各種音源・MaxMsp. その他の電子デバイス	

授業科目名 作曲法研究 I	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
本科目では、個々の学生の能力に合わせて、主にチャランの380の和声学、と、動機書法についてのトレーニングを学習させていく。さらに、対位法やフーガ等の、ポリフォニー音楽の基本も合わせて学ばせていく。	チャラン380の和声学。対位法については、実施のポリフォニックの作品を分析するためにバッハの平均率クラヴィア曲集を題材にしている。
授業科目名 和声学特論	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ピアノコース対象の授業であり、チャランの380課題の中から、様々な7の和音について正しい理解ができることを最終目標において授業を進めた。課題実施後は必ずピアノで弾くことを指導することで、旋法的な響きを垣間みるフランス音楽の響きの流れを感じ取れるようになっていった。さらに、既成の楽曲について、本科目で実施した和音進行を例に、楽曲の分析を通じて解説を加えた。	和声学 シャラン380課題

3. 学会等および社会における主な活動

ヤマハグレード試験官 3, 4, 5級	2014. 4. 1~2015. 3. 31	試験官
日本作曲家協議会	2014. 4. 1~2015. 3. 31	会員
日本現代音楽協会	2014. 4. 1~2015. 3. 31	会員
日口音楽家協会	2014. 4. 1~2015. 3. 31	会員

音楽文化創造学科教授 ドナルド・ロバート・シュエッケンディック

1. 研究活動

JAZZ @ TOMMY'S	2014. 4. 11	TOMMY'S REMEMBER SENDAI	PIANO+VOCAL+BASS
MOONLIT JAZZ	2014. 4. 12	MOON RIVER MISAWA, AOMORI	PIANO TRIO+VOCAL
AKASAKI MAYUMI BIRTHDAY LIVE	2014. 5. 31	SHEBEEN HONDA CITY	PIANO TRIO+VOCAL
TAMAKI'S JAZZY NIGHT I	2014. 6. 14	TAMAKI SAKAYA TAJIMI CITY	PIANO TRIO+FLUTE
JAZZ @ NOEL	2014. 6. 29	ANTIQUÉ NOEL NAGOYA	PIANO TRIO+VOCAL
SPECIAL VOCAL NITE	2014. 8. 23	OLIVE CAFÉ MIYOSHI	PIANO TRIO+VOCAL
YOKKAICHI JAZZ STREET	2014. 9. 14	YOKKAICHI EKI MAE	PIANO TRIO+VOCAL

MEIGEI OPEN CAMPUS CONCERT	2014. 9. 27	NAGOYA GEIJUTSU DAIGAKU	PIANO TRIO+SAX+VOCAL
TAMAKI'S JAZZY NIGHT II	2014. 10. 25	TAMAKI SAKAYA TAJIMI	PIANO TRIO+VOCAL
GEISAI CONCERT	2014. 10. 26	NAGOYA GEIJUTSU DAIGAKU	DRUNKEN FISH
OKAZAKI JAZZ STREET	2014. 11. 1 2014. 11. 2	OKAZAKI CITY	PIANO TRIO+VOCAL
LA LA JAZZ	2014. 11. 7	LA LA LA NIPPOLI, TOKYO	PIANO TRIO+VOCAL
SPECIAL VOCAL NITE	2014. 11. 8	OLIVE CAFÉ MIYOSHI	PIANO TRIO+VOCAL+GUITAR
HONDA JAZZ SCENE	2014. 11. 29	SHEBEEN HONDA CITY	PIANO TRIO+VOCAL
JAZZ @ HADOWS	2014. 11. 21	HADOWS KAGAMIGAHARA	PIANO TRIO+VOCAL
CHRISTMAS CONCERT	2014. 12. 7	YAMAHA TOYOTA CITY	SOLO PIANO
CHRISTMAS AT THE RITZ	2014. 12. 17	THE RITZ GIFU CITY	SOLO PIANO
SPECIAL VOCAL NITE	2015. 1. 10	OLIVE CAFÉ MIYOSHI	PIANO TRIO+VOCAL
JAZZ @ BAGU	2015. 1. 25	BAGU GIFU CITY	PIANO TRIO+VOCAL
JUMPA SWING ORCHESTRA CONCERT	2015. 3. 4	ATOPIA HALL NAGOYA	SPECIAL GUEST PERFORMANCE
THE WIZ 5TH ANNIVERSARY LIVE	2015. 3. 6	THE WIZ NAGOYA	PIANO TRIO
SPECIAL LIVE IN SHAGGY	2015. 3. 23	SHAGGY (GREEN HOTEL) TOYOHASHI	PIANO TRIO
REGULAR MONTHLY PERFORMANCE VENUES	2014. 10 ~2015. 3	LOVELY, NAGOYA	PIANO TRIO+VOCAL
		THE WIZ NAGOYA	PIANO SOLO AND TRIO
		JOHNNY, NAGOYA	PIANO +VOCAL
		SWING, NAGOYA	PIANO TRIO+VOCAL
		TAIHEIYO FERRY	PIANO TRIO
		TARASO, KIRA	PIANO TRIO
		CAFÉ TANAKA NAGASHIMA JAZZ DREAM	SOLO PIANO
		ZENITH MARRIOTT HOTEL MEI EKI	PIANO AND VOCAL DUET
CABALLERO CLUB NAGOYA	PIANO TRIO		

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 ジャズポップスプレーヤー研究Ⅰ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
最初に基礎の事を勉強する。音階と和音とⅡ-Ⅱ-Iコードプログレッション（コード進行）それからブルースと簡単なスタンダードに挑戦する。	
授業科目名 ジャズポップスプレーヤー研究Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
生徒の力量を見ながらレパートリーを増やし、レベルアップを目指す。	
授業科目名 ピアノ実習Ⅰ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
基礎の事を勉強する。音階と和音とⅡ-Ⅱ-Iコードプログレッション（コード進行）	
授業科目名 ピアノ実習Ⅱ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ブルースを勉強する。生徒のレベルに合わせてスタンダードナンバーに挑戦する。	

3. 学会等および社会における主な活動

音楽文化創造学科准教授 長江 和哉

1. 研究活動

録音			
中部フィルハーモニー交響楽団 「第5回名古屋定期演奏会」 指揮：秋山和慶氏 ピアノ：佐藤麻理氏	2014. 6. 20	三井住友海上 しらかわホール	オーケストラ ライブレコーディング ・序曲「コリオラン」ハ短調 作品62 /ベートーヴェン ・ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 作品83 /ブラームス オーケストラの定期演奏会のCDプロダクションを行った。編集後CDとなり支援会員への配布と一般に発売された。
R. シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ作品18 ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」 ヴァイオリン：大谷康子氏 ピアノ：イタマール・ゴラン氏	2014. 11. 26	ソニーレコーズ インターナショナル SICC-1771	Vn. Piano セッションレコーディング ・ヴァイオリン・ソナタ 作品18 /R. シュトラウス ・ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」 /ベートーヴェン 大谷康子氏のヴァイオリニストとしてのデビュー40周年を記念したレコーディングを優れたアコースティックを持つベルリン・イエスキリスト教会で行った。収録後、編集ミキシングをおこないソニーレコーズより発売された。

加藤訓子氏 PROJECT IX PLEIADES (プレイアデス) 演出/ルカ・ベグッティ氏 音楽/加藤訓子氏 (パーカッション) ダンス/中村恩恵氏	2014. 4. 19 2014. 4. 20	KAAT 神奈川芸術劇場	ヤニス・クセナキス「プレイアデス」の音楽と映像のライブインスタレーション・パフォーマンス公演のプリレコードパートの録音を担当した。6パートの打楽器のプリレコードが6本のスピーカーから立体再生されながら、ダンスパフォーマンスと映像が融合したコンサートであった。
第21回日本プロ音楽録音賞 部門D「2ch ノンパッケージ」部門 最優秀賞 「飛騨高山ヴィルトーゾ オーケストラコンサート 2013」より プロコフィエフ 交響曲第 1番 古典交響曲 第一楽章 演奏：飛騨高山ヴィルトー ゾオーケストラ 発売元：シンタックスジャ パン	2014. 12. 5	主催 日本オーディオ協会 日本音楽スタジオ協会 日本ミキサー協会 日本レコード協会 演奏家権利処理合同機構 MPN	音楽ソフトを制作するプロの録音関係のエンジニアを顕彰し、エンジニアの重要性の認知や社会的な地位の向上をはかる、日本プロ音楽録音賞の部門D「2ch ノンパッケージ」部門で、2013年録音し配信された本作品が最優秀賞を受賞した。
寄稿			
セミナーレポート 名古屋芸術大学 トーンマ イスターワークショップ 2013	2014. 4月号	プロサウンド ステレオサウンド 刊行	2013年12月に愛知県碧南エメラルドホールでおこなった本学主催のトーンマイスターワークショップのレポートを寄稿した。ドイツ・ベルリンよりトーンマイスター、エバハート・ヒンツ氏を招き、木管五重奏のセッションレコーディングをテーマとしたワークショップの詳細について報告した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 録音技法 I		スタジオ、ホールでの録音技術を研究するため、学校、演奏団体、音楽系企業と受託研究契約を締結し、サウンド・メディアコース教員と、学生とともに音楽原盤制作を行った。その結果、学生が実際の仕事の一端に触れる環境を作り出すことができた。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
1年生の早い時期より、ステレオ、サラウンド作品について分析・研究し、「音楽的、あるいは芸術的にすぐれた音とはどのようなことなのか」をテーマに、クラシックからJazz、Popまで様々なスタイルの演奏者を招き録音を行い、学生が楽器本来の音を知ることができるよう工夫した。	サウンドレコーディング技術概論	
授業科目名 スタジオ・オペレーティング実習 II		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
スタジオでの録音だけではなく、学外のクラシック専用ホールでおこなわれたオーケストラのコンサートをライブレコーディングすることで、ホールのアコースティックが録音作品に与える影響について、学生は体感することができた。	サウンドレコーディング技術概論	

3. 学会等および社会における主な活動

AES	Audio Engineering Society	2007～	役員（会員担当理事）
-----	---------------------------	-------	------------

音楽文化創造学科准教授 舟橋 三十子

1. 研究活動

【科学研究費採択】			
科学研究費助成（基盤研究（C）（一般））採択課題「音楽基礎教育としての独創的なソルフェージュ教材開発に関する総合的研究」研究代表者 2013年度～2015年度（研究課題番号：2537019）	2013. 4. 1 （継続中）	日本学術振興会	音楽の基礎学習としてのソルフェージュ教育の原点に立ち返り、独創的な教材を研究し、新たな指導方法の確立を目指す。
【著書】			
「フォルマシオン・ミュージカル 名曲で学ぶ音楽の基礎 I楽典・ソルフェージュから音楽史まで」	2014. 4. 10	音楽之友社	名曲をテキストにして、音楽を多角的な面から考え、真の音楽家が身につけるべき広い教養と高い音楽性や創造性を目指すフランスの新しいソルフェージュ《フォルマシオン・ミュージカル》の考え方を、日本の現状に合わせて構成した問題集。
「フォルマシオン・ミュージカル 名曲で学ぶ音楽の基礎 II楽典・ソルフェージュから音楽史まで」	2014. 4. 10	音楽之友社	名曲をテキストにして、音楽を多角的な面から考え、真の音楽家が身につけるべき広い教養と高い音楽性や創造性を目指すフランスの新しいソルフェージュ《フォルマシオン・ミュージカル》の考え方を、日本の現状に合わせて構成した問題集。I巻より難易度が少し高く書かれている。
【WEB連載】			
みとこ先生の音大入試の楽典ガイド～名曲で学ぶ音楽の基礎～ 第1回	2014. 6	音楽之友社ホームページ http://www.ongakunotomo.co.jp/web_content/gakuten/01.html	2013年度 東京芸術大学入試問題「シューベルト：ヴァイオリンとピアノのためのソナティナD385 第2楽章」より、終止と非和声音についての解説。応用問題：シューベルト作曲《野ばら》を用いた終止と非和声音の問題。
みとこ先生の音大入試の楽典ガイド～名曲で学ぶ音楽の基礎～ 第2回	2014. 8	音楽之友社ホームページ http://www.ongakunotomo.co.jp/web_content/gakuten/02.html	2013年度 国立音楽大学入試問題「F. Mendelssohn：《厳格な変奏曲》op. 54の主題」より、調判定と変奏曲についての解説。応用問題：ドニゼッティ作曲 オペラ《愛の妙薬》よりアリア、シューマン作曲《森の情景》op. 82より〈予言の鳥〉の2曲を用いた調判定の問題と、代表的な変奏曲とその作曲家、国を譜例から答える問題。

みとこ先生の音大入試の楽典ガイド～名曲で学ぶ音楽の基礎～ 第3回	2014. 10	音楽之友社ホームページ http://www.ongakunotomo.co.jp/web_content/gakuten/03.html	2013年度 愛知県立芸術大学音楽学部入試問題「J. S.バッハ作曲《マタイ受難曲》BWV244 アリア〈憐れみたまえ、わが魂よ〉」導入部分より、借用和音と舞曲のリズムの解説。応用問題：指定した調やショパン作曲《ワルツ第7番op. 64》等に書かれた借用和音の問題と、《イパネマの娘》《エンターテイナー》等で用いられている舞曲の名前と国を穴埋めで答える問題。
みとこ先生の音大入試の楽典ガイド～名曲で学ぶ音楽の基礎～ 第4回	2014. 12	音楽之友社ホームページ http://www.ongakunotomo.co.jp/web_content/gakuten/04.html	2013年度 奈良教育大学教育学部入試問題「P. Tschaiikowsky作曲 ピアノ協奏曲op. 23」第1楽章より、移調楽器とオーケストラの楽器編成の解説。応用問題：マーラー作曲《交響曲第5番》第1楽章やラヴェル作曲《ボレロ》より、移調楽器で演奏される有名な旋律を実音で書かせる問題と、オーケストラで用いられる楽器の音域を答える問題。
みとこ先生の音大入試の楽典ガイド～名曲で学ぶ音楽の基礎～ 第5回	2015. 2	音楽之友社ホームページ http://www.ongakunotomo.co.jp/web_content/gakuten/05.html	2013年度 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校入試問題「F. Schubert: SONATE fur Arpeggione und Klavier D821」より、音部記号と古楽器の解説。応用問題：ドヴォルザーク作曲《チェロ協奏曲》や、スメタナ作曲 弦楽四重奏曲第1番《わが生涯》第1楽章より、各種音部記号で書かれた譜例を異なる音部記号で書かせる問題と、古楽器についての説明文の穴埋め問題。
【講座】			
2014年下半年ピアノ指導法シリーズセミナー 第3回「名曲のスタイル分析～ピアノ曲をつかって～」	2014. 11. 10	日響楽器池下店 2Fホール	拙著「クラシックの聴き方入門—名曲のスタイル分析 全80曲—」（ヤマハミュージックメディア刊）をテキストに用いて、古典派やロマン派のピアノ曲を中心に、有名な作品の楽曲分析を通して、より良い演奏や指導への活かし方をレクチャーした。
【コンクール審査】			
ローランド・ピアノ・ミュージックフェスティバル 2014九州B本選 小学生部門A・小学生部門B	2014. 11. 30	鹿児島市民文化ホール第2ホール	予選に合格した参加者の、ステージ演奏を審査し、講評した。
ローランド・ピアノ・ミュージックフェスティバル 2014神静本選 一般部門・中高生部門A・中高生部門B	2014. 12. 21	横浜市栄公会堂	予選に合格した参加者の、ステージ演奏を審査し、講評した。
【研究紀要】			
新しいソルフェージュ～フォルマシオン・ミュージカルへの展開	2015. 3. 31	名古屋芸術大学研究紀要第36巻 pp.191-211	名古屋芸術大学平成25年度研究紀要

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 ソルフェージュ I、II ソルフェージュ特論	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
一般的な聴音、新曲だけでなく、分析、理論、移調、リズム、音程練習等を加えてアプローチしている。また、様々な時代や作曲家、国の名曲をテキストに用い、幅広い視点から音楽をとらえ、学生が何のためにソルフェージュを学ぶのか、その目的をはっきりさせて、授業を学ぶモチベーションを高めるようにしている。	フランスの教本（フォルマシオン・ミュージカル）の日本語版（拙訳）を用い、新しい考え方に基づいた方法を実施している。また教材として用いた作品のCD、DVDを使用し、譜面からだけでなく、視覚的・聴覚的な要素も視野にいれた方法での楽曲へのアプローチを試みるようにしている。
授業科目名 楽式論（楽曲分析を含む）	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
よく知られたピアノ作品から始まり、最終的には、古典派、ロマン派、近代の作品までのアナリゼを実施している。予習に重点を置き、自分の力で分析できるようにさせている。過去に学んだ和声学の知識を生かし、最終的にはポリフォニックな音楽にも踏み込んでアナリゼできるようにしている。	基本的な和声の復習から始まり、小品だけでなく、最終的には簡単な室内楽の楽曲の分析ができるように、パソコンのソフト（フィナーレ）で作成した独自の譜面を参考資料として用いるようにしている。またDVD等のメディアを用い、オリジナルの編成での楽曲にも親しむように工夫している。
授業科目名 キーボード・ハーモニー	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
コードネームや和音記号を用いた伴奏付けや、旋律に合った対旋律（オブリガート）を付けるなど、音楽の教師を目指すに当たって、教育の現場で実際に役に立つ学習を行っている。よく知られた旋律に正しいハーモニーを付けるなど、和声学で学んだ机上の学問を実践で役立たせるように工夫している。	毎回の授業時に、CD、MD、DVD等の機器を使用して、1つの楽曲を様々な編成で演奏したものを模範として聞かせている。古今東西の名曲を教材として使用することは、幅広い知識を必要とされる音楽教育の面からも欠くべからざることなので、幅広いジャンルの曲を聞かせるように努めている。

3. 学会等および社会における主な活動

日本ソルフェージュ研究協議会	2009. 4～現在に至る	
日本音楽表現学会	2012. 6～現在に至る	
国際音楽教育学会（ISME）	2014. 4～現在に至る	

音楽文化創造学科教授 森泉 博行

1. 研究活動

松竹・新橋演舞場公演	2014. 4	滝沢演舞城・義経	台本・演出
日生劇場	2014. 6	ジャニーズ伝説	潤色
東宝・帝国劇場公演	2014. 9	Dream Boys	潤色
東宝・帝国劇場公演	2014. 12	Johnnys World	潤色

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 ミュージカル研究Ⅰ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ダンス、ヴォーカル、アクティングの作品中における役割と特性の検証を重点的に行う。	ミュージカル「RENT」 「A Chorus Line」ダイジェスト 台本の執筆
授業科目名 ミュージカル研究Ⅱ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ブロードウェイ作品「A Chorus Line」の研究を行う。	ブロードウェイ・ミュージカルのダイジェスト版の作成。
授業科目名 ミュージカル研究Ⅲ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ブロードウェイ作品「RENT」の研究と試演。	試演会用台本の執筆と演出。
授業科目名 ミュージカル研究Ⅳ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
オリジナル・ミュージカル「Mysterious Diva」を創作し、アートピアホールにて上演。	上演台本の執筆と演出。

3. 学会等および社会における主な活動

日本演出家協会		
日本劇作家協会		
日本演劇協会		

音楽文化創造学科教授 山田 純

1. 研究活動

〈レクチャー活動〉			
小牧市音楽振興事業 ・小牧市「音楽鑑賞講座」① ・小牧市「音楽鑑賞講座」② ・小牧市「音楽鑑賞講座」③	「音楽鑑賞講座」 2014. 6. 28 2014. 7. 19 2014. 9. 20	味岡市民センター講堂 味岡市民センター講堂 味岡市民センター講堂	窪田健志「パーカッションの世界」 甘建民「二胡の世界」 ココット弦楽四重奏団「弦楽四重奏の世界」
名古屋市高年大学 名古屋市高年大学講師 名古屋市高年大学講師	2015. 2. 4 2015. 2. 6	「鯉城学園」 名古屋市ライフプラザ 々	「日本の文化政策を考える——日本と韓国の比較1、2」
名古屋市文化振興事業団 アートピア：アート プロデュース講座講師	2014. 9. 19	青少年文化センター アートピア	アートプロデュース概論

ピーアンドピー講座 社員に対する アートマネジメント講座	2014. 11. 17 2014. 12. 15 2015. 1. 27 2015. 2. 17 2015. 3. 17	豊川市P&P本社ビル 蒲郡市民会館 蒲郡市民会館 豊川市P&P本社ビル 豊川市P&P本社ビル	指定管理者に関する 特別講座 「自主事業の実施」1～5
〈執筆活動（ジャーナル誌）〉			
建築ジャーナル「アーキテクト」 ①2014年6月号 ②2014年8月号 ③2014年10月号	2014. 6 2014. 8 2014. 10	建築ジャーナル「アーキテクト」 〃 〃	コラム： 音とトボスシリーズ 「プロセニウムを越えて」 「ベートーヴェンって誰？」 「ベートーヴェンと難聴 苦痛を越えて」
〈新聞への寄稿〉			
中日新聞 夕刊	2015. 1. 7	「文化発信」コーナー	「名古屋ホール新事情」「器が足りない」
〈執筆活動（オーケストラ）〉			
名古屋フィルハーモニー 名古屋フィル定期等演奏会 名古屋フィルクリスマス スペシャルコンサート 名古屋フィル しらかわ コンサート	2014. 4. 18・19 2014. 12. 23 2015. 1. 17	愛知県芸術劇場コンサートホール 愛知県芸術劇場コンサートホール 三井住友海上しらかわホール	コラムと曲目解説の執筆 曲目解説 シベリウス：交響曲第5番他 曲目解説 ミュージカルソング他 曲目解説 ハイドン：交響曲第102番他
東京交響楽団 アニモKAWASAKI定期演奏会	2014. 4. 5	ミュゼザ川崎ホール	訳詞 モーツァルト：レクイエム
中部フィルハーモニー 中部フィル第7回名古屋 定期演奏会 中部フィル東海ゴム チャリティーコンサート 中部フィル第25回 定期演奏会	2014. 6. 20 2014. 10. 26 2015. 2. 1	三井住友海上しらかわ ホール 犬山市民文化会館 小牧市市民会館	コラムと曲目解説の執筆 曲目解説 ベートーヴェン：交響曲第4番他 曲目解説 グリーグ：ペールギュント組曲他 曲目解説 シベリウス：交響曲第2番他
セントラル愛知交響楽団 第135回定期演奏会	2014. 7. 18	三井住友海上しらかわ ホール	曲目解説 ベートーヴェン交響曲第3番他
〈執筆活動（その他）〉			
電気文化会館主催事業 6月主催事業	2014. 6. 25	電気文化会館ザ・コンサートホール	コラムと曲目解説の執筆 曲目解説 ブラームス：ソナタ第3番他
名古屋自由学院創立60周年 記念	2014. 12. 4	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール	第9の曲目解説と 歌詞の訳詞
〈執筆活動（リサイタル等）〉			
ザ・ストリングス名古屋 第18回定期演奏会 石原佳代 ピアノ・リサイタル 石田なをみ ヴァイオリン・リサイタル	2014. 6. 16 2014. 12. 14 2014. 10. 10	電気文化会館ザ・コンサートホール 電気文化会館ザ・コンサートホール 電気文化会館ザ・コンサートホール	曲目解説 ヤナーチェク：弦楽組曲他 曲目解説 ブラームス：ヘンデルの主題 曲目解説 ベートーヴェン：ソナタ第10番他

〈その他〉			
ヤングジャズサミット	2015. 1. 11	名古屋芸術大学 3 号館 ホール	審査員および講評
〈指揮/編曲活動〉			
オーネストリングズ 定期演奏会	2014. 8. 3	電気文化会館ザ・コン サートホール	バルトーク 弦楽のためのディヴェルティメント
掖済会病院チャリティー コンサート	2014. 12. 20	掖済会病院ホール	弦楽オーケストラのための 「めぐり逢い」

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 アートマネジメント概論		〈学外授業〉 アートマネジメント概論、制作・特殊研究すべてにわたって共通する最大の理解は、舞台を見ること、舞台制作の現場を目の当たりにすることから得られる。授業の中で学んだ机上学にしっかりとした手応えを感じて貰うことが、学外授業という形で実施した現場実習である。創作に携わることは不可能としても、その場において創作の実際を目の当たりにすることは何よりの刺激を学生たちに与えると思われる。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
アートマネジメントの概論では、2年時以降に展開する様々なシーンを想定して、基礎知識を学ぶ。また、特に劇場を主として実体験として基礎的な技を学習する。		
授業科目名 アートマネジメントの世界		実践例 世界劇場会議 「国際フォーラム2014」への参加 小牧市からの委嘱事業 「音楽鑑賞講座」 における、裏方と表方の実習 年間3回実施 日本アートマネジメント学会 への参加 日本音楽芸術マネジメント学会 への参加 その他あらゆる機会を捉えて学生たちを学外授業に向かわせる
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
アートマネジメントに必要なあらゆる知識と知恵、そして技を学べるように工夫する。かつ社会人としての様々な常識を身につけるよう指導する。		
授業科目名 制作・特殊研究（含卒論）		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
3年までに学習したすべての知識を投入して、実際の制作活動を行い、それをレポートとして記録する。		
授業科目名 卒業研究		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
4年間の学習の集大成として卒業制作を行う。そのための研究活動と研究成果を記録として残すための学習がこの卒業研究である。学生たちが机上の空論にならないように指導する事が最大の工夫である。		

授業科目名 アートマネジメント学習	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
卒業研究とともに、卒業制作をターゲットとする学習を支えるための重要な実習授業である。必ず目標を持たせ、それを解決できるように学生を導く工夫が欠かせない。	
授業科目名 劇場と舞台	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
アートマネジメントの主たる活動の現場が劇場である。劇場と舞台の関わりを知る事により、アートマネジメントの効果的な知識を獲得できる。知識としての学習ではなく、手にとって分かる学習を目指した。	

3. 学会等および社会における主な活動

名古屋音楽ペンクラブ ・音楽ペンクラブ賞選考会 ・音選実行委員会 ・ペンクラブ賞授賞式	2014. 4. 1～2015. 3. 31 2014. 9. 28 2014. 5. 12	名古屋音楽ペンクラブ会員としての批評活動とペンクラブ賞の選考作業 ペンクラブ賞受賞者による演奏会の実施活動 ひしや
名古屋市高年大学	2015. 2. 4・6 (名古屋市ライフプラザ)	講師としての講演活動 「日本の文化政策を考える」
日本アートマネジメント学会 全国大会 (実践女子大学)	2014. 5. 17 2014. 12. 13 2014. 11. 29・30	中部部会の会長としての活動 全国大会における部会長
第2回日韓アートマネジメント シンポジウム	2015. 3. 30・31	実行委員長として
世界劇場会議ITCN	2015. 2. 13・14 可児市文化創造センター アーラ	「国際フォーラム2014 in 可児」における理事および実行委員としての活動
名古屋市民芸術祭賞審査委員会 市民芸術祭賞授賞式	10/8 張柳春ソプラノリサイタル 10/12 山口雅子ソプラノリサイタル 10/13 アンサンブル・ソラーリス 10/23 ジャズとタップの夕べ 11/3 りゅーと弦楽四重奏団 11/8 オスティナート 11/9 榊原祐子ピアノ 11/22 アンディアーモ 2015. 2. 2	名古屋市民芸術祭賞音楽部門の審査委員としての活動 審査委員長として 市役所本庁舎5階
愛知県文化振興事業団	2014. 4. 1～2015. 3. 31	理事としての活動
日本音楽学会	2014. 4. 1～2015. 3. 31	会員としての研究活動

日本音楽芸術マネジメント学会	2014. 7. 12（東京藝術大学） 2014. 12. 7（武蔵野音楽大学）	第6回全国大会における役員として運営に携わると同時にコーディネーターを務める。 論文執筆及び査読活動
長久手市文化の家	2014. 4. 1～2015. 3. 31	文化の家の企画委員として文化の家の自主事業の評価及び会館への提言活動

教養部会准教授 大田 高輝

1. 研究活動

「愛知軍政部月例報告翻訳」研究	未発表	未発表	共同研究者：新海英行、榊原博美、林恭子、村瀬桃子、石井拓児。共同研究者で構成する占領期社会教育史研究会で翻訳研究発表を前提に、愛知軍政部が作成した1946年8月下旬からのSemi-Monthly Report及び1947年2月からのMonthly-Reportを含む軍政活動報告文書を月例の研究会で詳細翻訳検討している研究。順次、その翻訳成果の発表も行なっている。
「民衆芸能教育の研究」 （「子どもたちの自己表現を励ます教育実践の創造(3)」）	未発表	未発表	2006年度に愛知県の小学校で実施した「民衆芸能教育」を基礎に、全国で展開されている小中学校を中心とした和太鼓・民舞への取り組み（「民衆芸能教育」）で創出されている教育的価値を抽出する研究。毎年7月末に開催されている「名古屋市小中学校和太鼓・民舞フェスティバル」などを足がかりに、現在研究が進展中。
「障がい者社会教育の研究」	未発表	未発表	かつて1996年に名古屋市を事例として取り組んだ障がい児・者の教育に関する調査・実践研究を基礎に、彼らが生きいきとした地域生活を送るために必要としている地域学習文化活動や、それらを支える地域住民が必要とされている地域学習文化活動の実践創出の可能性と限界を明らかにする研究。重症心身障がい者通所更生施設「撫の家」での実践検討と教育的価値創出の過程を中心として分析進展中。
「中等教育実践における教育方法に関する一考察(2)」	未発表	未発表	2006年3月に『社会教育研究年報』第20号に「一教育方法と教師の役割を考える教育実践の展望を核にして一」という副題で、その(1)にあたる研究を発表しており、その続編にあたる論考を現在準備中。
「教育課程編成における教育内容の精選に関する一考察(1)」（仮題）	未発表	未発表	「教育課程編成」すなわち教育内容計画の編成における当該教育内容に関しての「精選」の問題に焦点を当てた研究。現在講義担当している「教育課程論」における教材の「精選」の問題を取り上げ、さらにその教材の中から諸問題を分析的に抽出する試みを現在進行中。

義務教育階梯における教育課程編成上の諸問題(1)―平成20(2008)年改訂学習指導要領での変更点の確認のための研究ノート―	2014. 3. 31	『名古屋芸術大学教職センター紀要』第1号	現行の2008年改訂学習指導要領の特長を明確にするために、直前の1998年改訂学習指導要領からの変化を比較しながら確認するための研究ノート。なお、対象とした教育階梯は、小学校及び中学校である。
「初等及び中等教育実践における教育方法に関する一考察―学習指導要領との関連も観る教育実践覚書」	2014. 3. 31	『名古屋芸術大学教職センター紀要』第1号	小学校教育、中学校教育、高等学校教育各々の教育方法を教育実践描写的にみせている映像資料(映画)を分析的に整理し、現行の学習指導要領との関連も教育課程論的にみながら検討している教育実践覚書。
「教育課程編成における子ども・父母・地域住民・教師の協働に関する一考察(2)」(仮題)	未発表	未発表	2007年に「名古屋芸術大学研究紀要」第28号において、「―教育課程政策の変遷と地域教育運動を視野に入れながら―」という副題で、その(1)にあたる研究を発表しており、その際には、教育課程政策の変遷の分析において1988年学習指導要領策定の分析までにとどまっていたが、その後の学習指導要領改訂の動向と実践展開を視野に入れた、その続編にあたる論考を現在準備中。

2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目名 教育方法論		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の学習の自由を最大限に保障するために、感性と知性を十全に働かせて自由記述に近い課題(感想)文を書いてもらっている。その触発教材として「教育方法」を感受できる視聴覚教材を精選した上で活用しており、講義に主体的に参画できる工夫を行なっている。	視聴覚教材の精選されたもののほか、その参考資料として活字・写真等で示した各教材の参考プリントを必ず作成・配布して、より深い感受を導いている。また、基礎的・基本的なプリント学習用の教育方法論資料シリーズを作成・配布・検討しているほか、感受のより一層の促進のためのプリント資料も作成・配布・検討している。	
授業科目名 教育課程論		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の主体性を引き出すために、教育内容編成に学生の意向を反映させることができるように工夫しており、所感を書いてもらう折などに、講義内容に対する要望、意見、文句などを忌憚なく寄せてもらい、それらを柔軟に講義内容編成に反映させていくことを積極的に行なっている。	精選された視聴覚教材を準備するほか、学生の感受の契機となるような各教材の参考プリントも必ず作成・配布している。また、基礎資料として各種法令や学習指導要領に関するプリントを当然の如くに作成・配布・検討しているほか、感受性を刺激する韻文のプリント資料も作成・配布・検討している。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本教育学会	1987～現在に至る	会員
日本社会教育学会	1985～現在に至る	会員
民俗芸能学会	2008～現在に至る	会員

日本教育法学会	1987～現在に至る	会員
日本公民館学会	2005～現在に至る	会員
社会教育推進全国協議会	1985～現在に至る	会員
愛知保育問題研究会	2008～現在に至る	会員
占領期社会教育史研究会		会員

教養部会准教授 キアラ・ザンボルリン

1. 研究活動

〈論文〉			
(Sor) ridere in Italia e in Giappone: Meccanismi cognitivi, manifestazioni linguistiche e differenze interculturali dell'umorismo.	2014. 12	In M. K. Gesuato (cur.), <i>Ricerca, Scoperta, Innovazione: L'Italia dei saperi</i> (pp. 4-22). Tokyo: IIC (イタリア文化会館)	イタリアと日本のテレビコメディ番組を比較し、ユーモアに関する認知メカニズムや言語・文化の違いについて考察した。研究アプローチは異文化コミュニケーション及び語用論に基づいている。
Italiano territoriale e italiano del futuro: Il potere generativo della parola nel cinema di Roberto Benigni, tra play e poesia.	2014. 11	In E. Crisafulli & M. K. Gesuato (cur.), <i>L'Italia dei territori e l'Italia del futuro</i> (pp. 70-81). Tokyo: IIC (イタリア文化会館)	この論文では70年～80年代のテレビ番組の風刺からベニーニ現代の映画にかけて彼のユーモアの技法について語った。又、名古屋芸術大学で講義「異文化入門」におけるベニーニの映画の教育的利用についても語った。
〈研究発表〉			
Sapere pragmatico e costruzione di mondi paralleli. Che senso ha studiare l'italiano in un'università delle arti in Giappone?	2014. 8. 28	XXI Congresso AIPI EST-OVEST / NORD-SUD: FRONTIERE, PASSAGGI, INCONTRI CULTURALI. Università di Bari, 27-30 agosto 2014.	バーリ大学で開かれた AIPI (イタリア語教員国際学会) の第二十一国際大会で「日本の芸術大学でイタリア語を学ぶこととは？」という発表を行った。発表内容：芸術大学の学生はマルチメディア学習を好む。画像を生かした教育によって、語学力だけでなく異文化理解を高めることができる。語用論と語学のコラボレーションについても語った。
Francesco ai confini del mondo 「世界の果てまでフランチェスコ」	2014. 9. 17	Manifestazioni Francescane. Scuola della Carità, San Francesco Grande, Padova.	イタリアのパドヴァのフランシスコ会修道院にて開催される文化交流シンポジウムにおいて日本のフランシスコ会の歴史について発表を行った。
Sapere pragmatico per essere interculturalmente consapevoli.	2014. 11. 16	XIV SETTIMANA DELLA LINGUA ITALIANA NEL MONDO Giornata degli Italianisti (イタリア語研究者の集い), Tokyo, IIC.	東京イタリア文化会館で開かれた「イタリア語研究者の集い」にて、異文化コミュニケーション・アプローチに基づいたイタリア語の教授法について発表を行った。研究データは NUA のイタリア語 I・II・III の授業で収集した。

〈編集者活動〉			
2015年中に出版予定である日本人学習者へのイタリア語・異文化間コミュニケーション教育についての論文集の編集者を務めた。編集長はシエナ外国人大学教授。投稿者：シエナ外国人大学、ローマ大学、慶應義塾大学、早稲田大学、創価大学、ほか。			
Loescher 出版社の「L&L」(外国語教育について一連の研究)の編集委員会メンバーを務めた。			

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 イタリア語 I・II・III		〈特別授業〉 2015年1月28日 名古屋芸術大学 人間発達学部 ヨーロッパ教育セミナーの事前研修においてプレゼンテーション「イタリア語のミニ講座」を行った。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
教材作成、オリジナル テスト問題集作成、など	Keynote 及び Prezi (プレジ) プレゼンテーションソフトウェアに基づいた発表をし、学習者のイタリア語文法の知識やコミュニケーション能力を高まるように授業を行った。	
授業科目名 異文化入門		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
教材作成 (講義録、2014年度版→『愛の三文作～ロベールト・ベニーニ名作の手引き』)、オリジナル ミニレポート カード作成、など。	異文化間ユーモア (intercultural humor) の観点から学生のコミュニケーション能力を高まるように授業を行った。	
授業科目名 舞台言語表現演習 (大学院)		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の演奏曲目に基づいた教材作成	正しいイタリア語発音を身につけ、オペライタリア語を学び、歌詞を解釈し、楽しくたっぷり完璧なイタリア語の発音で歌わせるようにオペラ教室で授業を行った (ピアノ伴奏者4回つき)。ビデオを取り、何回もパフォーマンスを見ながら発音の間違いを指摘し、充実に学んだ。	
授業科目名 外国語研究 伊語 (大学院)		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
共著者教科書『イタリア語発音トレーニング』に基づいた授業を行った。	正しいイタリア語発音を身につけ、イタリア語文法の知識やコミュニケーション能力を高まるように授業を行った。	

3. 学会等および社会における主な活動

Associazione Italiana Studi Giapponesi (伊日研究学会)	2001～	会員
Linguistic Association of West Japan (西日本言語学会)	2002～	会員
International Pragmatics Association (国際語用論会)	2006～	会員
Associazione Internazionale Professori di Italiano (イタリア語教員国際学会)	2014～	会員

教養部会教授 岸野 俊彦

1. 研究活動

(論文) 尾張藩校明倫堂の文庫運営 と他藩士交流	2015. 3. 30	『名古屋芸術大学研究紀 要』第36巻	尾張藩校明倫堂は、天明三年に始まり、藩の御文庫とは別に教育用に独自の文庫を持った。本論文は、幕末維新期の明倫堂文庫の運営実体を明らかにするとともに、明倫堂が他藩士にも見学を許可し、詩会などを行い積極的に交流を計ったことを明らかにした。
(資料紹介) 拾山人名録	2015. 3	『愛知県史研究』第十九 号	旧宝飯郡上之郷村（現蒲郡市）出身の永島「拾山」は、幕末から明治期に活躍した俳人である。岡崎の卓池と、京都住の桜井梅室に俳諧を学び、三河、尾張、東京、京都をはじめ、全国の俳人と交流をした。その実体を示す「拾山人名録」を翻刻紹介したものを。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 歴史学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の基礎学力の現状から、15回の授業を前半と後半に分け、前半を中学日本史問題集。後半を近世名古屋を中心とした身近な歴史の講義をした。前半終了時に中間試験を行い、基礎学力の確認を行った。	前半は、中学生用の日本史問題集。後半は、『新修名古屋市史』『愛知県史』の編纂過程で発見した新しい史料、画像をプリント、プロジェクター等で紹介した。	
授業科目名 文化史		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業の前半を中学の復習と知識の確認を行い、その上で後半に身近な場所である近世名古屋の文化を講義し、地域の文化伝統を深く理解できるようにした。	前半は中学生用の文化史問題集。後半は、『新修名古屋市史』『愛知県史』編纂過程で発見した史料や絵画、画像等をプリントやプロジェクターで紹介した。	

3. 学会等および社会における主な活動

尾張藩社会研究会代表	2000年から継続	月一回の例会、加賀藩、紀州藩等の研究会との合同研究会、『尾張藩社会の総合研究』の編集と刊行
愛知県史専門委員	1989年から継続	『愛知県史』の史料調査、編集、刊行
名古屋市文化財調査委員	継続中	名古屋市の文化財の調査、保護、指定
岩倉市文化財保護委員	継続中	岩倉市の文化財の調査、保護、指定

教養部会教授 佐藤 まさ子

1. 研究活動

開発途上国における市民社会構築の限界とその将来展望について研究中			
----------------------------------	--	--	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 社会学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
●授業理解とその授業内容の整理のための資料作成	●要語の定義・解説、及び授業で紹介する理論の要点の解説。●授業内容について整理した書き込み式補助教材 ●授業内容の要点を図式化したパワーポイントのスライド	
授業科目名 大学生になる		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
演習科目という授業形態上、主体的に授業と関わることに主眼を置き、授業コメントの提出、ミニレポートの作成、及び授業内容に則って作成したワークシートの提出を課す	毎演習時説明する要点についてのパワーポイント、授業理解の補助としての配布資料	
授業科目名 教養講座（社会）		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
◇授業理解のための資料作成 ◇DVDを用いて平和の概念化に具体性を持たせる ◇文章表現力を培うことを目的としてビデオ/DVDを見た後、ミニレポートを作成させる◇授業の要点を図式化し、内容を整理し、理解しやすくするためのスライドの使用	◇授業の理解に必要な要語の解説 ◇書き込み式補助教材 ◇授業内容の要点を図式化したパワーポイントのスライド ◇発展途上国の現情紹介のDVD	

3. 学会等および社会における主な活動

国際政治学会	1998～	
日本国際連合学会	1999～	
日本平和学会	1990～	

British International Studies Association	1998～	
---	-------	--

教養部会准教授 茶谷 薫

1. 研究活動

論文			
電車も個室化？：車内の人々-2	2014. 4	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 128, p. 1190	電車内でのヒトの行動について報告、考察。
広告物品に残された歴史	2014. 4	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 128, p. 1193	岩倉駅に設置されている旧東海銀行のベンチについて報告。
JR春日井駅周辺の時間貸し駐車場	2014. 4	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 128, p. 1195	時間貸し駐車場の料金と場所、周囲の状況の報告と分析。
今月のフェミ的83悪夢。ありえない設定。なのにリアル	2014. 6	インパクション195号 pp. 152-153（インパクト出版会）	科学的にあり得ない設定のフィクション作品が持つ現実性について考察した。
消費税率増直後、近鉄の地下店舗	2014. 8	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 129, p. 1203	消費税率が上がって間もない時に見られた店舗でのヒト行動の混乱について報告。
定点観察備忘録	2014. 8	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 129, p. 1207-1208	名古屋駅関連の定点観察共同報告のうち、名鉄ホーム、ナナちゃん、地下街、について報告（共同執筆者は岡本大三郎、岡本信也、平田哲生、山田稔、中根康高、佐宗圭子、岡本靖子）
北陸新幹線開業直前の金沢	2015. 2	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 130, p. 1211	北陸新幹線開業を控えた金沢市の駅周辺や繁華街の様子を報告、考察。
金沢・近江町市場の人々	2015. 2	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 130, p. 1214	金沢で昔から開かれ、観光地化が進む近江町市場の様子を報告、考察。
生活科・社会科における考現学的手法の活用—絵本『町のけんきゅう』の地域学習副読本利用—	2015. 3	名古屋芸術大学研究紀要第36巻 pp. 135-143	考現学を本格的に紹介した『町のけんきゅう』を社会科や生活科で利用する方法について考察。
算数で躰いたところ—大学生の苦手分野と小中学生時代の問題—（事例報告）	2015. 3	名古屋芸術大学教職センター紀要 第2号 pp. 57-66	教養の自然科学系科目担当をしてきた中で気付いた大学生の小中高時代における算数・数学の問題点を報告、考察。
名古屋芸術大学人間発達学部ゼミナール活動報告—授業改善のために—	2015. 3	名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第4巻 pp. 51-60	本学ゼミナールIとIIを担当した中での活動、問題点等の報告と分析。
口頭発表			
バリアの研究	2014. 8. 24	夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館	様々なバリアについて採集したものを提示し考察した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 生物学		教育実習巡回指導：岐阜県の瑞浪市立瑞浪中学校に赴いた。6/13の3時間目、8時40分～9時30分が研究授業で、合唱曲「そのひとがうたうとき」の指導を参観し、終了後、実習生に対しコメントを行った。また校長先生と長時間懇談した。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
多数の動画・写真を授業中に提示し、動物の感覚について関心を喚起し、理解を深められるようにした。また独自の出席カードを用意した。自由記述欄を広く取り、感想や苦情、質問などを記入できるようにし授業参加を促す工夫である。	※パワーポイント中心の授業進行※黒板における補助的説明 ※穴埋め式プリントで学習量増加 ※多数の動画・写真・図版をPCで映写 ※オリジナルの出席カードほか	
授業科目名 生態学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
多数の動画・図・写真を提示し、生態系における物質の循環や環境問題、持続的環境利用などを理解させた。「生物学」同様のカードで学生の授業参加している気分を高めさせ、カードを通じて教員との交流が多数人講義でもできるようにした。	上記「生物学」と同様。	
授業科目名 人類学		※ゼミナールIIの、夜型に陥ってしまい、朝にきちんと起きられない学生二名に対し、ほぼ毎日モーニングコールをした。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
霊長類や配偶システムに関連する多種多様な動画を用意し、ヒトの進化、霊長類の分類、配偶システムや成長発達パターン、長寿、子育て、社会などの進化を理解し易い様にした。上記「生物学」「生態学」同様のカードも使った。	上記「生物学」「生態学」と同様。	
授業科目名 ゼミナールI、II		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
※作文の添削をメインに据え、文章作成能力の向上をはかった。 ※調理実習や遠足、誕生会等のイベントを行い、将来の活動案・指導案を作成する力を醸成した。 ※目的を見失いがちな学生の「やる気」を喚起する工夫を行った。	※独自の800字作文用紙の作成 ※初心者向けの指導案用紙の作成 ※遠足の指導案例の提示 ※調理実習のレシピ、教育目的の提示等。	

3. 学会等および社会における主な活動

街なかで自然とくらしを楽しむワークショップ	2014. 6. 30、11. 8、12. 20	野原由利子先生主導のワークショップに協力、参加し、参加学生やその親御さんの様子を理解するとともに、市民、学生の社会教育についての理解を深めた。
博物館ロビーコンサート	2014. 12. 21・23、2015. 1. 4	愛知県の東西交流と芸術的視点による博物館の再発見への挑戦の一環で、東條・菅嶋・早川と共同し、豊橋市自然史博物館にて引率学生の協力を得て開催した。

ドン・ルイス氏コンサート、音楽イベント	2015. 2. 11・12・14・19	上記と同じ目的・メンバーで、世界的演奏家にして音楽技術者のドン・ルイス氏の音楽イベントを豊橋市自然史博物館、白木小学校、人間発達学部の春をよぶ芸術フェスティバル、木祖村で行った。
---------------------	----------------------	---

教養部会教授 中河 豊

1. 研究活動

研究発表 社会の寛容性をめぐって	2015. 2. 21	大阪大学 人間科学部東館1階106教室 主催：平成26年度科研費「北欧の住宅・地域ケアに繋がる生活世界アプローチの思想的基盤の解明」(研究代表者：浜渦辰二/大阪大学)	ノルウェーの犯罪学者Nils Christieの思想について、氏へのインタビュー及び著作をもとにして検討を加え発表した。とくに、彼の思想の中核にある寛容性に焦点を当てた。
---------------------	-------------	--	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 倫理学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
社会的事象について義務教育の倫理社会の知識を確認しながら講義した。内容的には、真自由主義的自己責任社会と北欧の福祉社会との比較を行い、社会政策的な問題解決法の差異について考察した。	パワーポイントで資料を作成した。	
授業科目名 哲学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ドイツ及び北欧の哲学の発展について重要な哲学者を取り上げる形で講義した。特に、ドイツロマン主義がデンマークのロマン主義へと展開し、これの思想的成果を基礎に、自然及び人間に関わる現代北欧思想があることを示した。	パワーポイントで資料を作成した。	
授業科目名 教養講座（人文）		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
ドイツにおける哲学的美学の発展をカントの「判断力批判」、ヘーゲルの「美学講義」をもとに講義した。抽象的理論と共に、ヘーゲル美学で議論されている芸術、特に絵画の写真を鑑賞し、理論と作品の考えを考察した。	パワーポイントで資料を作成した。	

3. 学会等および社会における主な活動

人間発達学部

子ども発達学科准教授 安部 孝

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
【学会 研究発表 要旨】			
道徳教育実践の視点3 —「ふさわしさ」への着目—	2014. 8	平成26年度 日本教育学会 第73回大会 於：九州大学箱崎キャンパス	本研究では「ふさわしさ」の意味について『幼稚園教育要領同解説』を基に検討した。その結果、「ふさわしさ」（ふさわしい生活）とは、幼児期の特性になかった、教育や活動、環境、教育活動、そしてそこに見られる幼児の姿であり、幼児期特有の「心性や生活の仕方」にかなうことが分かった。今後「ふさわしさ」を規定する条件・要因（場所・物・人とのかかわりや、様々なかかわりとしての状況、雰囲気）について明らかにする必要があると考えた。 『平成26年度日本教育学会第73回大会発表要旨集録』 pp. 292-293. 単独口頭発表
「基本的な生活習慣」に関する指導についての課題(3) —「しっかり」「ちゃんと」「きちんと」に着目して—	2014. 5	平成26年度 日本保育学会 第67回大会 於：大阪総合保育大学	同研究(2)（平成24年度）の成果と課題を受け、本研究では、学生が「しっかり」「ちゃんと」「きちんと」等の言葉に抱くイメージを手掛かりにして基本的な生活習慣の指導について考察した。その結果、それらには、教師が思い描く子どもの取り組みの姿や願いが込められ、その意味で基本的な生活習慣の指導と評価は、教師の価値観に規定された課題であることが分かった。今後、大人が抱くイメージや価値と指導観の関係性を検討する必要がある。 『一般社団法人日本保育学会第67回大会発表要旨集』 p. 332. 単独口頭発表
【学術論文等】			
「教育実習指導の手掛かりについての考察1—現場教師の助言を生かした指導—」	2015. 3	『名古屋芸術大学研究紀要第36巻』 名古屋芸術大学 (pp. 1-14.)	本研究では、教育実習や教師としての専門性の向上を図るための自己課題設定に有効な指導の手立てについて考察した。その結果、実習指導において、事前・事後に現場教師と実習生が課題を確認し合ったり、共に振り返ったりする機会が有効であり、実習生が園の生活や人間関係、そこに展開している日常の様子に着目し、それらを理解すると共に感じ取ることを大切にするような指導が必要であると考えた。 共著 共著者／安部孝、野倉有香

<p>「幼児教育と小学校教育における道徳教育の問題1—『善悪の判断』の検討をとおして—」 <u>（査読有）</u></p>	<p>2015. 3</p>	<p>『名古屋芸術大学人間発達研究所年報第4巻』 名古屋芸術大学人間発達学部・人間発達研究所</p>	<p>本稿では、「道徳的な価値の自覚」の意味を、幼稚園と小学校の道徳教育における「善悪の判断」から検討し、幼児と児童の道徳性の育成の在り方と関係について考察した。幼小の道徳教育は、本質的には同じものであり、幼児は、多様な関係の中で葛藤や折り合いを体験し、自分の思うところ（感情）に基づいて、次第に善悪を区別する能力を開花させていく。児童は、幼児期からの生活経験をより充実させる一方、善悪をより理論的にとらえるようになり、善悪に対する考察、選択、実践に基づいて、さらに道徳性を培っていくことが分かった。 (pp.※12ページ分) 共著 共著者／安部孝、安部日珠沙</p>
<p>「幼児の道徳性をはぐくむ『かかわり』についての考察」 <u>（査読有）</u></p>	<p>2015. 3</p>	<p>『名古屋芸術大学教職センター紀要第2号』 名古屋芸術大学教職センター (pp. 1-15.)</p>	<p>本稿では幼小の「つながり」に着目して、幼小連携のあり方と責について考察した。その結果、幼小の「つながり」は、後の段階につながるのではなく、既につながっていて変わらない部分の全体的な成長であり、その立ち位置の移動であると考えられた。子どもは、未知の世界（生活）に対して不安を抱くが、それゆえ後の段階の領域（の教師ら）には、子どもの実態を受け入れる為の工夫（許容、雰囲気創出等）が必要となる。そして、その責は幼小両者が担うものであると考えた。 単著</p>
<p>【著書】（参考）</p>			
<p>『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』 「2 幼稚園・保育所実習」 <u>※増刷訂正</u></p>	<p>2015. 3</p>	<p>同文書院</p>	<p>保育者養成における学生が幼稚園や保育所、そして児童福祉施設で実習を行う際の、事前事後指導はもとより、実習においても独習可能なテキストとして執筆・編集されている。特に安部は、幼稚園・保育所についての内容を担当した。幼児教育・保育における今日的課題でもある、特別支援、認定こども園における実習の取り組みも採り上げている。前項(7)を改訂（認定こども園、特別支援等）。 (執筆箇所：pp. 26-27, 6-63.) 共著 編著者／石橋裕子 林幸範 執筆者／石橋裕子、林幸範、神戸洋子、安部孝、堀科、石本真紀、浅倉恵子、梅澤実森田満理子</p>

『自分でつくるBOOK&NOTE—教育・保育実習でよりよい時間を過ごそう』 編著書の執筆・校正等	2015. 9 (刊行予定)	同文書院	本書は、「実習に関する不安や困難を解消すべく、執筆陣が多角的視点でアドバイスを行い、またヒントをあたえることで、いざというときの学生の「お守り」となることを意図する一冊である」。(図書目録2014 同文書院近刊案内 p.13より一部引用) 編著 編著者／安部孝 執筆者／安部孝、石山貴章、神戸洋子、木許隆、草信和世、齋藤千恵子、坂本喜恵子、染川喜久江、原田智鶴
【社会における主な活動等】			
研修会・模擬授業等 講師	2014. 7	於：東海学園高等学校	東海学園高等学校 2年生：保育・幼児教育系進学希望者対象 「保育学初歩～子どもを理解することから～」
	2014. 7	於：桜花学園高等学校	桜花学園高等学校 1年生：保育・幼児教育系進学希望者対象 「保育・保育者について（初歩）～まず、子どもを理解すること～」
	2014. 8	於：岐阜聖徳学園大学	全国大学音楽教育学会 中部地区学会 平成26年度前期研究大会 講演 「教育の移りかわりと子どもの学び～いくつかの子ども姿から～」
	2014. 10	於：愛知県立天白高等学校	愛知県立天白高等学校 1年生：保育系進学希望者対象 「保育・幼児教育 初歩」
	2014. 8	於：名古屋芸術大学	愛知県現任保育士研修運営協議会／愛知県現任保育士養成研修 「乳幼児保育研修」「保護者との連携」「生活と育ちをつなぐこと」
	2015. 2	於：名古屋芸術大学	名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園・愛園会主催 子そだて支援ゼミ・講演会 「大人の中の子どもの心『あるアニメから』」
	2015. 3	於：愛知県立松蔭高等学校	愛知県立松蔭高等学校 1年生：幼児教育系進学希望者対象 「保育・幼児教育初歩～子どもの思いを理解することから～」
	2015. 3	○於：愛知県立熱田高等学校	愛知県立熱田高等学校 1年生：幼児教育系進学希望者対象 「保育・保育者について（初歩）～まず、子どもを理解すること～」

ほか ○名古屋芸術大学 附属クリエ幼稚園長（兼務） ○名古屋自由学院 評議員 ○愛知県現任保育士研修運営協議会 運営委員 ○岐阜聖徳学園大学短期大学部 非常勤講師（保育内容総論） ○一般社団法人 全国保育士養成協議会 保育士試験委員	2014. 4-9 2014. 12	於：名古屋短期大学	（実技試験採点委員）「言葉」
【ほか】			
名古屋芸術大学研究助成費対象研究	平成26年度	テーマ：「幼小の接続のあり方に関する実践的研究—幼稚園教育における、連続性に着目した保育の展開—」 愛子幼稚園（仙台市）、春山幼稚園（埼玉県羽生市）、名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園における実践を手掛かりに考察を行った。その内容の一部を『名古屋芸術大学教職センター紀要第2号』（「幼児の道徳性をはぐくむ『かかわり』についての考察」）に掲載した。	

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無
 3. 学会等および社会における主な活動

子ども発達学科教授 加藤 義信

1. 研究活動

著書			
発達支援と相談援助—子ども虐待・発達障害・ひきこもり	2014. 5	三学出版	発達相談や教育相談に関する諸領域の基礎知識や理論を広範に網羅して作られた大学生用テキスト。 編者：浅野俊和・別府悦子・喜多一憲 本人担当部分：第2章1節「子どもの発達理解のための理論」（pp. 21-31）執筆 子ども理解のための基礎理論として、ピアジェとワロンの発達理論のエッセンスを紹介した。特にワロンの発達論は、今日、発達障害を深く理解するうえで欠かせない理論であることを強調した。
論文			
モダンとポストモダンの視点からみたワロン発達思想の二重の現代性.	2014. 7	心理学, 35(1), 1-10.	単著。 20世紀前半に生み出されたアンリ・ワロンの発達思想は、近代の子どもをめぐる思想の発展を受け継ぐとともに、21世紀の私たちにも示唆的な、ポストモダンの視点を内包する理論であることを論じた。特に、機能連関についてのワロンの独特の考え方は、焦眉の課題となっている発達障害の解明に役立つ視点を提供していることを指摘した。

アンリ・ワロン (Henri Wallon) 年表	2014. 7	心理科学, 35(1), 30-37.	単著。 伝記的資料に乏しいアンリ・ワロンの生涯の本格的な年譜作成を我が国で初めて試みた。特に、ワロンの血縁の人びとへのインタビューから得られた彼の人柄を語る貴重な証言や、ワロン家の墓碑の写真を盛り込むことができ、資料的価値の高い年譜となった。
2～3歳児は自己とモノのビデオ映像をどのように理解しているか？	2014. 9	発達心理学研究, 第25巻, 第3号, 302-312.	著者：加藤弘美・加藤義信・竹内謙彰 ビデオ映像を用いて、マークテストとリーチングテストの達成の発達の関係を調べることによって、自己とモノの映像の性質に関する理解に2～3歳児では違いがあるか否かを検討した。その結果、自己映像を対象とするマークテストに通過できた子どもでも、モノの映像の十分な理解が、とりわけ映像空間内と実空間内でのモノの位置の対応関係の理解が、必ずしも可能となっているわけではないことが示唆された。
学会発表			
シンポジウム：An attempt to computerize a projective approach.	2014. 9	日本心理学会第78回大会 発表論文集, SS-047	本人はシンポジウム指定討論者。 立命館大学の矢藤優子氏によって企画された、描画の自動分析に関するシンポジウムで、加藤はフランス人研究者3名の発表に対するコメンテータの役割を務めた。
幼児は人形にどのようなリアリティを感じているか？ 一人形の種類による5歳児の反応の差異に注目した検討一	2014. 9	日本心理学会第78回大会 発表論文集, p. 1088.	発表者：木村美奈子・加藤義信 幼児は、人型の人形が心的状態を有すると思っているか否かを、知識の保持と知識の他者への伝達に焦点を当てて検討した。その結果、5歳児でも人形に心的状態を付与する傾向が認められた。
21世紀の日本にワロンの発達教育思想をどう生かすか (3)：ワロンの表象発生論・自我形成論と発達教育臨床の課題	2014. 11	日本教育心理学会第56回 総会発表論文集, S60-61.	本人はシンポジウム企画者・話題提供者。 アンリ・ワロンの没後50年を記念して一昨年から始まった連続シンポジウムの第3回目。今回は、ワロンの表象発生論の基本構造を加藤が報告し、教育学者を交えて有益な議論ができた。
幼児は犬型ロボットと犬のぬいぐるみにどのようなリアリティを感じているか	2015. 3	日本発達心理学会第26回 大会論文集, P3-057 (CD-ROM版)	発表者：木村美奈子・加藤義信 犬型の人形（ロボット、ぬいぐるみ）に焦点を当てて、日心78回大会発表と同様の問題を検討した。特にカイロを用いて、幼児は犬が触感覚の心的状態を経験できているか調べ、肯定的な傾向のあることがわかった。
時代性・地域性の視点から発達を再考する	2015. 3	日本発達心理学会第26回 大会論文集, BS2 (CD-ROM版)	本人はシンポジウムの指定等論者。 日本の子どもの心の理論の成立年齢は、欧米諸国の子どもに比べて1年以上遅いという事実をどのように考えるかをめぐって行われた討論に、普遍性にかかるバイアスの観点からコメントした。

他者とかかわる心の起源と発達	2015. 3	日本発達心理学会第26回大会論文集, SS8-2 (CD-ROM版)	本人はシンポジウムの指定等論者。社会性の認知の発生的起源に関する議論の中で、Neisserの5つの自己の区分を発達的な視点から捉え直したとき、5つのうちの2つは「表象を介しない自己」、他の3つは「表象を介する自己」として整理でき、系統発生上の自己の起源問題に新たな光を当てることが可能であると示唆した。
----------------	---------	------------------------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 ■有 □無

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日仏教育学会	1994. 9～現在	理事
東海心理学会	2012. 5～2015. 5	理事、機関誌常任編集委員
荒川磯慈善会	2014. 4～現在	助成先選定委員会委員
神戸大学大学院人間発達環境学研究所	2014. 10～2015. 3	博士論文外部審査委員
金沢認知科学シンポジウム2015	2015. 3. 3	招待講演者
愛知国文の会	2014. 11. 19	招待講演者
愛知県立大学公開講座「県大アゲイン」	2014. 7. 13	講義担当者

子ども発達学科准教授 鎌倉 博

1. 研究活動

子どもの自然な発達を受け止め育てる幼小の接続を求めて	2014. 8. 7	日本生活教育連盟保育と教育分科会提出レポート	幼稚園と小学校が一体となったキャンパスが完成。その初代の小学校長兼任幼稚園長を務める中で幼小の壁をいかにして取り払ってきたか、その壁とは何だったかを報告しながら、「幼小の接続」のあり方の課題と新たな可能性についてまとめた。このまとめは、現在授業担当している「保育内容（環境）」で活用されている。
高学年の学級集団で分数の学びをつくるには	2014. 11. 15	第1回和光幼稚園・和光小学校合同研究会発表要項pp. 85-107	算数への苦手意識が多い学習単元の1つ「分数」。これをどう楽しく分かりできるようにしていくかと苦心し、目の前の子どもたちの身の丈に合った学習方法を工夫する。それを個別学習にせず、みんなで分かり合うようにしていくことで、学級集団の関係も高めていこうとした。その一連の授業実践をまとめ、報告し、討議の題材とした。
学級通信「陽向ほっこ」	2014. 4. 8 ～2015. 3. 20	1号から85号	小学校5年生を担当して1年間授業・学級づくりしてきていた実際の活動の様子を綴る。子どもや親を励ますことを信条としてまとめてきているが、自分にとっては貴重な実践記録でもある。
学習プリント	2014. 4. 8 ～2015. 3. 20	算数・社会・総合学習	教科書は教材研究の参考とし、子どもの実態と広く全国の先進的な実践を取り込んで、毎時間の授業プリントを手作りしてきた。それを毎年ファイルして、自分の実践の財産にしている。昨年度も新たな授業プリントを作成した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等		g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目名		<p>●小学校5年生を担当し、理科・音楽・図工を除く全ての教科の授業、ならびに学級経営、学年主任としての学年経営に当たるとともに、前小学校長・前幼稚園長として、後任の新校長・新園長が親に不安を与えることなく円滑に体制移行して学校経営にも当たれるように支援してきた。</p> <p>●本学での授業担当に関わっては①若手教師から授業づくり相談ならびに手作り教材や資料等の貸出要請に応じて、生活科の授業づくりとその授業展開の工夫について支援してきた。過去の自分自身の生活科の授業づくりの経験とともに、こうした若い教師への生活科の授業づくり支援活動が、本学の授業担当である「生活」「生活科指導法」の授業の講義題材となっている。</p> <p>②保育に関わっては、幼小の接続がさらに進むよう、研究推進委員の1人として「合同公開研究会」開催の実現に努めた。本公開研究会は、「幼小それぞれの子どもの数量認識における発達のとらええの関わり・授業づくりのあり方研究」を目指した。幼小の教員が一堂に集まって、子どもたちの数量認識における生活実態を出し合い、幼児期にはどのような関わり、小学校ではそうした幼児が戸惑わずに楽しく算数の学習を進めていくにはどうしたらいいのか、議論を深めていく土台が築かれた。この研究成果は、本学における「保育内容（環境）」における「数量に対する関心を豊かにする」講義での実践的題材となっている。</p>
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	

3. 学会等および社会における主な活動

日本生活教育連盟	本年も継続	3年前から当連盟の夏季全国研究集会「保育と教育分科会」の世話人を担当し、報告者の組織・分科会討議の司会ならびにコメンテーターを務めている。その他にも、同連盟が毎月行う埼玉サークル・東京サークルにこの3月まで参加。4月からは愛知サークルに参加している。これまでは自分自身の実践を報告し討議してもらうこともあったが、近年はコメンテーターを務めていることが多い。
東京教育研究集会	本年も継続	11月に行われる研究集会の国語教育分科会の共同研究者を昨年度依頼された。若手からベテランまでの国語教育における教材分析や授業づくり分析でコメンテーターを務めている。
東京民研国語部会	本年も継続	毎月1回開催されている研究部会。1昨年にコメンテーターを依頼されて参加し、転居するまで（本年3月）参加し、毎回の授業報告や教材分析について一緒に討議に参加し、必要なコメントをしてきた。

民主教育研究所教育課程研究委員会	本年も継続	10年来本委員会委員を委嘱されていたが、本年3月に転居し、実質参加が難しくなったために今年度からはオブザーバーになった。日本ならびに世界の教育動向を分析するとともに、子ども・地域の生活や学習の実態を踏まえて、21世紀を担うふさわしく子ども・青年が育っていくための学習活動や教育課程像を求めて提案もし、論議を深めてきている。
------------------	-------	---

子ども発達学科准教授 久保 博満

1. 研究活動

日本国語教育学会編 月刊国語教育研究 2014、4月 No. 504 国語教育展望	2014. 4. 10	発行 日本国語教育学会 製作 東洋館出版社	主題「単元を意識した『国語科指導法』の展開」—略案作成を生かした細案作成の指導を通して 学習指導案作成に当たり、①略案作成 ②模擬授業 ③授業検討 ④細案作成の段階を踏むことでスムーズな指導が可能になる。また、常に「単元」の意識を持たせることで、ねらいの明らかな指導過程が考えられる。
第64回中日書道展	2014. 6. 11 ～6. 15	愛知県美術館ギャラリー	篆刻作品「契矩之道」
第31回読売書法展	2014. 9. 17 ～9. 20	愛知県産業労働センター	篆刻作品「忠恕 人能弘道」
第12回東瀛印社篆刻展	2014. 10. 29 ～11. 3	日中友好会館 美術館	篆刻作品「契矩之道」 図録（東瀛印社）
第33回可児市美術展	2014. 11. 12 ～11. 16	可児市文化創造センター	篆刻作品「忠恕 人能弘道」
第36回日本書道学院展	2013. 12. 13 ～12. 20	東京都美術館	篆刻作品「慎終于始」
第4回中部東瀛印社篆刻展	2015. 1. 27 ～2. 1	愛知芸術文化センター アートスペース	篆刻作品「契矩之道」
第77回謙慎書道会展	2015. 3. 20 ～3. 28	東京都美術館	篆刻作品「博學篤志」
第52回謙慎書道会中部展	2015. 3. 31 ～4. 5	愛知県美術館ギャラリー	篆刻作品「博學篤志」

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名	2014. 8. 21 教員免許状更新講習 講師
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要

3. 学会等および社会における主な活動

日本国語教育学会	1985～	会員
名古屋国語の会（倉澤の会）	1979～	会員
謙慎書道会	1989～	評議員

中部日本書道会	1989～	正会員
---------	-------	-----

子ども発達学科准教授 鈴木 岩雄

1. 研究活動

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 家庭支援論		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、考えるべき課題欄を設けたレジメを配布し、自分の思い、考え、なすべきことを、書かせ、発表させることによって、理解を深め、書く力をつけることに努めた。	シラバスに沿って、現代の家庭の実態や家庭に対する支援のあり方、具体的支援方法等について、毎回、レジメを作成し、その中に各テーマに沿った考えるべき課題を設けた。	
授業科目名 保育者論		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、考えるべき課題欄を設けたレジメを配布し、自分の思い、考え、なすべきことを、書かせ、発表させることによって、理解を深め、書く力をつけることに努めた。	シラバスに沿って、保育者の役割、業務、責任、専門性、倫理などについて、毎回、レジメを作成し、その中に各テーマに沿った考えるべき課題を設けた。	
授業科目名 保育実習指導		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「保育所実習指導」の充実、強化のため、講義による指導に加え、保育技術についてのグループ活動、先輩学生による体験談、DVD視聴に基づく観察記録の演習等を導入した。	保育所実習の意義、目的、留意点、指導案・経過記録の書き方等を網羅した「保育所実習の手引き」を作成した。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本保育学会	2014. 4. 1～2015. 3. 31	5. 17～18 第67回学会出席
--------	------------------------	-------------------

子ども発達学科教授 豊田 和子

1. 研究活動

(著書)			
『教育方法学研究ハンドブック』（共著）	2014. 10	日本教育方法学会編、日本図書刊行	第Ⅲ部教育方法学研究の歴史と展望、第11章幼児教育研究を担当した。本章では、戦後のわが国の幼児教育の発展の基盤となった理論を、1期：戦後～1970年代、2期：1980～1990年代、3期：2000年～今日までの3期にわけてその特徴を整理し、今後の幼児教育方法学研究の展望を示した。（秋田喜代美・深澤広明・吉田成章・豊田ひさき・藤原幸男・小川博久・豊田和子他89名） 全444ページ中、pp. 206～211を執筆

(論文)			
フレーベル受容期における幼稚園教師養成課程の構築に関する研究—19世紀後半のドイツ・フレーベル連合を中心に— (単著・査読付)	2015. 1	日本産業教育学会編『産業教育学研究』第45巻1号	19世紀後半期のドイツのフレーベル運動の推進翼であったドイツ・フレーベル連合の傘下で構築された幼稚園教師養成課程の変遷過程を明らかにした。ドイツ各地で自主的に開発された養成課程の事例を採りながら、その養成期間・科目内容・水準等を具体的な資料に基づいて検討した。結果、この時代の養成課程構築の過程で、養成年数やの内容・水準は幼児教育分野の専門職の養成を志向するもので、行政主導ではなく運営主体の運動の中で養成教育の質確保を実現した点で史的意義を持つことを示唆した。pp. 13～21
福岡県における戦後保育構築に関する実証的研究(3) (共著・査読無)	2015. 2	愛知県立大学教育福祉学部論集 第63号	「福岡県にける占領期の保育—保育先進県における戦後保育構築に関する実証的研究」(平成23～25年度、科学研究費基盤研究(C)23531075)による一連の研究で、今回は聴き取り調査と資料を入手できた17幼稚園の保育の実際を分析し、戦後初期の段階で福岡県の幼児教育がどのように構築されていったのかを明らかにした。 (清原みさ子・寺部直子・ <u>豊田和子</u> ・榊原菜々枝) 全13ページ中、pp. 3-5を執筆

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 保育内容総論	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
演習科目となったので、学生の主体的な解決と発表を促すアクティブラーニングを取り入れた。教科書の予習ノートづくりを薦め、授業中のグループは毎時間メンバーを交替するなど、なれ合いにならないよう配慮した。また、グループごとの発表では、模造紙にイラストや要点をまとめるなどの工夫を要求し、保育者養成教育としてのプレゼンテーション力のアップを図った。(前任校の授業)	豊田和子編著『実践を創造する保育内容総論』(みらい)
授業科目 教育の方法	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
講義ではあるが、学生に主体的学びを促すために、毎授業で、教員作成のワークシートを用意して、講義による説明の後、学生にワーク記入させるように進めていった。すべての学生のシートに赤ペンを付して返却することで、学生にとっては自己の学びの履歴を自己が読み取れ、新たな課題発見に繋がるようになった。(前任校の授業)	豊田和子編著『実践を創造する■幼児教育の方法』(みらい)

授業科目名 幼児教育学特論（大学院）	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
平成26年度大学間共同教育推進事業（文科省）の一環として、愛知教育大学大学院の「幼児教育学特論」との共同授業を行った。愛知教育大学院生と共に愛知教育大学附属幼稚園の保育観察を行い、それぞれの気づきや思考を相互に発表し合うことで、大学間を越えた共同学習の成果が見られた。（前任校の授業）	

3. 学会等および社会における主な活動

(学会発表)		
日本保育学会 第76回大会 研究発表	2014. 5. 17 大阪総合保育大学にて	「異動による保育職場のストレスに関する研究(2)」(加藤信子と共同研究発表)
日本教育学会 第72回大会 研究発表	2014. 8. 24 九州大学にて	「戦後保育の構築に関する実証的研究(3)」(清原みさ子・寺部直子と共同研究発表)
日本乳幼児教育学会 第24回大会 研究発表	2014. 11. 29 広島大学にて	「野村芳兵衛の自然あそびにおける保育方法に関する研究(1)」(村上綾と共同研究発表)
(学会誌査読等)		
日本乳幼児教育学会誌「乳幼児教育学研究」第22号	平成26年度	編集協力委員
日本保育学会誌「保育学研究」第52巻	平成26年度	論文査読委員
全国保育士養成協議会編「保育士養成研究」第32号	平成26年度	論文査読委員
(社会活動)		
三重県いなべ市保育所研修会 講師	2014. 6. 20	演題「市の保課程から実践へ」
豊田市主任保育師研修会 講師	2014. 8. 20	演題「主任としての指導力を図る」
半田市中堅保育士研修会 講師	2014. 9. 5	演題「これからの保育を考える一事例を通して教育的視点から」
豊明市子ども・子育て会議	2014. 10～2015. 3	子ども・子育て会議委員（会長）
愛知県現任保育士研修会講師	2014. 8. 26	研修テーマ「保育所の自己評価」

子ども発達学科教授 中嶋 理香

1. 研究活動

<p>学会発表 ダウン症児の離乳に関するアンケート調査—21名を対象に—</p>	<p>2014. 6</p>	<p>第40回日本コミュニケーション障害学会 金沢大学</p>	<p>ダウン症児の発達経過のうち、運動発達・知的発達・言語発達は研究され、多くの報告がなされている。一方、離乳や食べる機能の発達経過についての資料は少ない。本研究は、学童期に至っても解決していない食べる機能の発達のごく初期、いわゆる離乳がどのように行われているのかについての調査研究である。結果：離乳開始時期は定型発達と同じ時期に開始されるが、その後、児の身体的な状況や食べる状況を見ながら、自らの子育て経験を手掛かりに進めている。専門家からのアドバイスを受けたいと考えながらも、相談する機関が分からないという悩みを持っていることが分かった。</p>
--	----------------	---------------------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

<p>授業科目名 言語発達学</p>		<p>メンター制度の導入：1年次教育の一環としてメンター制度を導入した。2年生をメンターとした。これにより1年生は入学後の不安を乗り越えることができ、また、次年度の自らの姿をイメージすることができた。2年生は、理想とする学生像を演じようとするが、現実の自己を確認する機会となった。具体的には学業知識及び自己に対する不安さを再確認する機会となった。</p>
<p>◆前期 <input type="checkbox"/>後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>学生の幼児期の写真等を用いて、自らの子ども時代と言語発達の経過を照合させ、イメージしやすいように工夫した。自分の子ども時代を振り返り、その時々エピソードを記述させ、保護者ともそのエピソードについて尋ねさせて、写真の横に記録するようにした。</p>		
<p>授業科目名 言語発達障害学</p>		
<p>◆前期 <input type="checkbox"/>後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>言語発達障害の子どもの実情を、視覚映像を用いてわかりやすく解説した。市販の映像よりわかりやすいとの評価を得た。</p>		
<p>授業科目名 言語発達障害学演習</p>		
<p><input type="checkbox"/>前期 <input type="checkbox"/>後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>検査学の演習である。実際に検査に触れながら手技を獲得することが目的である。学生に必要な検査を実演を交えながら行った。さらに学生同士が実施している様子を録画し、自らの姿を客観的に評価することを行った。これにより、自らの検査を実施するときの声の大きさ、仕草が患者にどのように映るのかを確認することができた。</p>		

3. 学会等および社会における主な活動

社会活動 兵庫県立播磨特別支援学校	2007～2014	外部専門家（言語聴覚士）として、生徒の評価と支援法への助言
社会活動 明石市教育研究所	2008～2014	保育園・幼稚園の教員を対象に言語発達・認知発達の学習講演会の講師

子ども発達学科教授 古川 美枝子

1. 研究活動

療育保育における音楽活動	2014. 5	「日本保育学会」第67回大会 大阪総合保育大学・大阪城南女子短期大学	療育保育を実施している施設で行っている音楽活動について述べた。保育士と共に行なう音楽活動実践の内容・方法及び結果について考察した。
子ども神楽・子ども歌舞伎	継続中		子ども神楽・子ども歌舞伎は地域の神社の祭礼の中で上演されることが多い。次世代育成の方針がある中で、日本の伝統文化の神楽・歌舞伎がどのように子どもたちに伝承されていくのかを考察する。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 ピアノ実習 I		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「ピアノ実習 I」の授業において、大学に入学して始めて学習する学生の教材を用意する。特に左手の和音や分散和音での指使いの定着が、右手をスムーズに使うために必要と考えられる。また、子どもの歌を指使いの段階練習にする。そのための学習教材を作成し指導した。	主要三和音（C: G: F:）の音構成と指使い一覧表の作成。子どもの歌（例ちょうちょう）の楽曲を片手・両手ユニゾン・和音伴奏・分散和音伴奏と段階的に楽譜教材を5曲作成した	
授業科目名 音楽		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「音楽」の授業において、音楽理論の授業内容の中で、学習した内容を表現する方法とした。①リズムと拍子②調性③総合的な領域で行った。	①リズムと拍子においては身体表現（ボディーパーカッション）に結びつける資料を作成した。②調性においては転調によって表現する資料を作成した。③総合では旋律と和音の楽譜を書き、オルゴールの台紙を作り表現する資料を作成した。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本保育学会	現在	
日本音楽療法学会会員	現在	2014年度全国大会の実行委員
北名古屋市立母子通園施設ひまわり園（療育保育）	2014. 4～2015. 3	ひまわり園で療育保育の一環として「音楽療育プログラム」を保育士と共に実施した。母子療育では、年間12回、子ども単独療育では年間2回行った。

春日井市子育て支援講座講師	2015. 2. 12	春日井市が実施する子育て支援事業で開催した講座で、未就園児の親子を対象に、「親子のリズム遊び」をテーマにした実践活動を行い、子育ての楽しみ方を紹介した。
---------------	-------------	--

子ども発達学科教授 星野 英五

1. 研究活動

学生音楽意識 —幼少時代の音楽嗜好から—	2014. 5. 18	「日本保育学会」第67回大会（於：大阪総合保育大学）	幼児期と学童期の発達の連続性を考慮に入れた子どもの音楽活動ができる学生を養成することは重要である。本学部は保育士資格、幼稚園・小学校教諭免許を同時取得する現状が多い。特に小学校低学年は幼保の表現活動の関連を考慮することが言われている。学生自身の幼少時代の音楽嗜好が、現在の学生の音楽意識にどの程度影響しているのであろうか。本研究は、幼保時代の音楽活動の思い出が『非常に好き』であった学生45名（A群）と『どちらかといえば好き』『嫌い』『非常に嫌い』と答えた学生59名（B群）に分け、音楽活動の意識にどう影響するのを探り、保育者（幼保）と教育者（小学校）の音楽活動をどのように捉えているかを比較検討し今後の音楽授業展開を考えていくものである。 p. 956
幼保小の連携に即した授業の考察Ⅲ—小学校音楽科教育をみすえて—	2015年3月発行	名古屋芸術大学研究紀要第36巻	人間発達学部学生は保育士資格、幼稚園・小学校教諭免許を同時取得する現状が多い。特に小学校低学年は幼稚園・保育所の表現活動の関連を考慮することが言われている。本学学生は保育・教育実習を経験することで子どもの発達の連続性の理論を肌で感じ、表現活動の大切さを知る。しかし、音楽関連授業への積極性へは結びつかない。学生自身の幼少時代の音楽嗜好が、現在の音楽意識に影響しているのではなかろうか。 本研究は、幼稚園・保育所時代の音楽活動の思い出が『非常に好き』であった学生45名と『どちらかといえば好き』『嫌い』『非常に嫌い』と答えた学生59名に分け、音楽活動の意識にどう影響するのを探り、保育者（幼稚園・保育所）と教育者（小学校）の音楽活動をどのように捉えているかを比較検討し今後の音楽授業展開を考えていくものである。本稿は、日本保育学会第67回大会発表論文集「学生音楽意識—幼少時代の音楽嗜好から—」を転載・改稿しさらに対象年齢を広げ内容と考察を深めたものである。
「春を呼ぶ文化芸術フェスティバル」教員演奏	2015. 2. 14	名古屋芸術大学東キャンパス3号館音楽ホール	リスト作曲「リゴレットパラフレーズ」を演奏。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 音楽環境デザイン		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
チームティーチングを組み美術教員に自作絵本の作成指導をお願いし、その読み聞かせ時に使用する効果音やバックミュージックをコンピュータ音楽ソフトProtools及びEXTRAM・FXを活用し、作詞作曲を学生自身の感性に任せて制作させた。		
授業科目名 音楽科指導法		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「春を呼ぶ芸術フェスティバル」で源田俊一郎編曲・「混声合唱のための唱歌メドレーふるさとの四季より故郷」及び、菅野よう子作曲「花は咲く」を履修学生に合唱を経験させ、小学校音楽科指導の実践指導への経験とさせた。		

3. 学会等および社会における主な活動

全国大学音楽教育学会	2002～現在に至る	会員
日本保育学会	1998～現在に至る	会員
日本音楽教育学会	2009～現在に至る	会員
全国保育士養成協議会	2008～現在に至る	中部ブロック会計監査

子ども発達学科准教授 松實 輝彦

1. 研究活動

著書 『広告写真のモダニズム 写真家・中山岩太と一九三〇年代』（単著）	2015. 2. 20 発行	青弓社 [写真叢書]	モダニズムと近代特有のメディアである広告が出会った1930年代、写真家・中山岩太の広告写真「福助足袋」は商業美術界や写真界に衝撃を与えて、広告文化に深く影響を及ぼした。新興写真の牽引者とも称される中山岩太の活動の軌跡を詳細に追うとともに、広告写真をめぐる動向や社会状況を重ね合わせ、80点を超える写真図版を添えて、モダニズム期の日本の知られざる写真史を描きだした。四六判、上製、404ページ。
論文 「嶋本昭三の芸術教育活動 I—指導書『じぶんも知らないじぶんの絵』をめぐる一—」（単著）	2015. 3. 30 発行	名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第4巻 (17～27頁)	嶋本昭三は、前衛芸術家として世界的にもユニークな活動をした表現者であった。また、長年にわたり大学等の教育機関で、教育者として後進の指導にあたった。本論では、嶋本の多面的な活動から教育者としての側面に焦点を合わせ、その教育活動の検討を主眼とした。とくに彼の著作である美術指導書に注目し、そのテキストを詳細に読解した。

発表 「モダン日本の広告写真を概観する——杉浦非水・淵上白陽・中山岩太」(単独)	2014. 8. 22 発表	サントリー文化財団研究助成プロジェクト 第1回国際シンポジウム「東アジアにおける大衆的画像の視覚文化論」 会場：同志社大学今出川校地 良心館	シンポジウムの趣旨に基づき、東アジアにおける近代日本の広告写真の成り立ちを、明治期の杉浦非水、大正期の淵上白陽、そして昭和初期の中山岩太という3名のデザイナー・写真家に焦点を当てることで、考察を試みた。
発表 「話す写真家たち——戦前期のラジオテキスト『写真講座』の画像をめぐって」(単独)	2015. 3. 14 発表	大正イマジュリイ学会第12回全国大会 会場：京都精華大学 黎明館	ラジオはモダニズム期の日本において新しいメディアであった。戦前期の「写真講座」のラジオテキストを基に、写真家たちが聴取者に何を伝えたのか、テキストに残された文言や画像から明らかにした。
審査 「2014県展」写真部門	2014. 7. 23 審査	兵庫県立美術館・王子分館	公募による「2014県展」の写真部門に出品された作品を、赤崎みま氏、福永一夫氏とともに審査にあたった。
記事「広告写真は時代を映し出す投影装置である——『広告写真のモダニズム 写真家・中山岩太と一九三〇年代』を書いて」(単著)	2015. 3. 11 掲載	青弓社ウェブサイト「原稿の余白に」	出版社からの依頼により、自著には収録されなかったいくつかのエピソードを執筆して、ウェブサイトに掲載した。
記事「『広告写真のモダニズム』は古書とともに」(単著)	2015. 3. 25 掲載	「日本の古本屋」メールマガジン第178号	ウェブサイト編集部からの依頼により、自著と古書とのかかわりをテーマに執筆して、ウェブサイトに掲載した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

3. 学会等および社会における主な活動

日本写真芸術学会	1998～	
大学美術教育学会	1999～	
大正イマジュリイ学会	2005～	
日本美術教育学会	2009～	
日本保育学会	2012～	

子ども発達学科准教授 南 元子

1. 研究活動

近代日本の幼児教育における劇活動の意義と変遷	2014. 9. 10	あるむ出版	我国の幼児教育における児童劇・劇あそびの変遷とその意義について歴史的に考察した。特に「子どもが演じる劇」に焦点を当て、幼稚園や保育所で教育活動として行われる学芸会や劇あそびについて、その本質は何かについて論じた。
愛知県保育研究集会発表	2015. 3	額田郡幸田町立保育士研究会	幸田町立保育所実践保育研究「お散歩保育と実践カリキュラム」(2)
保育者養成校の学生にとって幼稚園行事に参加することの意義—ハロウィンの行事に参加して—	2015. 3. 31	平成26年度名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園研究紀要『保育のまなざし』第2号特別寄稿（依頼）論文	名古屋芸術大学人間発達学部の幼稚園教育実習に関するカリキュラム変更と、2013年度から附属クリエ幼稚園での教育実習意義について考察した。事前事後指導の在り方、附属幼稚園の先生方との連携のありかた、学生と園との交流の今後の課題について検討した。

保育者養成校における附属幼稚園での基礎的実習の取り組み	2014. 5. 17	第67回日本保育学会ポスター発表	平成25年度よりはじめた、附属クリエ幼稚園での基礎実習の在り方について考察した
-----------------------------	-------------	------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 保育内容の研究「表現」		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
前半は幼稚園教育要領を基にした学習を行い、後半の7回において、実践的な指導案の作成と、即興的な劇遊びの展開をグループワークで体験的に学習した。後期の授業では、附属幼稚園のハロウィンの行事に学生も仮装を施して参加した。	幼稚園教育要領 実際の保育参加と指導案づくり	
授業科目名 文化創造論		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
絵本「かいじゅうたちのいるところ」を精読し、絵本の仕組みについて理解し、また西欧と日本との育児文化の比較について学んだ。また附属幼稚園の子どもたちと、クリスマスリースをつくる活動を行った。	絵本『かいじゅうたちのいるところ』『The Wild Things Are』	
授業科目名 幼稚園教育実習（基礎実習・応用実習）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業内容により全体指導を行ったり、少人数指導体制をとるなど、複数教員の利点を生かした展開をした。実習の直前には音楽実技の外部講師をお招きし、一年の総括としては、市の保育行政に携わっている本学卒業生を招聘した。		
授業科目名 表現活動特論・特演（大学院）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
一つずつのテキストを精読し、それぞれの読みを深めていく。また授業の最後には、まとめとして教育学を専門とする教員をゲストにお招きして理解を深めていった。	一つのテキストを、原書、日本語翻訳本、映画化されたDVDを用意し、比較する。	

3. 学会等および社会における主な活動

全国保育士養成協議会保育士試験委員実技試験採点委員「言語」 (児童福祉法第18条の11第1項に基づく保育士試験実技試験)	2004. 9～現在に至る	児童福祉法第18条の11第4項に基づく保育士試験実技試験
---	---------------	------------------------------

全国保育士養成協議会保育士試験委員	2010. 9～現在に至る	実技試験採点委員「言語」愛知県幹事（保育士試験の標準化を図るための調整会委員）
幸田町立保育所実践保育研究会	2013～2018. 3まで予定	愛知県保育研究会発表のためのプロジェクトチーム
岩倉市生涯学習講座	2013. 10. 11 4回講座	名古屋芸術大学連携「子育て親育ち」講座パート2
愛知県現任保育士研修	2014. 8	乳児保育専門研修
名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園愛園会「子育てゼミ」講師	2014. 11. 26	附属幼稚園の保護者に向けて、幼児期と絵本についての研修を行った。

子ども発達学科准教授 吉村 美由紀

1. 研究活動

『保育所実習指導に関する研究—実習教育のあり方の検討—』	2014	名古屋芸術大学人間発達学部 年報（H26）	（概要） 本学の保育所実習および実習教育の質的向上を目的に、2013年度の保育所実習Ⅰを終えた2年次実習生にアンケート調査を実施し、実習に関する課題、指導のあり方等を検討した。実習生の課題として、保育者の基本的視点や意識すべき観点を捉えなおす必要性、子どもとの関わりの実践経験の積み上げの必要性等が示唆された。執筆者：吉村美由紀、鈴木岩雄、森田裕之、渡邊美和子
『児童養護施設における暴力に関する調査研究—背景要因の構造分析と考察—』	2014. 5	日本保育学会（第67回）於大阪総合保育大学・大阪城南女子短期大学	（概要） 全国の児童養護施設における子ども間や、子どもと職員間で生じている多様な暴力に関する実態と背景、その後の対応過程を把握し、暴力事例の構造分析を試みるため、児童養護施設12か所を対象に担当職員にインタビュー調査を行った。施設における暴力等について背景、構造パターンの解明、援助のあり方を検討した。筆頭発表者：吉村美由紀、共同：吉村讓
『保育者養成校における付属幼稚園での基礎的実習の取り組み』	2014. 5	日本保育学会（第67回）於大阪総合保育大学・大阪城南女子短期大学	（概要） 保育者養成校において、大学付属幼稚園での基礎的実習を行い、実習生の抱える多様な課題の解決に向けて取り組みを行った。本研究ではその実践内容と結果をまとめ、今後の課題を検討した。筆頭発表者：南元子、共同：吉村美由紀
『子どもと福祉 第7号』	2014. 6	明石書店	（概要） 『子どもと福祉』（研究誌）の第7号の特集として「児童相談所と児童養護施設との連携」や「児童記録の読み方・書き方・使い方」について実践事例レポートの執筆依頼等、他に全体のとりまとめ、編集を行った。共同編集者：堀場純矢、吉村美由紀、大森信也、佐藤隆司、二宮直樹、山野良一他

『ファミリーホームの養育に関する調査研究—子どもとの豊かな関係・生活づくりに向けた課題の検討』	2014. 6	明石書店	(概要)『子どもと福祉』(研究誌)の第7号の研究報告として、ファミリーホームの養育に関する調査研究(アンケート調査)をまとめた。ファミリーホームの実施体制や暴力など養育困難な状況、養育者が今後望むことなど、現状と課題を考察・検討した。
『児童養護施設における職員から子どもへの暴力の生じる背景と過程』	2015. 3	名古屋芸術大学紀要第36号	(概要)児童養護施設における暴力問題について、職員から子どもへの暴力が生じる背景に視点を置き、全国の児童養護施設にアンケート調査を行った。調査結果から暴力が起きた個々の状況をとらえ、起きる前の職員の感情、心の動きや揺れ、対応のプロセス、その帰結として生じた暴力行為について複数の事例を比較しながら分析を試みた。暴力等が生じる前に行うべき未然に防ぐために必要なことを考察した。
特定非営利活動法人こどもサポートネットあいち「大学生・施設職員の養成講座」講師「児童養護施設のケーススタディと事例」	2014. 9	「大学生・施設職員・里親・ファミリーホームの職員対象の養成講座」、主催団体NPO法人こどもサポートネットあいち日本福祉大学名古屋キャンパス	(概要)児童福祉施設での就職を目指す大学生や児童養護施設等で働く職員に向けた養成講座において、現場で役立つ知識や技術習得のための講義を行う。
日本福祉大学ソーシャルワーク演習ゲスト講師	2014. 12	日本福祉大学ソーシャルワーク演習	(概要)ソーシャルワーク演習の「児童虐待」に関する内容の講義を行う。映像資料をもとに、児童相談所の虐待対応の初期対応情報整理やアセスメント、初期調査、介入、機関連携など、初期の緊急的判断の具体的演習をグループワーク形式で行った。
『子どもと福祉第7号』(書評)わたしの書棚「自著を語る」	2015. 3	あいち保育研究所 研究紀要 第6号	(概要)『子どもと福祉第7号』について読みどころを紹介した。特に特集の「児童相談所と児童養護施設の連携」に関する内容を中心に紹介した。
『児童養護施設の小規模化にあたって—職員調査 インタビューの概要—』	2015. 3	NPO法人 こどもサポートネットあいち「平成26年度虐待イニシエーション手記集と社会的養護自立相談事業報告書」	(概要)NPO法人こどもサポートネットあいちが行った児童養護施設の職員に行ったインタビューの報告をまとめた。「児童養護施設の小規模化にあたって」のテーマに添いながら、施設全体でどのように小規模化に取り組んだか、小規模化の現状と課題についてインタビューを行いまとめた。

2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目名 相談援助		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
相談援助の場面を具体的にイメージできるように、場面設定、役割設定を行い、架空の相談事例を用いてロールプレイ(役割演技)を行う演習を取り入れた。	子育てで不安を抱える保護者の悩みや困りごとについてのケーススタディ事例の教材を作成した。	

授業科目名 保育相談支援	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
保育現場で行う保護者支援として、個別面談、保護者懇談会をシュミレーションする演習、特別な支援を要する家庭（障がい児の子育て、虐待等が心配される家庭）への親支援の事例検討の演習を取り入れた。	個別面談、保護者懇談会の場面設定の資料作成、特別な支援を要する家庭に関するケーススタディ事例の教材を作成した。
授業科目名 生活と福祉	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
生命の誕生、命の尊さについて多様な視点から考察できるよう、医療現場・福祉現場のテーマを題材としてグループワークによるディスカッションの演習を取り入れた。	医療現場・福祉現場における命の誕生や子育てに関する社会問題などをテーマとした映像資料の理解を深めるため、補助資料を作成し、グループワークの導入に活用した。

3. 学会等および社会における主な活動

全国の社会的養護等当事者を支える③	2014. 4～9	（概要）全国の社会的養護当事者を中心とした団体のイベント準備を務める。
全国児童養護問題研究会愛知大会実行委員会	2014. 4～	（概要）第43回愛知大会準備・シンポジウム、講座、分科会に関する機関誌「そだちあう仲間」の編集を行った。
全国児童養護問題研究会編集委員	2014. 4～	（概要）「子どもと福祉 第7号」研究誌の編集を行った。
愛西市子ども・子育て会議会長	2014. 4～2015. 3	（概要）愛西市の子ども・子育て会議（地域会議）において会議の議事進行を務める。

教養部会教授 安藤 淑江

1. 研究活動

〈論文〉			
小学校国語科教材「一つの花」を読む—父の教えと一つの花—	2014. 3	名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第3号	小学校四年生の国語の定番教材ともいえる今西祐行作「一つの花」の教材研究を行った。本作品は、戦時下に育つ幼いゆみ子の「一つだけちょうだい」という口癖をめぐる親の思いと、出征する父が別れに渡した一輪のコスモス＝「一つだけの花」を中心とした物語である。本稿は、この作品の読解を通して、幼女の欲求を満たすための言葉であった「一つだけ」が、コスモスを手渡す父親によって唯一のものの貴重さを伝える言葉へと転換され新たな価値が付与されていることを示し、「一つだけ」のものを大事にすることで得られる充実を伝えた父親の教えがこの作品の主題であることを明らかにした。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 文学	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>文学の授業においては、内容に対する教員のフレッシュな関心も授業の価値の一部だと考え、数年に一度内容を大きく変更している。この数年間は「古典文学再入門」のサブタイトルのもとで、文法のみならず、国語史一般や古典常識を踏まえた上で、『源氏物語』を鑑賞している。写本から入り、仮名の歴史、発音の変遷と仮名遣い、等、高等学校ではあまり触れることのない国語学的な諸問題を解説して、新たな知見を得ることができるよう工夫した。「古典常識」も暦（太陰暦）や家族制度等、現代生活に関わるものを取り上げ、古典文学読解が過去の断片的な知識の集成にならぬよう工夫した。「文法」は学生にとって苦手の領域であるが、現代でも古文の助動詞が使用されている状況を示したり、「文法」を踏まえることで作品の読みが深まる様相を提示したりして、現代につながる問題として学べるよう工夫した。毎回の「質問・コメント」を記入する用紙を通して、学生の理解度の確認を行って授業に反映、あるいは学生が関心を持った事項に補足を行うようにした。ミニテストを重ねることで、学生の授業への集中を促し、その解説を行うことで、記憶の定着をはかっている。</p>	<p>集中力が低く説明箇所がわからなくなりがちな学生が増えたことから、授業資料はPowerPointによるスライドで提示している（コピーは配布する）。『源氏物語』の読解も、PowerPointの「アニメーション」機能を生かして、単語の意味や文法事項の説明などを順次眼前に提示し、理解促進をはかった。本年度は、前年度に気づいた改良点や学生の反応を踏まえて、教材に改訂を行なった。</p>
授業科目名 文化史	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>副題として「芸能と文学の文化史」と題して、祭りの起源から始めて「能」「狂言」の完成に至るまでを目安に、日本の芸能の歴史を講義している。授業中、各地の伝統芸能の実例の中から古態を存するもの、あるいは復元の試みの映像をピックアップして見せ、記録しか残らない古代の芸能の歴史を具体的なイメージの中で再現すると共に、学生の音楽的・美術的体験の幅を拡大できるよう工夫している。「クイズ」を用意し、学生の関心をひく工夫もした。毎回「質問・コメント」を記入する用紙を通して、学生の理解度の確認を行って授業に反映、あるいは学生が関心を持った事項については補足を行うようにしている。</p>	<p>授業の概要をより確実に理解することを目標に、わかりやすい教材の作製を行なっている。教材は毎年更新している。集中力が低く説明箇所がわからなくなりがちな学生への対応を考慮して資料はPowerPointによるスライドとして作成している。今年度も新たな改訂を行った。</p>

授業科目名 教養講座（人文）	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「変体仮名を読めるようになって古写本を読む」をサブタイトルに上げている。変体仮名を学ぶことで、日常使う文字である「仮名」の歴史を体験的に学習できるようにと意図したものである。授業内で体験・作業・練習を積み重ねていく事を通して、「変体仮名」が読めるようになり、現在自分たちが使っている文字を再認識してもらいたいというねらいである。既存の教材も多いが、仮名書道を学ぶ人のための物が多く、そもそも「仮名」の概念が理解されていないものが大部分なので、教材は独自に作成している。	授業でも有効に活用でき、欠席者には自習も可能な教材を作製している。教材は毎年更新している。学生には欠席した場合でも必ず自習し提出を求めることで、所期の効果をあげている。本年度も新たな改訂を行った。

3. 学会等および社会における主な活動

中世文学会		会員
日本文学協会		会員
解釈学会		会員
軍記語り物研究会		会員
名古屋大学国語国文学会		運営委員

教養部会准教授 加藤 智也

1. 研究活動

「演習授業におけるFacebookの活用実践」	2014. 12. 10	大学ICT推進協議会	日本ではまだ広く普及していない2010年よりFacebookを教育、なかでも少人数での演習授業において導入してきたことから、その実践について他のツールと比較しながら有効性について考察する。
「ゼミナールにおけるFacebookの活用実践」	2015. 3. 31	「名古屋芸術大学研究紀要」第36巻	Facebookを少人数でのゼミナールにおいていち早く検討・導入してきたことから、その実践について「情報共有」「学習意欲」「関係構築」の観点より考察する。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 □有 ■無

授業科目名 情報リテラシーⅠ／情報機器の操作	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
少人数で授業展開し、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにした。	テキストの補足説明資料、理解度を確認するオリジナル課題、内容理解を促すスライドなどの作成 シンクライアント環境の活用 ファイルサーバの活用

授業科目名■マルチメディア・コンテンツ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
少人数で授業展開し、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにした。	具体的には学生オリジナルのデジタル教材を完成させることをゴールとするが、やる気を高めるような見本となるコンテンツを提示し、制作方法理解を促すスライドなどを作成 シンククライアント環境の活用 ファイルサーバの活用
授業科目名 ゼミナールⅢ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
Facebookを中心としたソーシャルメディアの活用をゼミナールで推進することにより、研究に関する情報の効果的な共有を可能とし、議論を深めることに役立てた。また、学園祭や幼稚園現場などにおいて、制作したデジタルコンテンツを積極的に披露し、その有効性を実証した。	研究計画書および論文の書き方、発表資料の作り方に関する資料、見本や、ソーシャルメディアに関するマニュアル、ガイドラインを作成した。
授業科目名■インターネット・コミュニケーション	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
授業で使用するPowerpoint教材などをWebで公開することにより、授業内容の理解促進、授業進行の効率化、予復習での活用などで効果を上げた。また、理論面だけでなく、実際にさまざまなインターネットサービスを活用させ、実践力の向上にも努めた。	内容理解を促すスライド、授業内容把握度を確認するチェックシートなどの作成 Webサーバ、ファイルサーバ、メールなどの活用

3. 学会等および社会における主な活動

情報文化学会	2000～	会員
経営情報学会	2002～	会員
日本社会情報学会	2002～	会員

教養部会教授 東條 文治

1. 研究活動

フランス、St.Paul-des-Fontsにおけるジュラ紀アンモナイト化石の産状についての予察的研究	2015. 3. 30	名古屋芸術大学研究紀要、第36巻	145～151頁。
名古屋芸術大学と豊橋市自然史博物館との連携への取り組みについて	2015. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達研究所年報、第4巻	1～15頁。 共著：松岡敬二・東條文治

骨格標本を使った学習活動 —哺乳類の歯をテーマとして—	2015. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達 研究所年報、第4巻	61～69頁。 共著：東條文治・安井謙介・黒田耕平
Depositional age of Miocene strata and heterochronic morphological variation of <i>Vicarya yokoyamai</i> (Gastropoda)	2015. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達 研究所年報、第4巻	73～78頁。
平成26～28年度科学研究助 成。研究課題「モロッコ産 ゴニアタイト化石の分類学 的研究と教材開発」 (継続中)			

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無
3. 学会等および社会における主な活動

美術学部

美術学科教授 岩井 義尚

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
【企画・出品】 第25回名芸大 学生涯学習公開講座 木彫を楽しむpartXV作品展	2014. 5. 18 ～5. 25	北名古屋市文化勤労会館 1F展示室	展覧会企画・展示指導・賛助出品
【出品】 2014教員展	2014. 6. 13 ～6. 18	西キャンパス A&Dセンター ギャラリー	Form 1401（昨年度制作作品）
【出品】 中部二元会研究展	2014. 9. 9 ～9. 14	東桜会館	Form 1403「群」 木彫 立体 H28×W247×D56 櫟（ケヤキ） 「SUGATA 5」2014. 1. 19 クロッキー 「SUGATA 6」2014. 8. 17 クロッキー
【出品】 中部二元会選抜展	2014. 10. 21 ～10. 26	市民ギャラリー栄	Form 1402-2 木彫 立体 H31×W52×D32 櫟+ブラックウォールナット+栓 Form 1404 木彫 立体 H53×W31×D30 ブラックウォールナット+タモ+水目桜
【展示指導・出品】 2014年 Art of 20歩展 ークロッキー・デッサンなどー	2014. 12. 14 ～12. 21	北名古屋市文化勤労会館 1F展示室及びエントランス	展示指導及び賛助出品 クロッキー ペン画
【審査・出品】 第37回 中部二元会展	2015. 3. 17 ～3. 22	愛知県美術館（G1・G2・H・I室）	Form 1501 木彫 立体 H90×W240×D75 櫟（ケヤキ）…集合体 Form 1502 木彫 立体 H45×W116×D58 櫟（ケヤキ）…集合体
【研究紀要】 木彫による造形研究 2013 岩井義尚	2015. 3. 30 発行	名古屋芸術大学研究紀要 第36巻	作品集

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等		g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目名 彫刻実技1-2（マケット）		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
<p>テーマ「流れ」「動・静」;テーマに沿って考えさせ、各自の作りたと思う形を複数提示させひとつを決定する。作る形の芯材として針金をスポット溶接で組み、金網にて形の確定をし、石膏にて布を補強材として使い付けたり削ったりを繰り返し考えた形を作り出して行く。プロセス（段階）を使うことの大切さを伝える。</p>	<p>マケット（模型）は、野外彫刻（パブリックアート）や造形物・彫刻を制作する時の確認のために作られる。作品参考例として、パブリックアート作品の写真集や展覧会の画像・写真の紹介をする。参考資料として名古屋芸術大学教職センター紀要 第1号「石膏直付けによる形態表現」岩井義尚著を使用する。</p>	
授業科目名 クロッキー		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
<p>人物に焦点し、クロッキーの要点を探るひとつの方法として、トレーシングペーパーを使う。クロッキーは短時間で形を捉えなければならない。短時間で捕らえるためには、より単純な長い線で描く必要がある。トレーシングペーパーは、基の描いたものや写真（コピー）の上に置くことにより、中心線や断面を想像して描くことが容易に行える（形を検証出来る）アイテムである。この検証方法を使いクロッキーの要点を探り、各自の目的に沿って使うことを認識させる。</p>	<p>絵画、彫刻、版画（木版・銅版・リトグラフ）、イラスト（アニメーションを含む）等の資料の紹介。版画についてはエングレービング（銅版画）やリトグラフの19世紀に作られた本（実物）を資料とした。</p>	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
中部二元会	2014. 1. 1～12. 31	会員・委員
第41回 岩倉市美術展	2014. 10. 31～11. 3 岩倉市体育館	彫刻・工芸部門審査（2013.10.30）委嘱出品

美術学科教授 大崎 正裕

1. 研究活動

萌月のアート展（ギャラリー企画）	2015. 1. 10～23	ウェストベスギャラリー コズカ	作品1展
------------------	----------------	--------------------	------

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目名 芸術特講 1	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
アートとビジネスについての関係性を社会的視野から考えさせることに力を入れています。今回はアート界で活躍する出版関係者を招き、アート雑誌の実情を話してもらい、受講生はレポートを作成しました。より、美術世界を知る事で、活躍の場も広がる授業を目指しています。	
授業科目名 アーティストラジオ2014	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
今回のアーティストラジオ活動は東京ローズ“アーティスト レジェンド オブ ザ ローズ”と題し、恋愛&ヒーローをテーマにて三日間限定超ミニFM放送にしました。多数のゲストを招き、トーク有り、ドラマ有り、大喜利有りの完全オリジナル番組を超ミニFMとネットでの全世界同時配信ということで、回数を重ねる毎に内容ある学生&OB主体のチーム活動になっています。	フライヤー作成 番組用HP（日本語/英語）製作
授業科目名 ドローイング2	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
週1回の15回の後期実技演習科目。1回に作品1点を作らせ、評価を与えて、内容を充実させています。	
授業科目名 大学院レベルの他大学との学生交流と展覧会	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
現在までの院生と担当教員との展覧会から、今回は本学大学院同時代表現研究院生と京都造形芸大大学院院生との大学院レベルの合宿型の交流展にカタチを変えて、開催しました。両校が競う事で教育効果は大になりました。この交流展に出品したことで大学院を修了した後も引き続き交流する習慣を生み出しました。他にも、毎年のように京都のヴォイスギャラリーで院生出品のグループ展を教員3人の共同計画で開催しています。	フライヤー作成

授業科目名 自主テーマによる研究及び修了研究 場の創出—「TOKYO DESIGNERS WEEK」参加	
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
2014年10/25～11/3（10日間）の国際的で多ジャンルなイベント事業の「TOKYO DESIGNERS WEEK」に、アジアアワーズ大学作品展部門に今回初めて本学大学院同時代表現研究の院生達9名が参加出品した。トーキョーデザイナーズウィーク関係者や学内との交渉により、本学が参加する場やカタチを大崎が創出。その後、洋画2コース教授・吉本作次がコンセプト「絵画」を考えて出品者を選考し、搬入展示から作品搬出までの10日間の活動を行った。会場は明治神宮外苑絵画館前。	トーキョーデザイナーズウィーク（主催）側が、フライヤー製作やカタログ製作。本学洋画で本学紹介用の動画を製作。

3. 学会等および社会における主な活動

美術学科教授 三枝 優

1. 研究活動

第44回 日彫展	2014. 4. 19 ～4. 30	東京都美術館	「裸婦」2/3身 裸婦実像 石膏着彩
第44回 東海日彫展	2014. 5	愛知県芸術文化センター 美術館ギャラリー	上記と同じ
守山区 美術振興展	2014. 5	守山区役所 講堂特設会場	テラコッタ…2点
名古屋芸術大学 教員展	2014. 6. 13 ～6. 18	名古屋芸術大学 西キャンパス BEギャラリー	「首像」石膏着彩 1点
尾張旭市 芸術展（彫塑・工芸部門）	2014. 11. 24 ～11. 30	尾張旭市文化会館 2F ギャラリー	「裸婦」石膏着彩 立像
「Groupe 14e」展	2014. 12. 7 ～12. 21	尾張旭市スカイワードあさひ 4F ギャラリー	「裸婦」石膏着彩、テラコッタ 4点

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 彫刻実技1-1（彫刻・ひと・美）		1、授業の成果発表 「彫刻展」開催 2、意識を高めるため、公募展への挑戦を促す。
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
モデルを使い首像制作を行なう。個々の感性により、美の要素を見つけ、作品にするための基礎的な勉強を行う。	彫塑制作用材料、道具を使用。前年度の学生の作品を参考 彫刻家の作品集を参考	
授業科目名 美術実技2-1（彫刻）		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
モデルを使い人体制作を行う。1/2等身を制作する。人体の形の中に、その組立を考え、表現する。	彫刻作品集を参考	

授業科目名 彫刻（集中実技）	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
他コースの専攻者のための基礎的彫塑制作。	人間の骨格から考察させるため、骨格模型によるデッサン制作を前半行う。彫刻作品集を参考資料に使用。
授業科目名 鑄造技法（学部共通科目）	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
メダルサイズのレリーフを蠟原型からブロンズに至る過程を鑄造技法として経験する。	前年度までの学生の作品を参考にする。
授業科目名 美術実技2-5	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
モデルを使い、人体制作を行う。1/2等身を基準とする。石膏型取りを行い保存することも経験。	人体骨格模型を参考に、組み立てを考えさせる。彫刻作品集を見ること。展覧会の案内など。
授業科目名 美術技法 鑄造（実技科目）集中	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
メダルサイズのレリーフ制作又は、立体小品制作何れか選択して行う。	ブロンズ作品を参考作品として用意。制作道具と材料。
授業科目名 美術実技Ⅲ-2	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
彫塑人体制作（等身制作）を行う。	

3. 学会等および社会における主な活動

展覧会運営と企画 （スカイワイドあさひギャラリー）	2014. 7～2015. 3	創作折紙展 Groupe14e展
守山美術振興会会員	2014. 5	美術振興展出品

美術学科教授 杉浦 尚史

1. 研究活動

第91回 春陽展	2014. 4. 16 ～4. 28	東京 国立新美術館	油彩F130号 『Time After Time』
	2014. 5. 20 ～5. 25	愛知 芸文センター	
	2014. 6. 3 ～6. 8	大阪 市立美術館	
教員展	2014. 6. 13 ～6. 18	学内 A&Dセンター	油彩F130号 『Time After Time』

個展	2014. 9. 1 ～9. 6	東京 ギャラリー惣	油彩画 F80『虹の出た日』他13点
第2回 陽人展	2014. 10. 16 ～10. 21	名古屋 ギャラリーいづ 藤	油彩F15 『トリオ』他1点
第13回 私のマチエール展	2014. 11. 5 ～11. 14	名古屋 ギャラリー 彩	油彩F15 『キャンドル』
中部春陽2014年展	2014. 12. 16 ～12. 21	愛知 芸文センター	油彩F80 『樹上読書』
個展	2014. 12. 23 ～12. 28	名古屋 ギャラリー MiLu	油彩F130号 『雨のイースター』他12点

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 大学院 美術研究科 洋画実技		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
各学生の資質を考慮した上での適切な実技指導、学生の芸術観の確立を促す。	古今東西の絵画作品集	
授業科目名 大学院 美術研究科 洋画実技		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
各学生の資質を考慮した上での適切な実技指導、学生の芸術観の確立を促す。	古今東西の絵画作品集	

3. 学会等および社会における主な活動

一般社団法人 春陽会	2014. 4. 16～6. 8 主に毎年4月～6月の期間に東京・名古屋・大阪における作品展の開催	全国公募による展覧会活動
------------	--	--------------

美術学科教授 須田 真弘

1. 研究活動

教員展	2014. 6. 13 ～6. 18	Art&Design Center Gallery BE 名古屋芸術大学	油彩作品3点展示
特別講義 「On the development of Contemporary Art in Japan up to today」	2014. 8. 26	Srinakharinwirot University バンコク/タイ	タイ、バンコクのスリナカリン・ウィロット 大学にて日本の現代アートの歴史を紹介する 特別講義を行った。
ドローイング ワーク ショップ	2014. 8. 27	Srinakharinwirot University バンコク/タイ	タイ、バンコクのスリナカリン・ウィロット 大学の学生にドローイングのワークショップ を行った。
利岡コレクション展示	2014. 9. 3 ～10. 21	大分県立美術館 まちな か支局	大分県立美術館OPAMの開館前に情報発信 拠点として、大分市中心部で作品展示。利岡 コレクションとして大分県所蔵の作品「Color scape9」（2001年制作）が展示された。

Behind the Brushstroke 展	2015. 3. 10 ～4. 10	Camberwell Space Camberwell College of Arts University of the Arts London ロンドン/イギリス	ロンドン芸術大学キャンバーウェル校のギャラリー Camberwell Spaceで展覧会を企画開催した。(カタログ) 油彩作品7点展示。作品1点がロンドン芸術大学のコレクションになった。
特別講義 「Behind the Brushstroke」	2015. 3. 12	Lecture Theatre Camberwell College of Arts ロンドン/イギリス	ロンドン芸術大学キャンバーウェル校にて展覧会「Behind the Brushstroke」に関連して、そのコンセプトの特別講義を行った。
ワークショップ 「Behind the Brushstroke」	2015. 3. 13	Camberwell Space Camberwell College of Arts University of the Arts London ロンドン/イギリス	ロンドン芸術大学キャンバーウェル校にて展覧会「Behind the Brushstroke」に関連して、ロンドン芸術大学の学生に横山豊蘭氏による書道ワークショップを企画した。
日韓アートマネジメントシンポジウム Japan-Korea Symposium on Arts Management	2015. 3. 30	名古屋ガーデンパレス	韓国釜山の新羅大学、アート関係者と共同でシンポジウムを開催した。釜山ビエンナーレ、光州ビエンナーレに関するリサーチ報告を行った。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 洋画2基礎1、洋画2基礎2		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
美術の知識にまだ乏しい1年生ということもあり、幅広いアーティストを紹介するために、アトリエ内に多くの書籍や資料を自由に学生が観覧出来る様に設置している。	海外アーティストの洋書本、ギャラリーが発行する希少カタログや国際美術展覧会の資料など。	
授業科目名 クロッキー		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
限られた予算内で多様な授業を展開している。描く事の基礎に重点をおきながら、学生に対して柔軟な思考や発想などを養うことに努めている。	様々なアーティストの画集やカタログ資料を参照している。	

3. 学会等および社会における主な活動

KNIT展での作品講評	2014. 7. 30	三重県名張市の福祉センターふれあい会館で行われた名張、桔梗丘、上野工業、上野商業、伊賀白鳳、上野の6高等学校が参加しての美術展覧会、第10回KNIT展のゲスト講師として作品講評を行った。
長久手市文化の家 絵画コンクール審査員	2014. 8. 22	長久手市が主催する絵画コンクールの小学生/中学生の部での審査員を努めた。

伊賀白鳳高等学校卒業作品講評会	2015. 2. 27	三重県伊賀白鳳高等学校工芸デザイン科デザインコースの卒業制作展にゲスト講師として作品講評会を行った。
-----------------	-------------	--

美術学科教授 高橋 綾子

1. 研究活動

【講義・シンポジウム】			
茶話会トーク	2014. 4. 19	FRONT（岐阜）	ギャラリーキャプションの新たなスペースでの第一回ゲストとして「アートのある暮らし」をトーク。
オープンカレッジin飛騨「プロログ：現代アートの聖性」	2014. 10. 12	飛騨センター	「人間と芸術～聖なるアートへ～」の企画構成をふまえた序論講義。
オープンカレッジin飛騨「人間と芸術～聖なるアートへ～」現地レクチャー（三重県立美術館）	2014. 11. 16	三重県立美術館	「人間と芸術～聖なるアートへ～」の現地視察の案内。「カミノクマノ」「浅野弥衛」展。
オープンカレッジin飛騨「対話するアートの場と聖性」	2014. 12. 14	飛騨センター	「人間と芸術～聖なるアートへ～」のまとめのレクチャー。
日韓アートマネジメントシンポジウム 司会進行	2015. 3. 30	ガーデンパレス名古屋	各発表に関して司会進行役を務めた。
【原稿執筆】（依頼原稿）			
丹羽康博展	2014. 6. 24	朝日新聞 朝刊文化欄「創」	愛知県美術館での若手支援企画の個展で秀逸の実験作を発表した丹羽康博の「観念芸術」の意味に言及。
三輪乙彦「形と色の音感」展「かたち」が語りだすとき	2014. 10. 20	岐阜現代美術館発行カタログ	ベテラン彫刻家による親娘二人展に際して、独立した作家論を依頼され、作家の造形性を解説。
人と場を編む～清流とアートのDNA きそがわ日和 2014に寄せて	2015. 3. 7	きそがわ日和実行委員会	「きそがわ日和」の展覧会評を、その前史である彫刻展やキーマンの存在から解説し、地域型のアートプロジェクトの方法論に言及。
七ツ寺スピリッツ随想「心の妻からのラブレター」	2014. 8. 25	七ツ寺共同スタジオ40周年記念誌	七ツ寺共同スタジオ40周年記念誌への寄稿。これまで、関わってきたアートプロジェクトにおける「オルタナティブな意志」について、自らの検証と自負を正直に記述。
ヤノベケンジ「ウルトラ・サン・チャイルド」	2015. 1. 28	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	名古屋市北区のパチンコZENT前にあるステンレス製の巨大モニュメント。作家のコンセプトを簡潔に解説。
関根伸夫「空相」	2015. 2. 18	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	一宮市の市民会館前の抽象彫刻。野外モニュメント設置の全国的にも草創期の名作として紹介。
眞板雅文「生成」	2015. 3. 11	東京新聞 夕刊文化欄「まちを彩る パブリックアートの世界」	土岐市のシンボルモニュメント。国道から見られる巨大な作品の造形的意味を解説。
【学内冊子「Ble」原稿執筆】			

特集：留学?遊学?	2014. 7. 14	名古屋芸術大学アート&デザインセンター「Ble」40号	編集企画を担当（コンテンツ、筆者依頼など）
特集：幸福の手 しょうぶ学園の幸福論	2014. 10. 23	名古屋芸術大学アート&デザインセンター「Ble」41号	編集企画を担当（コンテンツ、筆者依頼など）特集企画のため、しょうぶ学園に取材した。
特集：愛知の「Re」	2015. 3. 3	名古屋芸術大学アート&デザインセンター「Ble」42号	編集企画を担当（コンテンツ、筆者依頼など）
【連載コラム原稿執筆】			
名古屋シネマテーク通信 next arts 通信	2014. 4 ~2015. 3	名古屋シネマテーク通信	1998年より毎月連載。中部地域に限らず、内外の現代アートや文化トピックスを巡るミニコラム。
【批評誌編集&執筆】			
特集「本をとどける」	2014. 8. 20	「REAR（リア）」no.32	〈特集〉記事構成と編集。「本をとどける」での対談再録記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
インタビュー：鈴木宏「〜知の方向を示す出版社〜「読む」ことは考えること」	2014. 8. 20	「REAR（リア）」no.32	〈特集〉「本をとどける」において、水声社代表の鈴木宏氏にインタビュー。
特集「弥衛さん」	2014. 12. 22	「REAR（リア）」no.33	〈特集〉記事構成と編集。「弥衛さん」での座談再録記事をはじめ、各寄稿記事の構成、編集を行う。
インタビュー：佐藤史郎「弥衛先生の画材とアトリエから」	2014. 12. 22	「REAR（リア）」no.33	〈特集〉「弥衛さん」において、額装家である佐藤史郎氏にインタビュー、これまであまり語られて来なかった作家の制作や発表にまつわる話題を記録。
レビュー：岡本健児	2014. 12. 22	「REAR（リア）」no.33	名古屋芸大卒業の若手作家、岡本健児の個展を紹介。作家の絵画に対する姿勢と可能性を示唆。
【海外視察】			
マニフェスタ10（ロシア）の視察。サンクトペテルブルグ、モスクワの美術館、博物館の視察。	2014. 9. 1, 9	エルミタージュ美術館ほか	はじめてロシアで開催された国際展「マニフェスタ10」、日本人作家をはじめとした多様な作品と、エルミタージュ美術館をはじめロシアの博物館を視察。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 博物館情報・メディア論	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
近年、変化の目覚ましい博物館事情の具体例とその背景となる歴史やエピソードを視覚的に紹介、解説している。	なるべく開催中の企画や、新しい動向事例を具体的に紹介。就職先として、博物館だけでなく関連企業への興味喚起も意図した。

授業科目名 博物館経営論	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
近年、変化の目覚ましい博物館事情の具体例とその背景となる歴史やエピソードを視覚的に紹介、解説している。	なるべく開催中の企画や、新しい動向事例を具体的に紹介。就職先として、博物館だけでなく関連企業への興味喚起も意図した。

3. 学会等および社会における主な活動

芸術批評誌「REAR」編集メンバー	2002. 10～現在	
名古屋市土木部堀川整備調整委員	2005. 4～現在	
かすがい文化振興財団評議委員	2008. 4～現在	
かすがい文化振興財団ギャラリー調整委員	2014. 4～現在	
豊田市美術館運営協議会委員	2008. 4～現在	
ファン・デ・ナゴヤ美術展企画委員	2009. 4～現在	
岐阜市屋外広告物審議会委員	2011. 4～現在	
岐阜県現代陶芸美術館広告物プロポーザル選考委員	2013. 6～現在	
岐阜県 新県展 企画委員	2015. 3～現在	
心揺さぶるアート事業 調査委員	2014. 8～2015. 3	
里山アート（昭和村）アドバイザー	2014. 4～2014. 12	

美術学科教授 田口 貴久

1. 研究活動

二人展	2014. 4	銀座・高輪画廊主催	50号油彩 静物 50号s 作品 30号油彩 樹 40号油彩 卓上 等20点 出品
素描展	2014. 7	銀座・高輪画廊主催	6号・水彩
傘の会	2014. 9	名古屋・松坂屋主催	20号油彩（卓上）6号油彩 卓上
赤兎馬	2014. 10	銀座・高輪画廊主催	20号油彩（花）・10号油彩（背物）
立軌展	2014. 10	東京都美術館	80号油彩風景50号・卓上
ヴェロン展	2014. 11	三岸節子記念館	100号油彩 泉 100M油彩 赤い屋根 f80号油彩 ヴェロンの風景
私のマチエール展	2014. 11	ギャラリー綾	4号 油彩 ピエロ
パロン会東京展	2014. 12	銀座・高輪画廊主催	50号M 風景 20号 樹 等
央展	2015. 2	銀座・「ギャラリーームサシ」4号油彩サムホール油彩	4号油彩 卓上 3号油彩 教会

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

美術学科教授 中澤 英明

1. 研究活動

名古屋芸術大学大学教員展	2014. 6. 13 ～6. 18	名古屋芸術大学アート& デザインセンター	「子どもの顔一泪」油彩、テンペラ、白亜地、 綿布、板 453×379 「子どもの顔—ふたいろまなこ」油彩、テン ペラ、白亜地、綿布、板 360×300
--------------	-----------------------	-------------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

岐阜県美術展	2014. 5. 26	審査員
--------	-------------	-----

美術学科教授 萩原 清作

1. 研究活動

名古屋芸術大学 教員作品 展	2014. 6. 14 ～18	名古屋芸術大学アート& デザインセンター、 BE.be ギャラリー	・裸婦（小）石膏 H47cm×W14cm×D28cm ・裸婦（中）石膏 H95cm×W25cm×D28cm
-------------------	--------------------	---	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 彫刻（集中） 日本画 洋画	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
・人間の頭部をモデルを見て作る。 ・模型の骸骨の頭部を粘土で作り、それを芯として制作（彫刻の形の組立を意識させる。）	○ロダン、ブールデル、デマピオ等の彫刻家 画集 ○DVD ベルニーニ ○映画 ミケランジェロ
授業科目名 古美術研修（美術、デザイン全学年）	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
・大学で研修にあたっての基礎知識の講義 ・現地のお寺での素描による様式と時代性の確認 ・研修後、素描の公開展示	○DVD ブッタ ○DVD 飛鳥、天平、平安（前、中、後） 期 鎌倉、各時代の仏像 ○やさしい仏像の見方（西村公朝）
授業科目名 美術実技Ⅲ-1、Ⅲ-2	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
・彫刻とは何か、その美について又、対象（モデル）に向って制作する姿勢と提言 ・芯棒の重要性について	○DVD、彫刻家 ・ベルニーニ ・ジャコモメッティ ・ミケランジェロ ・佐藤忠良 ・舟越保武

授業科目名 美術実技Ⅳ、卒業制作	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
・彫刻と彫刻性（要素）について、特に彫刻の形の組立について ・素材と表現についての提言	○DVD、彫刻家 ・ベルニーニ ・ミケランジェロ ○彫刻家の言葉集（プリント） ○「純粋彫刻論」橋本平八

3. 学会等および社会における主な活動

美術学科准教授 松岡 徹

1. 研究活動

「瞬きのごとく」	2014. 5. 10 ～6. 8	織部邸/愛知	グループ展 立体を出品
教員展	2014. 6. 13 ～18	ギャラリーBE（本学Art & Design Center内）	グループ展 お地藏様とお面を展示
「かたちなきもの。」	2014. 7. 21 ～27	〇ギャラリー/東京	個展 立体と版画作品
南京国際美術展	2014. 10. 8 ～10. 14	南京/中国	国際美術展 立体作品を出品
「サイエンス&アート フェスティバル」	2014. 10. 4 10. 5	名古屋市美術館	立体、写真などの作品展示、ワークショップ、スタンプラリー
ROOM ART FAIR	2014. 10. 14 ～16	HOTEL MAYERLING/ マドリット・スペイン	立体作品 版画作品
「現代美術」展	2015. 1. 17 ～2. 8	ギャラリーサンセリテ/ 豊橋	立体作品
“Japanese Tea” Contemporary Art Exhibition.	2015. 1. 19 ～3. 9	The Bangkok Art and Culture Centre (BACC) /バンコク・タイ	平面作品
K109展	2015. 2. 3 ～2. 8	名古屋市民ギャラリー矢 田/愛知	名古屋芸術大学版画コースの教員、スタッフ、学生の展覧会
レビュー展	2015. 2. 3 ～2. 8	名古屋市民ギャラリー矢 田/愛知	グループ展 名古屋芸術大学版画コースの教員、スタッフ、学生の展覧会
織部亭30年記念展 第1幕 「わたしの一点 一祝宴一」	2015. 2. 28 ～3. 22	織部亭/一宮市	グループ展
出版物			
「月へ行きたい」（たかさんのふしぎ傑作集）	2014. 9. 3	福音館書店	絵本
「月へ行きたい」（韓国語版）	2015. 1. 20	Hollym Corporation（ハンリム社）	絵本

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 版画実技Ⅲ-2（ペーパーメイキング）	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
紙を原料から紙になるまでを実際に紙すきをして手作り紙を作り、最終的にかみランプを作ります。毎年、海外留学生が興味をもって参加するため、出来るだけ学生たちと協力して様々な紙を作るように心がけた。	
授業科目名 美術実技（美術総合）Ⅲ-4	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
学生が自由に発想したドローイングから、アニメーションを制作。何百枚もの絵を描くため、計画性をもって作業を進めていくようにする。	制作のまえに、多くの手作りアニメーションなどを見せる。
授業科目名 美術基礎実技（アイデアとエスキース）	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
一年次の授業ということで、まず自分が何かを作るということのプロセスについて考えてもらいたいので、まず、何が作りたいか、それをどのように見せたいか、どこで見せるかなど、具体的にいろいろ考えてもらう。	毎週、多くの作家、デザイナーなどの画集、DVDなどを授業の始めに見せる。
授業科目名 美術実技Ⅲ-5（オブジェ）	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ただ立体を制作するではなく、どこに設置したいか、から発想してもらい、具体的な場所を設定し、其の場所に合ったサイズ、素材を決めて、そのミニチュアを制作。その後、現場の写真と作品の写真を合成し、実際に設置するとどうなるのかを見る。	野外彫刻、公共彫刻などを実際に取材させる。

3. 学会等および社会における主な活動

美術学科教授 吉本 作次

1. 研究活動

個展	2014. 4. 12 ～5. 24	ケンジタキギャラリー	大作・小作、約20点
----	-----------------------	------------	------------

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

教養部会教授 小西 二郎

1. 研究活動

教授法に関する一考察—— 教育実習で留意すべきこと を中心に ※査読付	2014. 11. 10	『北海道情報大学紀要』 第26巻第1号	学習指導は、教員の主要な職務の一つである。実際に学習指導を行なう際に求められるのは、教える内容を理解し、かつ教授方法・技術を駆使しながら教授することである。本稿では、その教授方法・技術のポイント、とりわけ教育実習生が留意すべきことを中心に論じている。主なトピックは下記の通りである——系統学習と問題解決学習、個別指導と一斉指導、発問、レディネスと動機づけ、「問」の重要性等。
「教職の意義等に関する科目」のねらいについての断章 ※査読付	2014. 11. 10	『北海道情報大学紀要』 第26巻第1号	「教職の意義等に関する科目」では、「教職の意義及び教員の役割」「教員の職務内容」「進路選択に資する各種機会の提供等」について教えることが義務付けられている。しかし、実際は、一連の「教職の意義等に関する科目」群のダイジェストの単なる集積となっていることが多い。その背景には、〈教育研究の、専門諸科学への拡散〉傾向がある。本稿では、この問題を克服する方途について論じ、合わせて教員養成のあり方について考察している。
ラウンドテーブル① 研究者人生の〈生きづらさ〉をめぐって ※話題提供者兼コーディネーター	2014. 10. 19	2014年度唯物論研究協会 第37回研究大会（於 東京農工大学）	「研究を進める上で重要なのは問題意識である。問題意識は研究の土台・軸であり、かつ研究者にとって大きな支えとなるものでもあるからだ」——しかしながら、その問題意識について語ること（すなわち、「好きだからだ」ないしは「既存の研究ではほとんど手掛けられていないからやる意味があるのだ」ということではなく、研究内容及びその社会的意義・意味について語ること）が、かつてに比して難しくなった。そうした事態には、歴史的・社会的要因が大きく関与している。本ラウンドテーブルでは、第一に、問題意識を言葉にすることの困難性やその歴史的・社会的要因について考察することの重要性について指摘し、討論を行なった。そして第二に、少子化や高等教育の再編によって研究者の置かれている状況が厳しくなっていることについても議論した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 教育社会学		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、受講生に感想を書いてもらう→それに対するリアクションペーパーの作成 →次の授業の冒頭で、それをもとに補足説明や討論を行なう		

授業科目名 進路指導	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
毎回、受講生に感想を書いてもらう→それに対するリアクションペーパーの作成 →次の授業の冒頭で、それをもとに補足説明や討論を行なう	

3. 学会等および社会における主な活動

北海道社会学会	1990. 6～現在に至る	
日本社会学会	1992. 8～現在に至る	
日本労働社会学会	1993. 5～現在に至る	
日本教育社会学会	1994. 9～現在に至る	
唯物論研究協会	2001. 5～現在に至る	2014年10月～第19期委員会の委員（主に、年誌の編集と研究大会の企画・運営、会員の著書の書評を担当する）
全国私立大学教職課程研究連絡協議会及び北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会（道私教協）の大学代表	2005. 7～2015. 3	2010年7月まで、北海道情報大学は道私教協の常任幹事校であった。よって、2005年7月からそれまで、幹事校会の業務や全国私立大学教職課程研究連絡協議会・研究大会の分科会の司会等を担当した

教養部会准教授 西村 和泉

1. 研究活動

論文 「拾われたイメージの鼓動—アニエス・ヴァルダの自画像とシネエクリチュール」	2015. 4	『映像』第1号、33-36頁。	ヌーヴェル・ヴァーグの先駆的存在であるアニエス・ヴァルダの映画とインスタレーションの分析を行った。ヴァルダ作品に繰り返し登場する「廃棄されたものを拾う所作」を通して、1950年代から今日にかけての人間とイメージとのかかわりを考察した。
翻訳 マウロ・カルポーネ「今日、画面を通して/と共に生きること—複合装置の進化と増殖」	2015. 4	『映像』第1号、76-78頁。	リヨン第三大学教授であるマウロ・カルポーネ氏の国際シンポジウムの論旨を翻訳した。この中でカルポーネ氏は「増殖する複合装置」と化した現代のイメージの新たな捉え方について問題提起を行っている。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 フランス語I, II		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
初めてフランス語に触れる学生が音とリズムに慣れることができるように、発声練習を繰り返し行うと共に、簡単な作文を書く訓練を行うことで、日常会話や自己紹介に役立つ表現が無理なく習得できるよう心がけた。教科書のキーフレーズがどのような場面で使われているのかわかるために、随時映画や歌の抜粋を視聴することで確認し、口頭試験と筆記試験の両面から運用能力を確認した。	テキスト、自作のプリント、映像資料	
授業科目名 フランス語III		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
フランス語の文法を一通り終えた学生を対象に、様々なシチュエーションを想定して実践的に外国語を用いることを目的に授業を行った。受講生一人一人の得意分野に合わせた課題を作成し、フランス語検定試験3級合格を視野に入れた高度なフランス語の知識の習得を目指した。比較的速いスピードのディクテーションおよび様々な時制を含む作文の課題にも取り組んだ。	テキスト、自作のプリント、映像資料	
授業科目名 異文化入門（フランス）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
自作のプリントを用いて、毎回異なるテーマ（日仏の家族関係、幸福観、文学、哲学、音楽、美術、建築、サブカルチャー）に焦点を当てて、日本とフランスの文化比較を行った。海外での生活や外国人との交流の経験がない学生に対しても、異なる文化や宗教や言語を持つ他者との共生の大切さが伝えられるよう工夫した。随時、授業内レポートを課すことで、自らの考えを論理的に文章化できるように導いた。	自作のプリント、映像資料	

3. 学会等および社会における主な活動

日本サミュエル・ベケット研究会	1996. 4～現在	2015年4月より幹事（事務局）
日本フランス語フランス文学会	1997. 4～現在	会員
日本比較文学会	1999. 4～現在	会員
早稲田大学グローバルCOE	2007. 4～2012. 3	研究協力者

1. 研究活動

<p>論文 「『外国語活動』と他教科の教材共有の可能性—国語教材の英語原書を用いた活動—」</p>	<p>2014. 3</p>	<p>『名古屋芸術大学教職センター紀要』第1号 pp. 101-120</p>	<p>小学校「外国語活動」の教材として、外国語活動のためだけに作られた教材（文科省編纂の<i>Hi, friends!</i> など）ではなく、他科目と共通の教材を用いる可能性とその意義・利点を考えた。1つのトピックを多側面から学ぶことで、理解がより深まり総合的な学びにつながる。このアプローチの一例として、小学2年生の国語科の教材として用いられる『お手紙』という作品の英語原書を、5～6年生の外国語活動の教材として用いることを提案し、指導上留意すべき点を、原書と翻訳テキストの比較分析から明らかにした。</p>
<p>論文 「小学校『外国語活動』での絵本活用の留意点：<i>Hi, friends!</i> を例に」</p>	<p>2015. 3</p>	<p>『名古屋芸術大学研究紀要』第36巻 pp. 171-190</p>	<p>絵本は、「外国語活動」の教材として、実際のコミュニケーションの場での言語使用を（仮想）体験できる場を児童に提供するという利点がある。文部科学省編纂の<i>Hi, friends!</i> の中でも、日本の昔話「桃太郎」英語版が教材として取り上げられている。本稿は、以下の二つの条件に基づき、「桃太郎」の教材としての適切性を検証した：条件1.使用される英語が、これまでに学んだ表現を多く取り入れていること、条件2.英語だけで話が理解できること。</p>
<p>プロシーディング 「絵本の文と絵：bimodal textにおける意味の相補性」</p>	<p>2014. 10</p>	<p>『Proceedings of JASFL』Vol. 8: pp. 1-14 日本機能言語学会</p>	<p>文 (verbal text) と絵 (visual text) を組み合わせたbimodal textの代表である絵本を分析対象とし、文と絵が生み出す意味の関係性をとらえる選択システムの構築を目指した。Nikolajeva and Scott (2001)の4分類システムをもとに、さらに細密度の高いシステムとして、Halliday and Matthiessen (2004)の論理-意味的關係システムを融合させることで、絵本を語るのに用いることのできるシステムを提案した。</p>
<p>学会発表 「絵本の絵と文：表現の得手不得手と協力関係」</p>	<p>2014. 10. 11</p>	<p>日本機能言語学会(JASFL)第21回秋期大会（神奈川大学（横浜キャンパス）において）</p>	<p>JASFL 2013では、絵本の文と絵の間の意味関係を、絵と文が一致するsymmetrical、絵が文にない内容を補足するcomplementary、絵が文の内容を大げさにするamplifying、絵が文の内容と矛盾するcounterpointingの4つに分類した。JASFL 2014では、symmetricalな選択肢に焦点を当て、一見内容が一致しているように見える文と絵でも、「文だけが表す意味」「絵だけが表す意味」があることを分析により明らかにした。それにより、文の特性、絵の特性、両者を併せた絵本の特性の一端を示した。</p>

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 英語 1		2014年度研究助成費交付研究『愛知県の東西交流と芸術的視点による博物館再発見への挑戦』（人間発達学部 東條文治、デザイン学部 菅嶋康浩、音楽学部 茶谷薫との共同研究）として、豊橋市自然史博物館と協力し、博物館での音楽学部生のコンサート、博物館カルタ・植物園カルタの作成、博物館ミュージアムショップで販売する商品企画などを行った。2014年12月には名古屋芸術大学と自然史博物館が連携協定を結び、2015年度以降も継続して活動を続ける予定である。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
英語の絵本を読む中で、学生が楽しみながら中・高までに学んだ英文法を1から復習し、大学レベルの授業への橋渡しができるようこころがけた。毎回小テストを行うことで、学生が学習内容をこまめに復習できるよう工夫した。	授業は英語の絵本を講読する形式。毎回、絵本文をプリントにして配布した。プリントには、学生が自分で予習してきた訳を書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。	
授業科目名 英語 3		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「英語でアート」をテーマに、美術・デザインにまつわる基礎的な英語表現を紹介し、英語の指示に基づいて彩色などの実技課題がこなせるか、アート作品について英語で語れるか、などの活動を行った。これにより、語学と専門分野のつながりを明確にした。	授業はすべてプロジェクトに映写する方式で行ったが、スライドを印刷して学生に配布することで、予習や授業中の書き込みがしやすいよう工夫した。また、映写・配布する資料はすべて英語にし、学生がなるべく多くの英語インプットに触れるようにした。	
授業科目名 外国語活動		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
人間発達学部専門科目。学生が小学校教員になった時にすぐに「外国語活動」を行えるよう、教材・副教材の利用法、授業で使えるゲーム・アクティビティ、授業運営に使う英語表現など、実践的な知識を多く紹介することを心掛けた。また、児童が最初に英語に触れる活動であるため、発音の向上にも重点を置いた。	市販の教科書（南雲堂『Bright and Early: 子供に英語を教えるための教室英語』）を主に用いたが、それ以外に、文科省編纂の指導書 <i>Hi, friends!</i> や、付属する年間カリキュラム案、外国語活動での実践活動案集など、学生が今後参考にできる資料を多く紹介することを心掛けた。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本機能言語学会（JASFL）	2000. 4～現在まで	学会発表・学会誌への投稿
-----------------	--------------	--------------

教養部会教授 松田 憲治

1. 研究活動

知多郡亀崎村梶川権左衛門の肴問屋営業とその展開	2015. 3	愛知県史研究19号	梶川権左衛門の肴問屋営業免許取得をめぐる浜方漁師・村役人との対立を軸に、同人の営業免許取得の動きを整理し、近世後期の漁村における商人のあり方を論じた。
-------------------------	---------	-----------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 日本国憲法		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
修得学力確認のための中高レベルの試験を行い、知識を再確認させるとともに、それをベースとした講義を内容を組立て、新たな知見や認識の形成を求めた。毎講義ごとに空今・感想をコメントカード形式で提出してもらい、講義の理解の到達度を確認した。	時期の応じた新聞記事を配布し、補助教材として活用する。また話題の映画等を紹介し、憲法に興味を持つよう繋げている。	
授業科目名 法学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
細かな法律の内容を講義するのではなく、法律を通して社会や人間を見る眼を養うこと、社会の今を理解すること重点を置いている。毎講義終了時にコメントカードを配布し、講義の理解度を測るとともに、次回の講義の冒頭で前回の概要を再度説明し、講義の連続性にも留意している。	教科書は利用せず、自作の講義プリントを配布し、受講学生の興味・関心をひく問題については、新聞などの記事を補助教材として説明をくわえる。	
授業科目名 教養講座・社会		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
長野県木曽郡木祖村をフィールドにして、山間地域の地場産業の実体を体験学習を通して経験させるとともに、地元クラフト系作家の工房を訪問して交流の中から美術・デザインを学ぶ意味を考えさせる。	毎年、訪問する作家等を事前に交渉し、体験・見学内容の豊富化を図っている。村役場の協力を得て地元紹介資料の配布等を行い、事前の知識を持たせるように工夫している。	

3. 学会等および社会における主な活動

地方史研究協議会		愛知県委員として協議会の運営に参加。
法制史学会		学会中部部会のメンバーとして研究会等への参加を通して会の運営に寄与した。
愛知県史編さん委員会		資料編の編さんに従事し、2013年末刊行の資料編の執筆に従事する。
近世部会執筆委員		

デザイン学部

デザイン学科教授 扇 千花

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
海外研修でFarnhamに滞在	2014. 4. 1 ～2015. 1. 9	University for Creative Arts Farnham, UK	
セミナー	2014. 4. 10	University for Creative Arts Farnham, UK	“Working with/in Japan II” で発表
講演	2014. 11. 5	Royal College of Art, UK	“Innovation of Traditional Textile” を講演
ワークショップ	2014. 11. 10	The Dartmouth Avenue Campus, Bath Spa University, UK	Paper making workshopを開催
海外研修でParisに滞在	2015. 1. 10 ～3. 30	Cité Internationale des Arts, Paris	
オープンスタジオ	2015. 2. 19	Cité Internationale des Arts, Paris	“tiny petals” を展示

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
客員教授	2014. 4. 1～2015. 3. 31	University for Creative Arts Farnham, UK

デザイン学科教授 片岡 祐司

1. 研究活動

2014年度自動車技術会春季大会 フォーラムの開催：世界の「運ぶ」を支える！これが働くクルマのデザインだ!! 一人・物・夢、働く車のデザインレシピー	2014. 5. 23	発表会場：パシフィコ横浜 アネックスホール 主催：自動車技術会デザイン部門委員会	日本の働くクルマはどのような経緯を経て今のデザインに到達したのか。世界中で活躍する日本の商用車はその環境にどのように対応しているのか。その市場性、歴史、デザイン開発現場の様子を知り、商用車の認知度を高め興味を喚起するためのフォーラム。 パネリストには日本の大型4社のトップを招いてプレゼンテーションとトークバトルを展開した。 企画：デザイン部門委員会 このフォーラムを2013年度幹事として企画運営した。
2014年度自動車技術会春季大会オーガナイズドセッション座長として開催：『カーデザインと市場ブランド』セッションNo73	2014. 5. 23	発表会場：パシフィコ横浜 会議センター 3F313+314 主催：自動車技術会デザイン部門委員会	ブランドと市場視点から見たカーデザイン技術の将来について論文を公募、論文発表大会を主催、この座長を務めた。 企画：デザイン部門委員会 このオーガナイズドセッションを2013年度幹事として企画運営し、座長を務めた。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等		g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目名 製品企画論A		プロダクトデザインにおける様々な仕事の種類を細かく説明し、今後の職種選択の参考となるよう講義を進めた。 講義形式は実際のメーカー内でのプレゼンテーションを模した形式で行い、リアリティーを持たせた。 また、カラーデザインについては自動車メーカーから現場のデザイナーを特別講師として依頼し、特別講義を開催した。
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイナーとしての経験を生かし、デザインの現場で何がどのように行われているのか、可能な限り最新の情報を元にリアルな講義を工夫した。	デザインの現場にできるだけ近似した内容のパワーポイントを毎回作成しこれを活用した講義。	
授業科目名 デザイン実技Ⅲ（PS）ID		デザインイベントや講演会、展示会などできるだけ多くに学外授業として参加した。 1.ウエルフェアの見学（ユニバーサルデザイン関連） 2.アクシスギャラリー『金の卵』展参加 後期授業ではカーデザインに集中したカリキュラムとし、より専門的な経験を積むことができるようカリキュラムを展開した。また、企業によるデザインの特別授業を積極的に取り入れ、卒業後の進路や、現場のデザインを理解できるよう配慮した。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイン表現力の向上を第1目標とし、スケッチ、レンダリング、モデリングを、実際に手を動かしながら指導を行った。 また特別公開講座によるスケッチセミナーにも授業として参加した。	プロデザイナーのスケッチやイメージボードなどできるだけ現場での仕事が体感できるような資料、情報を提供した。	
授業科目名 インターンシップ演習		実際の現場での体験を行うことにより、初歩的な職業的技能を身につけるとともに、社会人として働くことの意義を感じ取り、将来の職業選択や職業意識の育成に役立てることができた。また、各自の職業に対しての適正も確認することができるよう配慮した。この積み上げが成果をあげてきており、毎年インターンシップの希望者が増加してきている。
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
企業での職業体験を通し、実社会でのデザイナーとして働くために心掛けておかなければならないことを理解すると同時に、これに関する事前授業を行い、マナーやルールを指導した。	学生支援課と共同でインターンシップ企業に関する資料、マナーやルールについてのテキストを作成。	
授業科目名 卒業研究		最終学年の最後の作品として、調査から課題の発見、その研究に基づき、製品を開発するまで、プロとして生きていくためのデザインプロセスを体験させた。JIDA次世代委員会学生卒展訪問参加。
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
各学生の自主性を重視、より広い範囲にその課題を求め、実体験を積み重ねる中で課題を発見するように指導。	あえて、資料を用意せず、各自が自分自身の手で素材を発見することを求めた。	

3. 学会等および社会における主な活動

北名古屋市教育委員会 外部評価委員	2014. 4～2015. 3	北名古屋市教育委員会の外部評価委員会委員として、その業務、活動内容を点検評価し、報告書を作成し提出した。
----------------------	-----------------	--

1日芸大生	2014. 8. 3	小学生のためにデザインの実体験とおして、その楽しさを理解してもらうイベント。 IDコースでは、真空成型の実体験とこれにより出来上がるトレイを使ったゼリー作りを行い、これに講師として参加した。
自動車技術会デザイン部門委員会主催 『カーデザインに挑戦』 カーデザインコンテスト開催 ウェブサイト『カーデザインに挑戦』 運営	2012. 11～2015. 3	本イベントは、自動車技術会の育成事業として2012年度より開始し、中高生に向けて、カーデザインを通じたものづくりの魅力に気付いてもらい、プロを目指す道筋をガイドし、将来性のある人材の発掘・育成に取り組もうと始めたもの、これをデザイン部門委員会幹事として主催。 カーデザインコンテストはこのイベントとして開催、本年度で3回目。
日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA) 主催『卒業制作展訪問』	2015. 1～3	会場：各大学卒業制作展会場 主催：日本インダストリアルデザイナー協会 中部ブロック委員としてデザイン系大学、専門学校の卒業制作展を訪問、学生のプレゼンテーションを受け作品を評価。JIDA賞を授与した。
自動車技術会 デザイン部門委員会	2002～ 2002～2005 幹事 2012～2013 幹事	◇活動の目的 ・ものづくりの源流にたずさわるカーデザイナーが広く自信と存在感を示すための環境作り。 ・未来を担う若年層に向けてカーデザインの意味や重要性を伝えカーデザイナーへの動機付け。 ・日本の自動車産業におけるカーデザインの重要性をアピールし、カーデザイナーの社会的地位の向上。 ・カーデザイナーだからこそ実現可能なユーザーと技術者のパイプ役。 ◇活動内容 ・シンポジウム、フォーラムの開催 ・デザイン講習会開催 ・技術者との交流会 ・基準統一に関する働きかけ ・キッズエンジニア デザインイベント主催 ・中高生向け『カーデザインに挑戦』主催
日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA)	2006. 4～	中部ブロック委員として総会、セミナーなどの開催、次世代委員会委員として若手や学生の育成を目的としたイベントへの参加。

デザイン学科教授 久野 利博

1. 研究活動

名古屋芸術大学教員展	2014. 6. 13 ～6. 18	名古屋芸術大学 アート&デザインセン ター (北名古屋市)	名古屋芸術大学美術学部、デザイン学部教員 の作品展示。
デザイン学部クラフトブ ロック 企画「素材」展	2014. 7. 25 ～8. 6	名古屋芸術大学 アート&デザインセンター (北名古屋市) X棟1F和室、茶室	メタル&ジュエリーコース、テキスタイル コースの学生、教員による展覧会。
企画展 名品コレクション展Ⅱ	2014. 9. 6 ～10. 26	名古屋市美術館 常設室	常設展示室にて現代の美術：1970年代-80年 代の美術、写真（BODY DISTANCE）展示。
企画展 久野利博展	2014. 11. 18 ～11. 28	名古屋芸術大学 西キャン パス G棟102教室およ び通路	G棟102教室、通路にてインスタレーション。 企画、運営/名古屋芸術大学美術学部美術科 美術文化コース、森下未由記、古屋なみか、 鈴木麻斗香
原風景を追って 中村英樹氏と久野利博氏に よる特別対談	2014. 11. 20	名古屋芸術大学 西キャン パス B棟2F大講義室	

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 デザイン実技Ⅲ (Cr) CMD		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
環境造形の視点から、金属の特性、造形 力の基礎を学ぶ。	ランドアート関係の本、リチャード・セ ラ/アンソニー・カロ他、DVD。	
授業科目名 デザイン実技Ⅱ (Cr) CMD		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
鉄の溶接技術を習得（鉄を加工しなが ら、美しいカタチを探す）。	現代美術、建築関係のビデオ、DVD。	
授業科目名 デザイン演習Ⅱ-2 (Cr) CMD		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
インスタレーションから、素材と空間に ついて体験させる。展示方法について学 ぶ。	DVD（建築、現代美術関係、クラフト） などから展示方法。	
授業科目名 クラフトデザイン演習（大学院）		
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
素材、空間をキーワードに、クラフトの 世界と現代美術について作家論を講義す る。	DVD（建築、工芸、現代美術）、他。	

3. 学会等および社会における主な活動

北名古屋市社会福祉協議会 マスコットキャラクター募集事業の審査委員	2014. 9. 26	北名古屋市社会福祉協議会本所にて、マスコットキャラクター選出にあたっての審査。
--------------------------------------	-------------	---

デザイン学科准教授 瀬田 哲司

1. 研究活動

第33回JAMA創作メダル彫刻展	2014. 6. 29 ～7. 6	東京都美術館	展覧会 (メダル)
第33回FIDEM ART MEDAL CONGRESS—SOFIA	2014. 9. 2 ～9. 6	Grand Hotel, Sofia他	ワークショップ、レクチャー
第33回FIDEM ART MEDAL CONGRESS—SOFIA	2014. 9. 3 ～9. 28	National Archeological Museum in Sofia	展覧会
An old itinerant buddhist was doing yard cleaning He was injured to his head 3 months ago August 2 / I received an e-mail from Netherlands. We will meet at Sophia in September. August 4, 2014 21:19:51 JST	2014. 10	MUSEUM Beelden aan Zee (オランダ)	美術館作品収蔵 (メダル)
私の庭	2014. 10. 13 ～12. 28	TIME & STYLE RESIDENCE [二子玉川]	展覧会 (メダル、オブジェ)
クリスマスフェア2014	2014. 12. 4 ～12. 22	GALLERY TAGA2	展覧会 (メダル、オブジェ)

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 立体造形 / 多面体と植物	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
授業科目名 金属技法材料	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
金属の特性、金属加工の技法について実技の授業のなかで使用頻度の高い「金属の熱処理」と「金属溶解時の注意点」について重点的に解説。伝統工芸の制作ビデオを上映し伝統的な技術が科学的な裏づけと一致することを確認する。銅板加工、着色等のワークショップで実際に体験し理解を深める。	教科書「工芸家のための金属ノート」鹿取一男著 技術アグネセンターDVD「極める」

授業科目名 デザイン演習I(Cr)CMD / 複製 集積 反復 増殖	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
1. プレーンストーミング/古典、近代を問わず過去の美術作品のなかから「複製 集積 反復 増殖」のどれかに合致するイメージを探す。2. 型取りワークショップ/石膏型取りの技法を学ぶ。3. 1,2.の学習を基にオリジナルの作品を制作する。	
授業科目名 デザイン実技II-1 (Cr)CMD (鑄造実習初級)	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
蠟型精密鑄造、砂型鑄造の基本的な技術を習得し自身の制作に活かせるようにする。	
授業科目名 デザイン実技III-3(Cr)CMD (メダル制作)	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
2年次、鑄造実習初級で学んだことをもとに各自の作品としてメダルを造る。海外のメダル展などにも積極的に参加する。	
授業科目名 デザイン実技IV(Cr)CMD	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
学生各自の計画をもとに卒業制作に繋げられるように個別指導する。アイデアの発展のしかた、制作技術等について指導。	
授業科目名 卒業研究 (デザイン) CMD	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
学生各自の計画をもとに個別指導する。アイデアの発展のしかた、制作技術、時間配分などについて指導。	

3. 学会等および社会における主な活動

FIDEM(Fédération Internationale de la Médaille d' Art) (国際美術メダル連盟)	2010～	Vice deligate of Japan
JAMA (Japan Art Medal Association) 日本藝術メダル協会	2010～	理事 (国際担当)
BAMS (British Art Medal Society) 英国美術メダル協会	2010～	会員

1. 研究活動

◎展覧会			
phono/graph 東京展	2014. 5	ギンザ・グラフィック・ギャラリー 銀座	phono/graph東京巡回展。 これまでの作品展示と、写植機をテーマにした「photocomposer」を新たに制作。 photocomposer（写真植字機）とは写真技術を応用し、光を使って版下をつくるタイプライターである。この作品は、観客がカメラ(iPad)を手に持ち、移動させながら文字を選んでいく。カメラの目を通して文字を決定し、シャッターを切る。ここで再現される写真植字機の操作はカメラで撮影する操作と重なりあうインタラクティブ作品。コンセプト、撮影、制作担当。
連茎する現代アート	2015. 2	名古屋市芸術創造センター	愛知県立芸術大学、名古屋造形大学と本校の卒業性、教員による展覧会。デザイン学部教員の水内智英講師、駒井貞治准教授と共同で「待つということ」をテーマに映像インスタレーションを制作した。
APPLE+ 三木健 学び方のデザイン 「りんご」と日常の仕事	2015. 3	ギンザ・グラフィック・ギャラリー 銀座	グラフィックデザイナー三木健氏による『学び方のデザイン「りんご」と日常の仕事』展においてインタラクティブコンテンツを制作。
phono/graph 神戸展	2015. 3	神戸アートビレッジセンター	phono/graph神戸巡回展。 これまでの作品展示と、シルクスクリーンを使用した作品「note」、「Scrach Music」を制作。期間中イベントとしてサウンドパフォーマンスを行った。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 デザイン実技Ⅲ	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>「メディアをデザインする」ことをキーワードに、メディアの定義や過去にどのようなメディアが存在したかのリサーチや再評価をおこなった。</p> <p>いままであまりメディアとしての位置づけをされていない事柄に「メディア」としての評価を与え、作品/プロジェクトとして制作することで、新旧のメディアのありかたに対する認識を広げることを目標とした。</p>	
授業科目名 デザイン実技Ⅳ	

◆前期 □後期	
「ブレ卒業制作」において独自主題による制作プロセスの確認と後期の卒業制作に向けての準備を行った。	
授業科目名 デザイン実技 I	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「あなたの素材観（感）」をテーマに、デザインワークに必要なプロセスの基本を習得するため自らが選んだテーマでスケッチ、メモ、写真などで調査し、編集して一冊のブックとして作り上げていく。また取材結果や完成したブックを発表することによってプレゼンテーション能力を身につけていくことにも重点を置いた。	
授業科目名 デザイン概論	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
デザイン学部1年生を対象にした本講座は、デザインに対する多様な表現方法を理解し、視野を広げることを目的とする。デザインしていくことに必要な好奇心や探究心を養うため、毎週各専門コースの教員によるローテーション形式の講義になっている。	
授業科目名 卒業研究	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
各表現領域におけるメディアの構造をハード面、ソフト面双方から分析し、その結果を各自が表現したい分野に応用し制作物に反映させ、卒業制作を進めていった。	
授業科目名 デザイン実技 II	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「映像をデザインする」というテーマで映像作品の制作と同時代および過去の優れた映像表現の鑑賞と学習。その上で自己の適性を把握し、今後の制作の基盤を形成していけるよう進めた。制作においては、人と人が共に仕事をするために必要なルールやコミュニケーションを重視した。	映像編集ソフト

授業科目名 デザイン実技Ⅲ	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>これまでに身につけた知識と技術をより展開するかたちで、Webや動画などタイムベースのメディアをデザインする技術と方法を学ぶ。</p> <p>6週間で主なWebサービスの概要や利用方法を学び、次の6週間は映像を中心とするコンテンツの製作をおこなう。</p> <p>残りの3週間は、レビュー展示や各自のポートフォリオ制作に取り組み、多様なメディア表現を習得することを目的とした。</p>	映像編集ソフト

3. 学会等および社会における主な活動

デザイン学科講師 永井 瀧登

1. 研究活動

社団法人 日本サインデザイン協会	2014 通年		中部地区幹事として活動、新規事業委員も兼任
社団法人 日本グラフィックデザイン協会	2014 通年		大学関連委員として活動
中部クリエイターズクラブ	2014 通年		大学関連委員として活動
Peace creators in Nagoya (通称PINの会)	2014 通年		実行委員、出展者として参加
Digitized Editorial Typography Survey	2014 通年		本学2年実技授業。日本芸術デザイナー学院1年実技授業で実施。
協同組合愛知デザインユニオン	2014 通年		理事
中部デザイン団体協議会	2014 通年		サインデザイン協会より役員選出(新規事業委員会)
日本デザイナー芸術学院	2014. 4~		非常勤講師、エディトリアルサーベイ、冊子創作、オーサリング制作担当
株式会社 大額	2014 通年		結晶写真からのデザイン制作が商品として採用、全国で販売
名古屋芸術大学 VDコース「ナゴヤ展」	2014. 1	アートスペースエーワン	VDコース3年生「ナゴヤ展」担当
名古屋芸術大テレビ愛知産学連携 ツタンカーメン展街頭広告	2014. 1~5	名古屋駅前ナナちゃん人形	イベント広告の受託研究 担当教員(イベント中止の為、制作のみ)
デザイントリプレックス	2014. 2	国際デザインセンター	実行委員として展覧会、講演会担当
北名古屋市官学連携 北名古屋健康ドーム館内上映映像制作	2014. 4	北名古屋健康ドーム	イベント映像、サウンド制作
特別客員教授 檜原由比子氏招聘	2014. 4~7	名古屋芸術大学	4年生実技授業にて実施、担当教員

津島市官学連携活動	2014. 4～9	名古屋芸術大学 津島市	津島市内各所をヴィジュアル展開する企画を立案し実施
山崎晃氏招聘	2014. 4	名古屋芸術大学	広告表現論特別講義講師として招聘
ポッカサッポロフード株式会社受託研究	2014. 5～7	名古屋芸術大学駅前自動販売機	自動販売機ラッピングデザイン 担当教員
坂上博氏招聘	2014. 5	名古屋芸術大学	広告表現論特別講義講師として招聘
名古屋芸術大学教員展	2014. 6	アートアンドデザインセンターBEギャラリー	B1ポスター 2点出展
NTTドコモ	2014. 7	名古屋芸術大学	広告表現論特別講義講師として招聘
㈱デンソー デザイン部	2014. 7	名古屋芸術大学	広告表現論特別講義講師として招聘
産学協同事業 シヤチハタスタンプ印面デザイン	2014. 8～12	名古屋芸術大学、シヤチハタ㈱プレゼンルーム	3年生VDにて実施。担当教員
Peace creators in Nagoya (通称PINの会)	2014. 8	Love&Peace展に参加 (名古屋市民ギャラリー栄)	B1ポスター 1枚、オリジナルカンパッチ制作・展示、販売。韓国のグラフィックデザイナーと交流。
刈谷市受託事業	2014. 10～9	刈谷市児童施設各所	受託事業として紙芝居制作 担当教員
ジャグダ愛知会員展	2014. 10	セントラルアートギャラリー	B1ポスター、ポストカード出展
SaveMe展	2014. 10	国際デザインセンター	名古屋芸術大学担当教員
ジャグダ愛知サンデースクール	2014. 11	國盛 酒の文化館	本学担当教員
科学でデザイン	2014. 11	津島市児童科学館（常設展示）、イベント実施	自然科学、音響学を活用した芸術表現の研究、児童教育への応用B1ポスター 1点、写真12点、映像、音響作品展示、ワークショップ開催

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 広告表現論		平成19年度より、研究助成を受け、Digitized Editorial Typography Surveyを授業で展開するとともに、サーバ構築を行っている。2011年より日本芸術デザイナー学院実技でも実施。2012年より本学では非常勤講師杉井氏に担当を依頼
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
広告表現に関わる知識、技術を向上できるように、様々なエリアからの外部講師を招き、広告表現、デザイン構築までの一連の講義・講義内容に基づくワークショップを連動して行い、知識を表現に活用できるように工夫した。	教材・資料等は自作	
授業科目名 デザインと文化2		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
一年生を中心に広範なデザイン領域を示唆する内容、それぞれの専門領域の外部講師招聘など。		

授業科目名 デザイン実技III-2 (MC) VD	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
津島市との官学連携活動として「つしま ビジュアル計画」を実施。連携活動を通 じて、リサーチ、企画立案、表現案の 構築、展示までの一連のデザインプロ セスの修得の向上を図れるよう工夫した。	教材・資料等は自作（レポート用紙20頁 相当）
授業科目名 デザイン実技IV-2 (MC) VD	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
特別客員教授檜原由比子氏を招聘し、 「日本のスイーツ」をテーマとしたブラン ディング、ディスプレイデザインの構築 を行った。	教材・資料等は自作（レポート用紙5頁 相当）
授業科目名 デザイン実技I F3	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ビクトグラムを用いた表現案の制作を行 い、平面系デザインの基礎領域の修得を 図るとともに、テーマをデザイン化してい くプロセス、それに伴う周辺領域の知識、 技術の修得を行いやすいよう工夫した。	教材・資料等は自作（レポート用紙10枚 程度）
授業科目名 デザイン実技II-1 (MC) VD	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
四季を題材としたB3カレンダーの制作 を行い、課題を通じてテーマからのヴィ ジュアル表現、写真、CGなど表現に関 わる技術を体系的に修得できるよう工夫 した。	教材・資料等は自作（レポート用紙10頁 相当）
授業科目名 デザイン実技III-4 (MC) VD	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
VDコース企画展「ナゴヤ展」を通じ、 企画立案から表現まで、一連のプロセス を修得できるよう、進行を工夫した。	教材・資料等は自作（レポート用紙20頁 相当）
授業科目名 デザイン演習II-2 (MC) VD (ナゴヤ展、シヤチハタ(株)産学連携事業	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
前期に修得したマーケティング、企画立 案の応用を行うべく、シヤチハタ(株)との 産学連携事業によるスタンプ印面デザイ ンの企画立案、ナゴヤ展プロモーション 計画の実施を行った。	教材・資料等は自作（レポート用紙10枚 程度）

授業科目名 卒業研究（MC）VD	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
最終学年の後期授業として4年間大学で行ってきた制作活動のまとめを行うと共に、自身のデザインへの取り組み、社会とデザインとの関わり、それらを主体にした今後のデザインに対する展望、目標の見直しを行えるよう工夫した。	教材・資料等は自作（レポート用紙30頁相当）
授業科目名 エディトリアルサーベイ セルフプロモーション	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
日本グラフィックデザイナー芸術学院にて、本学でも実施しているエディトリアルサーベイを展開した、3コース合同授業として展開したため、講義の効率化が図れるよう教材を強化した。	教材・資料等は自作（レポート用紙30頁相当）
授業科目名 GDデザイン制作	
■前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
日本グラフィックデザイナー芸術学院にて、編集デザインの技術修得としてフリーペーパー制作を行った。編集デザインの基礎、冊子としてのまとめまでわかりやすく修得できるようステップに分け実施した。	教材・資料等は自作（レポート用紙10頁相当）

3. 学会等および社会における主な活動

中部クリエイターズクラブ	2001～	大学関連担当として活動。ポスター展出展など
Peace creators in Nagoya	2000～	実行委員として活動。代表メンバーとしてアジア地区との交流展など積極的に活動
中部デザイン団体協議会	2001～	H18年より中部クリエイターズクラブより役員選出（20周年記念特別委員会、新規事業委員会）ポスター展出展、IdcN20周年記念事業実行委員など
社団法人 日本グラフィックデザイナー協会	2001～	中部地区幹事、サンデースクール講師、本学ジャグダ新人賞公開講座担当、ポスター展出展など
協同組合愛知デザインユニオン	2011～	理事として活動
津島市市民協働研究	2011～	官学連携活動として「つしまヴィジュアル化計画」を実施、担当教員。研究内容が中日新聞に掲載
北名古屋市	2014. 4	健康ドームイベント映像制作
ボッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社	2014. 5～7	受託事業を実施、担当教員

刈谷市受託研究	2014. 10～12	受託事業を実施、担当教員
社団法人 日本サインデザイン協会	2007～	中部地区幹事として参加
シヤチハタ株式会社	2010. 5～	産学連携活動を実施

デザイン学部教授 萩原 周

1. 研究活動

携帯電話基地局・中継局景観への視点	2014. 6. 13 ～18	教員展（名古屋芸術大学 ギャラリーb）	（既存研究の再展示）携帯電話普及によって都市部、山間部を問わず林立する携帯電話基地局の存在はもはや日常的な風景になりつつある。そうした実態を観察し、その実態を捉えようとする試みを作品化したものを展示。
口頭発表：地域における新しい関係創出手法としての映像利用	2014. 7. 6	日本デザイン学会 第61 回研究発表大会 セッションID: C1-01 共同研究者：水内智英、 中村真梨子、萩原周	2012～14にかけて実施された大学周辺地域を対象としたデザインプロジェクトでは、いずれも学生取材による映像制作が大きな役割を果たした。本研究では地域プロジェクトにおいての人と人との関係性を創出する手立てとしての映像制作手法の有効性を一連のプロジェクトを対象に再検証し、そのその意義と展開可能性について取りまとめ口頭発表した。（代表発表者：水内）
研究助成を受けた研究のための取材：「国内外におけるデザインファンデーション教育の実態調査・検証、及びその将来的展望に関する研究」	研究取材実施日： 2014. 6. 16、 8. 11 ※研究のまとめの発表は2015年10月を予定	取材地：神戸芸術工科大学、広島市立大学	本研究は、国内外の様々なデザインファンデーションプログラムの事例研究を通じ、デザイン基礎教育の実態を俯瞰し検証する。併せてその結果から、今後のあるべきデザインファンデーション教育の展望を描くことを目的にしている。本年度は特定大学の取材を中心に研究を進めている。
寄稿 「常滑の丘に“ちょうど良さ”を訪ねる」	2015. 1. 1発行	常滑フィールド・トリップ2014報告書/発行：常滑フィールド・トリップ実行委員会	今回で開催7回を数える常滑フィールド・トリップについて2014年の展示を訪れた印象を短文にまとめ寄稿した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 特別客員教授 服部滋樹 特別授業		あしかけ3年にわたった本企画は、大学が地域にある意味を問うひとつの大きな実験であり、また実証でもあった。また広くデザイン分野では、ソーシャルデザインの名の下で、従来の表面的な町おこし的なアプローチではない、そこに住まう人びとや文化にとって幸福な未来を描き出そうとする試みが全国的な規模で広がっている中、今回の本学の試みは、デザイン分野全体にとっても意味ある企画となった。それを本学学生と教員が心血を注ぎ作業し、関係性構築の現場に立ち会うことができたことはデザイン教育にとっても非常に幸福な時間となったはずである。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイン学部SD,DMコース学生を中心とする運営母体を組織し、ここ2年のわたる服部滋樹氏を招いての地域プロジェクトの集大成としての企画を指導、監督した。これまでの活動で大学周辺地域から得られた地域資源（人、もの、こと）を生かしたゲストハウス企画を立ち上げ、学外での調査、および企画の実施に即した展示、宿泊空間仮説工事、体験宿泊等を行った。		
教材は、ここ2年間で大学周辺を取材し集められた地域資源。仮説のゲストハウスは本学が所有する旧徳重ビジネスホテルの客室をリデザインした。地域住民も交え広く公開したオープンハウスで供された食事の食材も、地域の店舗や個人、土地から調達したものを使用した。名古屋大学クラスギャラリーでの展示も含め、取材ドキュメント映像、企画を紹介するパネル、パンフレット等の制作を行った。		

3. 学会等および社会における主な活動

子ども向けワークショップ「昆虫をつくる」の実施	2014. 6. 21	五条小学校子ども会を対象に、昆虫をモチーフにその形態や色等の要素を自由に設定した条件から発想するという内容で、教員2名（水内、萩原）、学生2名、助手1名によるワークショップを学内で実施。
講師 豊田市屋外広告物講習会	2014. 11. 21	豊田市役所（東庁舎7階大会議室）にて、豊田市内で屋外広告物制作企業として登録をしている受講生を対象に、屋外広告物の基本的な考え方や求められる施行内容について、実際に市内で取材した画像データ等も使いながら講義を実施。
おりもの感謝祭一宮七夕まつり 装飾委員会委員	2015. 1～7	オブザーバーとして委員会への参加、開催内容等への助言
日本デザイン学会	1986～	研究発表等
基礎デザイン学会	1998～	研究会参加等
野外活動研究会	2002～	研究会参加等

デザイン学科講師 丸岡 慎一

1. 研究活動

なかとさ大学	2014. 4～7	高知県中土佐町 観光物産センター	地域振興を根本的に問い直すことを目的とした活動。経済や人口減少問題に回収されずに、シビックプライドの醸成や地域の連帯が可能か模索した。
森to光	2014. 7～10	高知県中土佐町大野見 「ウエルネス四万十」	大野見地区で生産される米のパッケージデザイン。 四万十川源流で採取される「四万十の水」ペットボトルとのセット販売。超軟水で炊く美味しいお米と清流のイメージを届けることを目的としたブランディングを行った。
現代地方譚2 「KAMINOKAE」	2014. 9. 27 ～11. 3	高知県須崎市 すさきまちかどギャラリー	現代地方譚2 アーティスト インレジデンス須崎に参加し、作品を展示した。
現代地方譚2 ワークショップ 「はくらの旗をかかげよう」	2014. 10. 18	旧須崎保育園（須崎市南 古市町）	高校生対象のデザインワークショップ。シンボルマークやロゴ、国旗などの意味や考え方を紹介し、デザインの本質を探った。自分たちの「旗」を制作することで、デザインのプロセスを学ぶ。

上ノ加江ラボ	2014. 9 ～2015. 3	高知県中土佐町 上ノ加江集落 上ノ加江公民館	「なかとさ大学」の活動を、発展的に展開した地域活動。なかとさ大学が町の中心地、久礼地区中心であったのに対し、さらに僻地である上ノ加江集落で活動を行った。「フラッグスケープ」を元にする事で、多くの住民が何らかの形で参加をしている「上ノ加江の旗」を制作した。 経済や人口減少問題に回収されないシビックプライドの醸成と地域の連帯に対して、一つの解答を出すことができた。
--------	---------------------	------------------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

デザイン学科講師 水内 智英

1. 研究活動

[ヴィジュアルアイデンティティデザイン] たきこ幼児園ヴィジュアルアイデンティティ	2014. 4	たきこ幼児園 / 社会福祉法人NUA	新設幼児園のためのアイデンティティ構築の一貫として、ロゴタイプ、名刺、封筒等の関連ツールをデザイン。
[ヴィジュアルアイデンティティデザイン] 「地域しあわせラボ」ビジュアルアイデンティティ	2014. 4	issue+design / hakuodo i+d	hakuodo i+dが行う「地域みらい大学」内の「地域しあわせラボ」のヴィジュアルアイデンティティを制作。
[寄稿] Representation of 5	2014. 6. 27	5 Designing Media Ecology [5] 編集室発行	様々な[5]に関わる情報をインフォメーショングラフィックスとして表現。宮田雅子、南部隆一との共同制作。
[デザインプロジェクト企画実施] 「このひとと 一土と人のデザインプロジェクト2013」	2014. 7 ～2015. 3	名古屋芸術大学近隣地域 / 名古屋芸術大学デザイン学部	特別客員教授として招聘した服部滋樹氏と共にを行った大学周辺の地域をリサーチし、ゲストハウスを制作することで、地域内外のつながりを生むプロジェクト。
[研究発表] デザイナー、建築家によって可視化された未来構想の図化	2014. 7	ヴィジュアルリテラシー国際シンポジウム「デザイン行為がリテラシーをつなぐ」名古屋大学大学院情報科学研究科情報文化学部	建築家やデザイナーらによって可視化されてきた未来構想の図を収集し、ダイアグラム化することにより、思想的系譜やその図的影響関係を探った。堀田咲良との共同発表。
[研究発表] 「地域における新しい関係創出手法としての映像利用—リサーチから映像上映までのプロセスがもつ関係構築的側面」	2014. 7	日本デザイン学会第61回春期研究発表大会	地域社会に関わるデザイン方法論として、関係構築手法としての映像制作とその利用プロセスについて、事例検証・考察を行った。中村真梨子、萩原周と共同発表。
[情報誌装丁] 「ローカルハッピーネス No.1—しあわせな地域ってどんなところだろう?」	2014. 8	issue+design / hakuodo i+d 地域しあわせラボ	地域しあわせラボ研究レポートとして発行された情報誌のアートディレクションを行った。

<p>[情報誌装丁] 「ローカルハピネス No.2 —ひとはつながるとしあわせなのか?」</p>	2014. 9	issue+design / hakuhoodo i+d 地域しあわせラボ	地域しあわせラボ研究レポートとして発行された情報誌のアートディレクションを行った。
<p>[アドバイザー] 愛知地域づくり連携大学</p>	2014. 10～11	愛知県、愛知県立大学、公益財団法人愛知県市町村振興協会主催	愛知県立大学と名古屋芸術大学の学生、愛知県内市町村職員が参加し、北名古屋市をテーマとした地域づくりについて学ぶ連続講座のアドバイザーを務めた。
<p>[パンフレット制作] 滝子幼稚園案内</p>	2014. 10	名古屋自由学院 滝子幼稚園	滝子幼稚園の案内パンフレットを制作した。
<p>[展覧会企画実施] 「デザイン学部特別客員教授展 —多彩なデザインの現場から」</p>	2014. 10	名古屋芸術大学アート&デザインセンター	名古屋芸術大学デザイン学部が招聘した3人の特別客員を紹介する展示のマネジメントに加え、とりわけ服部滋樹客員教授指導のもの行われたデザインプロジェクト紹介パートの展示企画、実施。
<p>[情報誌装丁] 「ローカルハピネス No.3 —しあわせな地域には何が あるのか?」</p>	2014. 10	issue+design / hakuhoodo i+d 地域しあわせラボ	地域しあわせラボ研究レポートとして発行された情報誌のアートディレクションを行った。
<p>[情報誌装丁] 「ローカルハピネス No.4 —働き、産み、育てるしあわせ。女のしあわせ。」</p>	2014. 11	issue+design / hakuhoodo i+d 地域しあわせラボ	地域しあわせラボ研究レポートとして発行された情報誌のアートディレクションを行った。
<p>[モデレーション] ユネスコ・デザイン都市なごやフォーラム「持続可能な未来のためのデザイン」</p>	2014. 11	ESDユネスコ世界会議併催イベント/ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会	ESDユネスコ世界会議に併せて行われたフォーラムのモデレーターを務めた。
<p>[展覧会企画実施] 「土と人のデザインプロジェクト展2014」ゲストハウスをつくる。</p>	2014. 12. 1	名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」	名古屋芸術大学で行った、地域と共にゲストハウスをつくりあげるプロジェクトを映像、実物大の空間、パネル等で展示。
<p>[寄稿] “5” in transformation</p>	2014. 12. 12	5 Designing Media Ecology 『5』編集室発行	様々な[5]に関わる情報をインフォメーショングラフィックスとして表現。宮田雅子、南部隆一との共同制作。
<p>[情報誌装丁] 「ローカルハピネス No.5 —一人はしあわせを求めて 移り住むのか?」</p>	2015. 1	issue+design / hakuhoodo i+d 地域しあわせラボ	地域しあわせラボ研究レポートとして発行された情報誌のアートディレクションを行った。
<p>[ヴィジュアルアイデンティティデザイン] 地域創生スクール</p>	2015. 2. 1	issue+design / hakuhoodo i+d 地域創生スクール	慶応大学大学院、hakuhoodo i+dが行う「地域創生スクール」のロゴタイプ、チラシ等のヴィジュアルアイデンティティを制作。
<p>[美術作品] 待つということ</p>	2015. 2. 17	REN-CON ART PROJECT 名古屋市芸術創造センター	「待つということ」をテーマに空間—言葉—映像を融合させた作品を制作。駒井貞治、竹内創との共同制作
<p>[レクチャー] デザインで街づくりはもっと活気づく</p>	2015. 2. 23	北名古屋市役所	デザインがどのように地域づくりへ効果を発揮できるのか、主に北名古屋市職員を対象にした講演会を行った。

[研究発表] 地域の価値を顕在化しつつな がりを醸成するデザインマ ネジメント	2015. 3. 30	日韓アートマネジメント シンポジウム	地域の価値を発掘し、地域内外のつながりをつくるためにどうデザインマネジメントを行うことが可能か、実例を踏まえ発表。駒井貞治との共同発表。
--	-------------	-----------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 デザイン理論		多様な学問領域と重なりながら広がるデザイン理論を様々な角度から捉えられるよう、近代デザイン思想、経験、テクノロジー、エコロジー、認知・行動、コミュニケーション、文化形成など、それぞれ異なったテーマを立て、それらに沿って具体的な理論や事例を交え解説した。
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要 授業の最後にその時間の内容と関連するテーマでミニレポートを書く時間を作り、書きながら考える体験を積み重ねられるようにした。また、授業最初には前回のミニレポートの中から数点を紹介しながら、関連する視点や事柄についてさらに解説を加えることを繰り返し行った。また、新たに「経済とデザイン」という授業回を加え、より広くデザインと経済との関係を考える機会を設けた。	教材・資料等の概要 難解な理論もできるだけ身近に感じられるよう、画像を多く使ったスライドを毎回用意し、新たに映像資料も講義に加えた。興味を持った理論を学生自身が引き続き探求できるよう、授業で扱ったテーマごとの参考書籍リストを作成した。	
授業科目名 コミュニケーション論		前半の授業では、コミュニケーションの基礎理論を扱い、根本的なところからコミュニケーションとは何かを考察し、コミュニケーションデザインへのより深い理解へと繋げた。授業の後半では、そのコミュニケーションデザインをどのように地域コミュニティのために活用することができるのか、社会的背景や具体的な事例を通じて解説した。
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要 できるだけ最新の具体的な事例を使い、コミュニケーションや地域に関わるデザインについて理解を深められるようにした。また、新たに3回の授業回を使い、視覚化の概要と歴史、その手法、視覚化の現在について解説する回を設け、デザインや美術とコミュニケーションの関わりをより身近に感じられるようにした。	教材・資料等の概要 授業内容が身近に感じられるよう、画像中心のスライドを毎回用意した。加えて、効果的に映像資料も使用した。特に現在進行形で行われている事例については刷新し、各授業回に加えた。	
授業科目名 デザイン概論		デザイン学部1年生を対象にした本講座では、「デザイン」に対するより広い視野を獲得することを目的とした。加えて1年次の基礎授業が2年次以降の専門性とのどのように繋がっているのか意識的に理解し、2年次以降のより具体的な進路選択に活かすことも意識させた。講座の後半では、オープンディスカッションや先輩によるトークも交えて展開した。
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要 受講生が毎回レポートで各授業を振り返る機会を設けたことに加え、初回授業ではレポートの書き方について解説を加えた。またオープンディスカッションの授業回を設定し、直接受講生の考えを全員で共有できる時間をつくった。また、各コースとは直接結びつかない領域とデザインとの繋がりについて学ぶ特別回も用意し、よりデザインを幅広く考える機会をつくった。	教材・資料等の概要	

授業科目名 デザイン基礎演習B-2		地域をリサーチし、畑を耕し、作物を育て、料理を考案する。それら全ての要素の集積として、地域の様々な要素が可視化された「食事」を作り出すことを試みるプログラムを行った。それにより様々なデザイン分野を横断する一連の作業を体験し、またデザインが多様な要素から成り立生活のそれぞれの場面を支えていることを体験的に理解することを目標とした授業構成とした。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
それぞれの段階毎に順序を追って、学生自らがアイデアをつくり出し、それを試行錯誤できるよう、各授業回毎にテーマを設定する授業展開を行った。	それぞれの授業回毎に設けられたテーマ毎にワークシートを用意した。テーマによって考慮する必要項目を理解し、グループ毎のディスカッションが具体的な計画へスムーズにまとめられるようにした。	
授業科目名 立体造形（回転体による成型実習）		デザイン学部一年次で実施するファンデーション（基礎実技）の専任として、課題内容、配布物、スケジューリングやスタッフイング、学生へのオリエンテーション等、総合的な視点からファンデーション管理運営に関わった。基礎実技の改定に向けた検討も同時に行った。また、新たに前後期にそれぞれ一回ずつ、グループワークでのワンデーワークショップの機会を設け、それぞれの回で新たな側面や方法を学ぶことのできる機会を設けた。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に、観察からイメージスケッチ、図面から回転体制作までのそれぞれの工程がどのような意味をもつのか理解できるよう指導した。	特に、観察からどのようにオリジナルの形態へとつなげられるか、例を示しながら解説した。また、各工程での注意点を具体的にデモンストレーションを通じて示した。	
授業科目名 デザイン実技I（F1）—あなたの素材観（感）		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に、自分独自の視点で編集できるよう面談を通じて学生の興味や視点を具体的に掘り起こす指導をした。	過去の参考作品を効果的に使いながら、どのように観察し、編集するのか実例を通じて指導した。また、基本的な製本についての理解を助ける資料を用意した。	
授業科目名 デザイン実技I（F2）—明かりのデザイン・私の店		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に、デザインアイデアをより質の高いものへ発展させられるよう、ユーザーや使用場所の特性に意識を向けるよう指導した。	最終的な作品制作の前段階としての、スケッチでのアイデア展開では、具体的な事例を例示しながら出来るだけ広くアイデアが広げられるようにした。	
授業科目名 デザイン実技I（F3）—廃品による素材体験		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に、手触りや素材の特性について意識的に関心が向けられるよう助言を行った。また、立体構成に苦手意識を感じている学生に対しては平面的な作業との共通点についても目が向けられるよう指導した。	毎回授業で使用するワークシートで自分の制作を丁寧に振り返る時間をつくった。	

授業科目名 デザイン実技Ⅲ-1 (LS)		実際の都市環境をフィールドとして読み取り、Atlas：地図帳を制作するという課題を通じて、フィールドワークを中心とした多様なリサーチ手法の習得と同時に、環境をより深い視点から分析し、その視点を編集し表示する方法を学ぶ。リサーチによって得られた視点と具体的なデザイン提案との間との関係を実際の提案作成作業を通じて意識化させた。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
特定のフィールドを設定して、丹念にフィールドワークを繰り返すことによって環境の特性を読み解き、より本質的な視点得るための方法を体験させた。また、フィールドワークを通じて見いだした視点を他者に伝わる表現として編集することを求め、またそこから更にグループワークを経て具体的なデザイン提案へと展開するという一連のプロセスを踏めるような授業構成とした。また、授業の前半と課題講評時に人類学を専門とする講師を招き、人類学的フィールドワークの視点も授業に取り込んだ。	デザインリサーチのためのフィールドワーク手順を簡潔にまとめた資料や、プレスト、シャッフル・ディスカッション、KJ法、ペルソナ手法、シナリオ手法などコンセプト立案のための手法をまとめた教材を用意した。また、課題書は授業の前後半のそれぞれの段階で学生が理解しやすいよう2つに分けて用意した。また、各課題で、作品アイデアを整理するためのワークシートを作成した。	
授業科目名 デザイン実技Ⅱ-3 (LS)		課題「If」では、身近なモノをとりまく「条件」を変化させることによって、どのようにその形態が変化するのか想像し、モノの形態が様々な関係性の上に成立していることを理解させた。課題「可能性発見からのデザイン」では、使用者によるモノの使用を分析し、その気付きからの制作を体験させた。それによって、環境や認知・行動に対する洞察力を伴った、環境やモノのもつ「可能性」からのデザイン発想の理解へとつなげた。
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
関連した二つの課題によって行った。課題「If」では、普段見慣れたモノに、ある「仮定」を設定した上でどのようにその形態を変化させることができるのか発想し、条件と形態との関連について意識的に考える機会をつくった。課題「可能性発見からのデザイン」では、モノの「可能性：意図されていない使われ方」に目を向け、モノと使用者との関係について意識的に考える機会をつくった。それら2つの課題によってモノをとりまく諸相についてより分析的に捉えられるよう指導した。	それぞれの課題では導入となるワークショップを用意してよりスムーズに課題に取り組めるようにした。また、if課題では具体的な仮定ストーリーを用意しより実感を伴ったデザイン発想へとつなげられるようにした。また、課題書は、課題を通じて何を理解し、どのような視点を獲得することが期待されるか明確に記したものを用意した。	
授業科目名 デザイン実技Ⅳ (LS)		卒業制作の前段階のリサーチワークとして、各自が設けたテーマについて、様々な角度から情報収集し、研究を多角的また、本質的に深める資料制作を課した。またその基礎的資料をもとに、編集を行い、一冊のリサーチ資料（情報誌）へとまとめる授業構成とすることで、自分の興味を社会的文脈に位置付けながら本質的に理解できるようにした。
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業各回毎に小テーマを設け、そのテーマに応じた事例や考え方、社会的背景を解説し、併せて、それぞれの個別テーマについて面談方法で個別指導にあたった。それによって、より広い視野と同時代的な観点を得られるよう工夫した。	参考書籍、インターネット資料、映像資料等、それぞれのテーマに応じて示した。	
授業科目名 卒業研究 (LS)		各自のテーマを具体的な作品制作へつなげていくために、個別指導を通じての指導へあたった。進捗状況を学年のメンバーで共有するため、各節目毎に合同プレゼンテーションの機会をもつよう、授業計画を立てた。
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
各学生が進める卒業研究を、他の学生間でも参照できるように、インターネット資料共有の仕組みを取り入れた。	参考書籍、インターネット資料、映像資料等、それぞれのテーマに応じて示した。	

授業科目名 デザインと文化1・2		主に1年生・2年生を対象にした本講座では、主に実践的に活躍する外部講師から講義を受けることで、デザインに対する視野を広げる、同時代のデザインが求める観点到に敏感になる、自らの具体的な将来像や目的を描くことに繋げる、ことを授業目標にしている。
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
広範囲に広がるデザインの領域をカバーするため、それぞれのコースから1名ずつ人選をお願いした。また、より現在の学びと将来像とが繋がっていることが実感できるように、卒業生にも積極的に登壇してもらった。		

3. 学会等および社会における主な活動

基礎デザイン学会	2010～	研究会参加・学会発表
日本デザイン学会	2011～	研究会参加
科学研究費補助金（基盤研究B）「大学におけるヴァジュアルリテラシー教育の実践とその基礎理論の構築」研究	2014～	研究会参加・リサーチ・研究発表等
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 FS研究「ローカル・スタンダードによる地域社会再生の実践と風土論の再構築」	2014～	研究会参加・リサーチ・研究発表等

デザイン学科教授 美和（津田） 佳紀

1. 研究活動

名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」記録誌「NAGOYA UNIVERSITY annual bulletin of clas 2013」	2014. 3	名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」記録誌「NAGOYA UNIVERSITY annual bulletin of clas 2013」	幸村真佐男作品展「People Gazing」の展評執筆
マスター to アーティスト（第25回）	2014. 7. 10	名古屋芸術大学グループ通信Vol28	過去の活動記録および誌上インタビューによる活動紹介
第5回きらりアート展（審査員）	2014. 10. 14	パレア若狭（福井県若狭町）	障害を持つ人や特別な支援を必要とする人や児童、生徒たちによる美術作品展の審査員を担当した

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 現代芸術とメディア		<p>本学音楽学部サウンドメディアコースとの共同作業として、『KALEIDOSCOPE 2015—Re-ver-th』(2015年2月22日本学東キャンパス 3号館ホールで開催)にデザイン学部、美術学部の学生による映像作品を楽曲のイメージ映像として制作するプロジェクトに取り組んだ。前期の映像演習の授業において音楽学部の教員による音と映像に関する解説をおこない、参加学生を募り、制作に参画する指導をおこなった。</p>
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
<p>本講義では、主として20世紀以降の絵画、彫刻、映像、メディアアート、建築、庭園などの成り立ちを、その背景となる社会との関係において分析している。今年度の授業では未来社会のコミュニケーションシステムと自我との関係を如実に示す題材として、スパイク・ジョーンズ監督による『her/世界でひとつの彼女』を選んだ。映画館での鑑賞後、現代から未来にかけてのコミュニケーションの変容について解説し、レポート、フリートークなどにより理解を深める工夫をした。</p>	<p>『her/世界でひとつの彼女』(2013年 スパイク・ジョーンズ監督・脚本)作品に関する資料プリント、および映像資料、関連作品データ等。また、作品鑑賞後に書くレポート等のまとめ。</p>	

3. 学会等および社会における主な活動

デザイン学科教授 和田 義行

1. 研究活動

産学協同プロジェクト	2014. 4. 24	小島プレス工業株式会社とのプロジェクト	新しいカーインテリア照明のあり方の提案をデザインプロセスから試作にいたるまでの過程を指導。
名古屋芸術大学教員展	2014. 6. 14 ～18	名古屋芸術大学A&Dセンター	産学協同プロジェクトのデザインプロセスから製品にいたるまでの過程を展示
国際交流子供芸術教室開催	2014. 7. 21	名古屋芸術大学U棟102教室	交換留学生、芸大生、と地域の小学生を招いて、絵を描くことを題材に外国語に接し、国際感覚やコミュニケーション能力を養うイベントを開催。
第9回金の卵展学校選抜オールスターショーケース展開催。	2014. 8. 28 ～9. 8	東京六本木アクシスギャラリー	社会の様々な問題をデザインの力で解決案を3年生に作品制作/プレゼンテーション、ポートフォリオ発表を行った。AXIS デザイン雑誌に掲載。
海外姉妹校提携校訪問	2014. 9. 14 ～9. 16	中国 上海	上海視覚芸術学院との姉妹校提携業務およびデザイン教員との交流、上海デザインセンターとの情報交換を行った。
産学協同デザインプロジェクト	2014. 9. 24 ～11. 12	名古屋芸術大学	ラッキー工業株式会社との産学協同プロジェクトを全デザインプロセスのディレクターを行った。
デザイン雑誌AXIS 本づくし	2014. 10. 1	デザイン雑誌AXIS Vol.173へ掲載	「未来のデザインリーダーを育てるために」ハルトムット・エスリンガー教授の本「形態は感情にしたがう」の書評を行った。
デザイン講演会開催	2014. 11. 14	名城大学駅前サテライトキャンパス	「産学協同から見えてくる新しいデザインコンセプト」をテーマに講演会を行った。

IDコースのOB/OG展開催	2015. 12. 4	名古屋芸術大学デザインX棟 シュミレーションルームで作品展示会開催	インダストリアルデザインコース卒業生をピックアップして作品展およびレクチャーの企画運営を行う。
西三河地区高文連美術展講評会開催	2015. 1. 27	岡崎市美術館	三河地区の高等学校美術展の各高等学校之作品の講評会を開催。
海外研究出張	2015. 3. 12 ～16	ベトナム ホーチミンシティー	運搬車や運搬道具のリサーチを行う。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 大学院 プロダクトデザイン演習		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザインコンペへデザイン力を使って社会へ提案できるテーマの方向性を講義と事例を基本にデザイン展開を指導した。		
授業科目名 デザイン実技ID3		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
全国デザイン系選抜作品展「金の卵」展へのプレゼンテーション指導とポートフォリオ指導を夏期休業期間に行った。		
授業科目名 デザイン実技PS2 ID		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザインスケッチの訓練から、アイデア展開できる能力を育成するため、解りやすく常に手の技術を訓練してデザイン展開できる工夫をした。		
モデリングテクニック		

3. 学会等および社会における主な活動

北名古屋市国際交流協会理事	2014. 4. 1～2015. 3. 31	国際交流イベント等企画、運営。
---------------	------------------------	-----------------

教養部会教授 荻原 雄一

1. 研究活動

共著 『夏日漱石外伝』	2014. 10. 19	菅虎雄先生顕彰会	「漱石の初恋と菅虎雄」
単著 『漱石の初恋』	2014. 12. 9	未知谷	

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当の有無 有 無

3. 学会等および社会における主な活動

1. 研究活動

【学術論文】			
Do young children have difficulty dissociating the weight of a photograph from that of the object depicted in it? —Children's understanding of the representational nature of photographs—	2014. 9	Proceedings of the 16th European Conference on Developmental Psychology (Pianoro, Italy: Medimond S.r.l), August, 2014. 97-100.	共著者：木村美奈子・加藤義信 本人は実験の計画、実施、分析、論文の執筆担当。 これまでの研究において、4歳児が写真に対して指示対象の重さの属性を付与する property realismの反応を行う可能性を示唆した（木村・加藤・瀬野、2010b）。本研究では、引き続きこの「重さ」のproperty realismの存在とその反応に影響を与える要因を調べる。具体的には、同じ大きさのフレームの2つの写真を天秤量りに載せたとき、子どもの反応が、指示対象の実際の大きさの違いと、写真画紙上の被写体の大きさの違いの2つの変数によってどのように影響を受けるかを検討した。
【学会発表】			
What factor is important in young children's judgment about the weight of a photograph? (国際学会ポスター発表)	2014. 9	The British Psychological Society Developmental Section Conference 2014. (Amsterdam, The Netherlands)	共著：木村美奈子、加藤義信 本人は実験の計画、実施、分析、論文の執筆担当。 本研究では、4歳児における「重さ」の property realism の反応に影響を与える要因を調べた。実験では、写真のフレーム、指示対象、被写体のそれぞれの大きさを変化させ、3つの要因のうちのどの要因が相対的に写真の「重さ」の判断に影響を与えるかをみた。その結果、写真画紙の大きさが一定である場合は、子どもは被写体の大きさに注意が向けられやすく、写真画紙の大きさが異なれば、その大きさ自体に注意を向けることができることが示唆された。
幼児は人形にどのようなリアリティを感じているか？—人形の種類による5歳児の反応の差異に注目した検討—	2014. 9	日本心理学会第78回大会発表論文集、p. 1088.	共著：木村美奈子、加藤義信 本人は実験の計画、実施、分析、論文の執筆担当。 本研究は、教員免許取得を目指す学生を対象にして、中学時代を振り返って答えさせた質問紙をもとに、教師のどのようなことばかけが生徒の学習意欲を高めたり、喪失させたりするかを調べた。また、学生らにとって、よい教師とはどのような教師であるか、悪い教師とはどのような教師であるかを記述させ、現代の若者の理想とする教師像を分析した。その結果、生徒と教師の人間関係の密度が学習意欲と関係しているという説を指示する結果となった。

<p>幼児は犬型ロボットと犬のぬいぐるみにどのようなリアリティを感じているか</p>	<p>2015. 3</p>	<p>日本発達心理学会第26回大会論文集</p>	<p>共著：木村美奈子、加藤義信 本人は実験の計画、実施、分析、論文の執筆担当。 犬のおもちゃが物質の温かさを触知し、それを他者に伝えることができると考えているか、子どもの認識を調べた。対象年齢は5～6歳児である。類似性の異なる3種類の犬のおもちゃを用意し比較した。その結果、おもちゃの種類に関係なく、おもちゃが温かさを触知し、その知識を保持できると考えている子どもは、そのように考えていない子どもより有意に多かった。おもちゃの種類による違いは見出されなかった。また犬のおもちゃが保持している知識を他者に伝達できると考えている子どもかは、どの種類のおもちゃでも半数を超えた。</p>
--	----------------	--------------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

<p>授業科目名 心理学</p>	
<p>◆前期 ◆後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>
<p>本講義は心理学の概念的な内容であり、様々な心理学分野から代表的な理論や研究、実験などを紹介している。授業では、学生の集中力を高めるために、いくつかの区切りを入れコーナーをつくり、学生自身が見通しを立てられるようにした。学生は作業をしたり、心理テストを行ったり、実際に実験に参加することで、心理学を身近に感じられるようにした。毎回、授業の最後には、学生に授業全体を振り返ることを促し、感想や質問を書かせ、次の授業の最初にコメントカード・コーナーとして、それらに答える時間を設けた。</p>	<p>全ての授業でパワーポイントを使用し、視覚的に飽きさせないような工夫をした。また、短いビデオ教材を豊富に使い、理解を深める助けとした。印刷資料もできるかぎり用意し、復習に使用できるようにした。</p>
<p>授業科目名 学習心理学</p>	
<p>◆前期 ◆後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>
<p>本講義は教職科目であるので、発達心理学の基礎から学習心理学まで、教師として学校現場で働くために必要な知識を身につけられることを目的にしている。そこで、実践的な力が身につくよう、具体的な場面で考えさせるような授業展開とした。また、教員採用試験も視野に入れ、試験に出やすい項目については、丁寧な解説を心がけた。</p>	<p>授業では毎回、パワーポイントを使用し、学生にはパワーポイントの重要項目を記入するプリントを作り、配布した。それによって、重要項目がわかりやすくなった。配布資料も毎回豊富に用意し、理解の促進を図った。</p>

授業科目名 教育相談	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
本講義も教職科目なので、実際に現場で役立つ知識を身につけさせることを目的として授業を行った。特に、学校で起きている不登校やいじめの問題では、学生らをグループ分けし、討論させ、教師としての対応を具体的に考えさせた。また、中高校生によくある悩みを提示し、アドバイスを考えさせる課題を課した。さらに、カウンセリングの練習では、学生をカウンセラーとクライアントに分け、カウンセリングを実施させ、技術的な側面を身につけることを促した。	授業では毎回パワーポイントを使用し、学生には重要項目を記入させ、ポイントを明確にするように工夫した。ビデオ教材も要所所で使用し、学生の理解を促した。

3. 学会等および社会における主な活動

日本発達心理学会	2002. 4～現在に至る	研究発表、論文の投稿
日本心理学会	2004. 4～現在に至る	研究発表
日本教育心理学会	2008. 12～現在に至る	研究発表
International Society for the Study of Behavioural Development	2012. 1～現在に至る	研究発表

教養部会教授 菅嶋 康浩

1. 研究活動

2014年度新入生による「学生相談室アンケート」の結果に関する教育臨床心理学的考察—5年間の結果比較とともに—	2015. 3	名古屋芸術大学研究紀要第36巻	粟津幹子、木村美奈子、佐藤勝利、菅嶋康浩、北岡智子、伊藤由夏、山内恵理子、渡邊美由紀：学生相談室の新入生に対する早急なかつ有効な支援を行っていくために、入学時の心理状況について教育臨床の見地から検討した。
脊髄損傷による筋の機能障がい範囲にレジスタンス・トレーニングは影響を及ぼすか（第2報）	2015. 3	名古屋芸術大学研究紀要第36巻	石田直章、菅嶋康浩：脊髄損傷による筋の機能障がい範囲にレジスタンス・トレーニングは影響を及ぼすかについて、日常的にベンチプレスのトレーニングを行っている男子3名を被験者としてパワーリフティング中の肩関節周り及び体幹の筋の表面筋電図を導出し、筋電図学的手法により考察した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 健康と体力	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>〈授業形式〉power pointを活用しスライド提示によるプレゼンテーションを実施。教科書指定はなく、授業のテーマに合う内容の資料収集精査してスライド化する。また全スライドと授業ノートを配布して授業内容の記録に活用させる。学生の授業参加を促すために、配布資料は虫食い穴埋め式になっており、スライド内に出てくるキーワードなどを書き込んでいくようにしている。〈内容〉健康科学の意義目的と本講義の位置づけについて、運動不足の影響、健康の阻害因子についてテーマごとに概説。そして運動実践の意義と具体的方法について紹介する。〈毎授業での感想レポート〉毎授業でテーマに対する感想レポートを書かせて提出させる。これにより健康に関する自分なりの考え方を確立させる。</p>	<p>①power pointによるスライド（教科書指定はなく、授業のテーマに合う内容の資料をスライド化）。②配布資料（毎時間全スライド）。③筆記用授業ノート。すべて自作。</p>
授業科目名 スキースノーボード教室（健康スポーツ2：学外授業）	
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期（集中授業：3泊4日）	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>〈事前講習等〉実習説明会、事前講習会の実施。その際、技術指導の資料を配布。〈現地講習〉技術レベル別実技指導の実施。指導者による実習中のビデオ撮影。夕食後班別ミーティングの実施。その際、市販のDVDやビデオ教材と実習中に撮影した映像により技術的チェックとアドバイス指導を実施。自作の自習日誌を配布し、毎日の感想や課題など実習記録を記述させる。〈課題提出〉全日程終了後に実習レポートの提出を義務付ける。</p>	<p>①配布資料（オリジナル）作成、②ビデオ、DVD資料（市販）、③実習日誌、④撮影したビデオ映像資料。</p>
授業科目名 夏季アウトドアスポーツ教室（健康スポーツ1：学外授業）	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期（集中授業：3泊4日）	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>〈事前講習等〉実習説明会、事前講習会の実施。その際、技術指導の資料を配布。〈現地講習〉現地インストラクターを含めた技術レベル別実技指導の実施。指導者による実習中のビデオ撮影。夕食後班別ミーティングの実施。その際、市販のDVDやビデオ教材と実習中に撮影した映像により技術的チェックとアドバイス指導を実施。自作の自習日誌を配布し、毎日の感想や課題など実習記録を記述させる。〈課題提出〉全日程終了後に実習レポートの提出を義務付ける。</p>	<p>①配布資料（オリジナル）作成、②ビデオ、DVD資料（市販）、③実習日誌、④撮影したビデオ映像資料。</p>

授業科目名 卓球（健康スポーツ2）	
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>〈第1回目〉授業ガイダンス。健康科学における実技を伴う演習科目として位置づけられた同科目の目標と意義の説明と理解を深める。〈2回目以降〉卓球の実践。技術レベルに応じて、基本的技術の取得、ルールの理解、シングルス、ダブルスなど卓球種目特性の理解を深めるよう授業を展開。シングルス、ダブルスをより理解するためにゲーム（リーグ戦）を採用。実践的技術の取得を図るために、リーグ戦結果に基づき、上位、下位リーグ間メンバー入れ替えを行う。これにより学生のモチベーションの維持・向上を図る。後半は団体戦とし、チームワークの難しさや面白さを知るとともに、チーム内コミュニケーションを積極的にとることなど、スポーツを通した人間関係の構築する能力を身に着けるようにする。〈健康維持管理に関する授業〉全開講数の中で1、2回健康科学の位置づけとして自己健康管理ができるようになるためのフィットネス講座を実施。学内フィットネス施設を利用して実践方法を指導する。</p>	<p>①健康科学の目的、授業の位置づけと意義についての資料、②卓球技術資料、③リーグ表、④卓球ルールについての資料⑤団体戦についての説明資料。（いずれもオリジナル）</p>
授業科目名 テニス（健康スポーツ1）	
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>〈第1回目〉授業ガイダンス。健康科学における実技を伴う演習科目として位置づけられた同科目の目標と意義の説明と理解を深める。〈2回目以降〉テニスの実践。技術レベルに応じて、基本的技術の取得、ルールの理解、シングルス、ダブルスなど卓球種目特性の理解を深めるよう授業を展開。シングルス、ダブルスをより理解するために、簡易ゲーム（ストローク合戦、1ポイント勝ち残りゲーム）から正式ルールに準ずるマッチゲーム（1ゲームマッチゲーム、2ゲーム先取ゲーム）へと展開。授業ごとにテーマを決め（例えば、ストロークの習得、ボレーの習得、フットワークを使う、ダブルスにおけるコンビネーションなど）1授業の全体の1/3を技術練習、2/3を実践練習として構成。施設と受講工学生数の関係から、授業効果を考慮して、主に実践練習にはダブルスゲームを採用。半期間の終盤には団体戦としてゲームを行う。これを通して、チームワークの難しさや面白さを知るとともに、チーム内コミュニケーションを積極的にとることなど、スポーツを通した人間関係の構築する能力を身に着けるようにする。〈健康維持管理に関する授業〉全開講数の中で1、2回健康科学の位置づけとして自己健康管理ができるようになるためのフィットネス講座を実施。学内フィットネス施設を利用して実践方法を指導する。</p>	<p>①健康科学の目的、授業の位置づけと意義についての資料、②技術資料、③リーグ表、④ルールについての資料⑤団体戦についての説明資料。（いずれもオリジナル）</p>

授業科目名 デザイン基礎演習	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
〈第1回目〉授業ガイダンス。ものづくり基本と考えられるユーザーの感覚の重要性を心理学的及び生理学的尺度法を用いて理解することを目標とする。〈2回目以降〉SD法による心地よさの分析、筋電図を測り疲労度を調べる。	①目的、意義についての資料、②手法等の資料、③実験装置の利用。（いずれもオリジナル）
授業科目名 キャリアデザイン/キャリア1	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>本授業では、社会で求められる《チームとして協同する力》、《企画力》、《プレゼンテーション力》を養うことを目標とする。</p> <p>授業の概要</p> <p>本授業では、社会で求められる《チームとして協同する力》、《企画力》、《プレゼンテーション力》を養うことを目標とし、グループワークで授業を展開する。実際に企業等の協力を得ながら、企画立案、提案（発表）させ、現場の視点からの評価を通してこれら一連のプロセスの重要性を理解させる。</p> <p>本授業を通して、教育現場で求められる2つの力に加え、主体的に取り組むことにより力も合わせて引き出すことの重要性に気づかせる。</p>	①目的、意義についての資料、②手法等の資料、③ブレインストーミングなどグループワークに必要な資料。（いずれもオリジナル）

3. 学会等および社会における主な活動

日本体育学会	1982～現在	正会員
日本体力医学会	1983～現在	正会員
日本バイオメカニクス学会	1985～現在	正会員
日本宇宙航空環境医学会	1985～現在	評議員
日本健康医学会	2004～現在	評議員
北名古屋市ふれあいスポーツクラブ推進委員会	2001～現在	理事
全日本スキー連盟	2006～現在	指導員
大口町指定管理審議委員会	2009～現在	委員
大口町生涯学習計画策定委員会	2014	委員長
ウォーキングサークルNEW	2003～現在	事務局代表

教養部会特別任用教授 依田 義丸

1. 研究活動

シェイクスピア劇の反リアリズム性—ローレンス・オリヴィエの映画『ハムレット』を手掛かりとして	2015. 3. 30	名古屋芸術大学研究紀要第36巻(名古屋芸術大学)	尼寺の場面への下準備となっている場面に関して、オリヴィエの映画とシェイクスピアの劇との違いを比較し、後者の反リアリズム性を明らかにした。
--	-------------	--------------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当の有無 有 無

授業科目名 英語 1		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
教材は映画作品を使用した。具体的な場面を学生に英語で演じさせるという演劇的な教育手法を実践した。		
授業科目名 英語 2		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
教材として現代アメリカ劇を使用し、具体的な場面を学生に英語で演じさせるという演劇的な教育手法を実践した。		

3. 学会等および社会における主な活動

名古屋芸術大学研究紀要 第 37 卷 別冊 (業績集)

2016年3月18日印刷

2016年3月30日発行

発行者 名 古 屋 芸 術 大 学

〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

印刷所 有 限 会 社 も く も く 印 刷